

WINET情報 CONTENTS

第3号 平成11年3月31日

巻頭言 寺尾 美子1

婦人教育情報センターより

会館ホームページが変わりました2

WINETが変わりました4

会館事業情報

平成10年又エック国際フォーラム報告9

家庭・地域で担う子育てセミナー報告11

みんなで子育て

家庭を支える地域の教育力の向上をめざして

平成11年又エック(国立婦人教育会館)事業計画 14

書誌情報

女性・家族関係雑誌記事インデックス19

テーマ展示図書案内66

新着図書案内72

編集後記

昨年11月4日の男女共同参画審議会の答申を踏まえ作成された男女共同参画社会基本法案が、本年2月26日閣議決定を経て、国会に提出された。

なぜ今、「男女共同参画基本法」なのか？基本法制定へ向けての動きは、第一には、1975年の国際婦人年以来の、国際社会レベルで展開されてきた動きに対応した、日本政府の取組の一環として位置づけられる。さらに第二として、現在進行中の中央省庁再編の改革の流れの中で、男女共同参画室は、その強化が図られている内閣府に、局レベルの組織に拡充されて置かれることになり、男女共同参画審議会は男女参画会議となって、その権限強化が図られることが既に決まっている。基本法は、こうした政府の機構レベルの改革とタイアップして、この分野の変革の有力な牽引役となることが期待されている。

なぜ「男女共同参画社会」基本法であって、たとえば「男女平等」基本法ではないのか？「男女共同参画」という言葉は新しい言葉である。そもそも「参画」という語自体が、多くの日本人にとってあまりなじみがない。参画とは、「(政策や事業などの)計画や策定に加わる」という意味である。一般に広く使われる「参加」ではなく、「参画」の語が用いられるようになった理由は、既存の制度が与えてくれる場に単に参加するにとどまらず、制度自体を作っていく過程に、女性が男性と共に、積極的、主体的に関与していくことの必要性、重要性を含意するためである。答申も、基本理念のなかに「男女共同参画社会の形成の促進に当たっては、男女が社会の対等な構成員として、政策・方針決定過程に参画することに配慮されなければならない」と述べ、政策・方針決定過程への男女共同参画の重要性を強調している。

これまで、男女平等は、少なくとも法の世界では、女性に、男性と同じ機会を与えることであるとされてきた。男性と同じような教育の機会、政治参加の機会、就職や職業選択の機会、昇進の機会...といった具合に。しかし、男性と同じような機会が形式の上で与えられるようになった国々において、女性達は、それだけでは真の平等が達成されないことに気付いた。男性と女性が異なった社会的役割を担うことを前提に構築された社会制度の下で男性並に扱われることは、部分的な不平等を解消しはするものの、全体としての解決にはならない。社会制度を作る段階から、女性がこれに加わる、すなわち「参画」することなくしては、真の平等の達成はおぼつかない。

従来性差とされきたものの多くが、生物学上の性差ではなく、後天的に、社会や文化によって形成されることが明らかになってきた。ジェンダーの発見である。答申で謳われているように「男女が性別にかかわらず各々の個性を生かすことのできる社会、言い換えれば、「女のくせに」「男のくせに」といわれることなく、ひとりひとりが「自分らしく」生きていくことのできる社会を造っていくためには、このことを踏まえた「参画」の視点が不可欠である。

以上の意味で、「男女共同参画」は、従来の枠組みの下での平等要求という段階を超えた、新たなステップを導く視点や理念を内包している。文頭、基本法制定の動きが、外発的契機によることに触れたが、この「男女共同参画社会」の理念は、地方レベルを含めた、国内的議論の中から生まれたものであることは特記に値する。女たちに新たな可能性を開く社会は、男たちにも新たな生き方の可能性を開く社会であるはずである。21世紀に向けての活力と魅力ある日本社会の姿を描くために、国民ひとりひとりが基本法を主体的に受け止め、男女共同参画社会が、具体的にはどういった社会であるのかを、議論していく時期が来ようとしている。

会館ホームページが変わりました

1 コンピュータシステムが変わりました

当会館のコンピュータシステムが1999年1月から新しくなりました。

機器構成はクライアント/サーバ型となり、外部機関との連携、インターネットを用いた広範囲への情報公開、アクセスが容易なデータベースの構築、利用者に対する容易な情報検索ツールの開発、宿泊可能な研修施設として利用者受入システムの再構築、宿泊施設・研修施設の空き情報をホームページで公開する等、会館の情報提供機能と運営機能を総合的に検討した結果実現したのが今回の新システムです(図1)。

2 ホームページはどう変わったの?

では、これに伴い会館ホームページ(<http://www.nwec.go.jp>)がどのように変わったのか、ご紹介いたします。

今回、ホームページをリニューアルするにあたって留意したのは、「より速く、よりわかりやすく」です。当初は親しみやすいホームページにするべくデザインに重点を置き、おかげ様で日本教育情報学会 社会教育施設の部部門賞をいただきました。

しかし年々情報量も増え、レスポンスに時間がかかる、目的のページが見つからない、わかりづらいなどの苦情も寄せられてきました。

その点を解消するために、新しいホームページでは、最初のページ(図2)に目次機能を付与しました。

(1) 施設の空き状況がわかる

会館をご利用希望の方は、「施設の紹介」で、利用したい施設を決め「施設の空き状況」で希望する日が空いているかどうかをチェック。まだ、ネット上での予約は出来ませんが、研修計

画を立てる際にぜひ、お役立てください。

(2) WINET - DBがすぐひける

もう1つの目玉は、WINET - DB。WINET - DBとは、この1月から新たに構成しなおした、会館作成データベースの総称です。

これには11種類のデータベースがありますが、最初のページからそれぞれ調べたいデータベースに直接リンクすることが出来るようになりました(図2)。

このWINET - DB、従来は、申請・登録が必要であったものを今年から広く一般に公開するものです。検索方法は次章で詳しく述べますが、特別なコマンドが必要だった以前の方式から、自分が調べたいことがらをそのまま入力するメニュー方式へと、手軽に検索できるようになりました(図3)。

なお、従来どおり電話回線使用によるtelnet版接続も可能です。ご不明な点は情報交流課システム管理係まで(0493-62-6711)お問い合わせください。

(3) その他にも

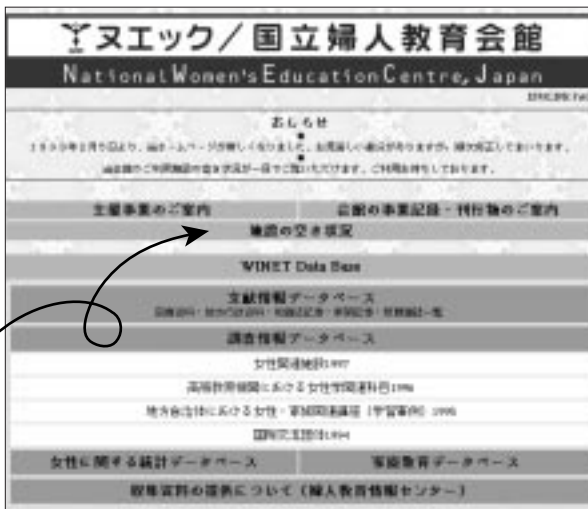
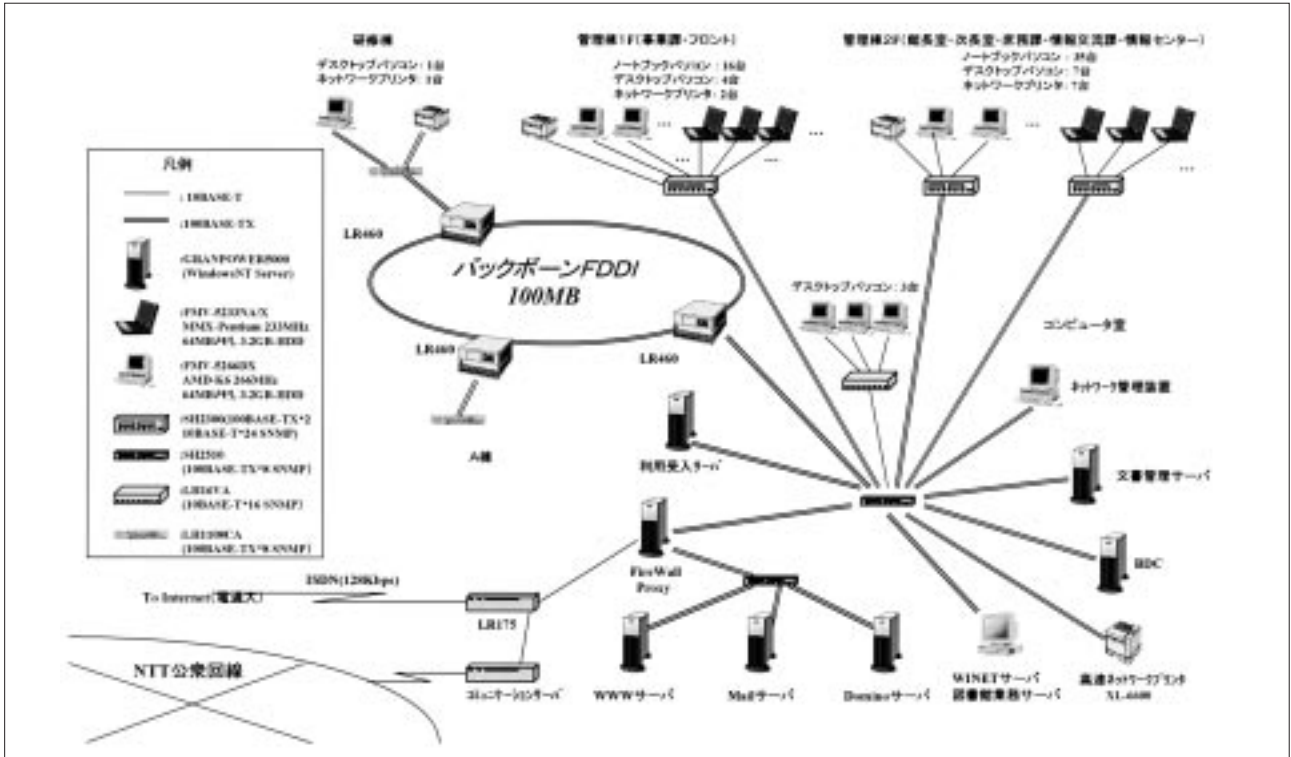
「主催事業のご案内」については、年間の事業計画だけではなく、対象者や募集中の事業が一目でわかるようになります。

また、「会館の事業記録・刊行物のご案内」では、会館で発行している定期刊行物や主催事業の報告書などを掲載。会館の事業に参加できなかった方たちにも、たくさんの情報を提供していきます。

3 これからもよろしく

まだまだ、手直しが必要な部分も多くご迷惑をおかけしておりますが、皆様のご意見を伺いつつ、よりわかりやすいホームページにしていきたいと考えております。

図1 国立婦人教育会館システム構成図



宿泊室、研修は空いているかな？

希望のデータベースをクリック！

図2 ヌエックホームページ



図3 文献情報データベース検索画面

ウィネット
WINETが変わりました

WINET (Woman's Information NETwork system) は、国立婦人教育会館が収集している女性及び家族に関する様々な情報のデータベース検索システムの総称です。平成11年1月11日より国立婦人教育会館のホームページ (<http://www.nwec.go.jp>) 上で24時間いつでも、情報検索ができるようになりました。インターネットにつながれたパソコンがあれば、調べたい言葉を入れる、あるいは画面上をクリックするだけの簡単な検索で、知りたい情報を手に入れることができます。なお、インターネットを利用できない環境の方には、今までのような電話回線によるtelnet版もあります。

では新しくなったWINETを紹介しましょう。

1. 文献情報データベースは情報センターが所蔵している女性や家族に関する資料について、タイトル、編著者名、キーワードなどから調べることができます。下記の4つのデータベースがあり、*印のついているデータベースは横断検索もできます。(件数は平成10年12月現在)

データベース名(件数)	内 容
* 図書 (約29,000件)	一般出版社が刊行した図書、中央省庁の調査・報告書、企業の調査資料、女性団体・グループが刊行した資料等に関するデータベースです。現在昭和59年度以降受け入れの資料を検索することができます。キーワードは婦人教育シソーラスに基づいています。
* 地方行政資料 (約15,500件)	都道府県・市区町村の教育委員会、女性問題担当室等が刊行した資料のデータベースです。資料の特性上、図書形態のものだけではなく、小冊子、パンフレット類も重要な資料として含まれています。図書と同様にシソーラスに基づいたキーワードが振られています。
* 和雑誌記事 (約32,500件)	婦人教育情報センター所蔵の逐次刊行物のうち、約400誌に掲載された女性・家族に関する記事・論文のデータベースです。図書と同様にシソーラスに基づいたキーワードが振られています。
* 新聞記事インデックス (約100,400件)	全国紙・地方紙約60紙に掲載された、女性及び家族に関する記事のデータベースです。見出し、記事中の人名、キーワード等をデータとして収録しています。キーワードは記事中の言葉をそのまま用いています。
所蔵雑誌一覧 (約3,000誌)	婦人教育センター所蔵の雑誌(ミニコミ誌やニューズレターも含まれます)をタイトルの50音順(和)、アルファベット順(洋)で探すことができます。

詳細検索画面です。
種別を指定しなければ全てから検索します。

所蔵雑誌一覧画面です。

2. 調査情報データベースは国立婦人教育会館の独自の調査等をデータベース化したものです。現在下記の4つのデータベースがあります。

データベース名	内 容 (件数)
女性関連施設	全国の女性関連施設（女性センター、働く婦人の家、農村婦人の家等）の現況を調査したものです。1993（623件）、1997（442件）年度のものがあります。
高等教育機関における女性学関連科目	大学、短大などで行われている女性学関連科目についての調査をデータベース化したものです。現在1990（465件）、1993（517件）、1997（786件）年度のものがあります。
地方自治体における女性・家族関連講座（学習事例）	全国の女性センターや社会教育施設で実施されている女性及び家庭教育に関する学級・講座、講演会等の事業についてデータベース化したものです。現在1992（3,090件）、1995（2,805件）年度のものがあります。
国際交流団体	全国の女性に関する活動をしている国際交流団体について調査したものです。現在1994年度調査（426件）のものがあります。

(1) 女性関連施設1997を見てみましょう。都道府県別に並んでおり、一つ一つたどっていくことにより簡単に調べることができます。検索というところをクリックすれば、全文を検索することもできます。

下図左は都道府県別から福岡県をクリックして、県内の女性関連施設を検索した例です。

右はさらにその中から福岡県女性総合センターをクリックした例です。

(2) 次に、高等教育機関における女性学関連科目1996を見てみましょう。これも講師名、実施大学名、分野など、文字をたどっていくことにより簡単に調べることが出来ます。施設と同様に全文検索をすることもできます。講座別の項をクリックした例もご覧下さい。

高等教育機関における女性学関連科目データベース

※目的の項目をクリックしてください。

●講座別で探す。ある講座がどこでどんな講義を行っているかを探りたい。
講座を担当している講師名がいろいろと並べられています。
お知りになりたい講座名の前の緑の三角をクリックしてください。
[以下、左側に緑の三角をクリックしてください。]
詳細事項がご覧になります。

●実施大学名で探す。ある大学でどのような講座が実施されているかを探りたい。
講座を担当している大学名が、講座の項目に表されています。
お知りになりたい大学の所在検索用表をクリックしてください。
国立、公立、私立を選択し、大学名をクリックしてください。

●講座名や講師の立場や専門分野で探す。講座の内容から求めるものを探りたい。
下の分類名をクリックしてください。
その分野を含む講座のリストに移ります。

- ・女性学
- ・家政学
- ・人文・社会一般
- ・心理学
- ・法学・政治
- ・歴史・地理
- ・語学・経済
- ・音楽
- ・保健・福祉
- ・社会福祉・労働
- ・社会学
- ・教育学
- ・文化人類学・民俗学
- ・人文・社会科学(その他)
- ・自然科学一般
- ・数学
- ・物理
- ・化学
- ・天文・地学
- ・生物
- ・医学・薬学
- ・自然科学(その他)
- ・産業・技術一般
- ・農林・畜産
- ・水産
- ・産業・経営
- ・土ホ・環境
- ・福利・電気・電子
- ・交通・輸送
- ・通信
- ・コンピュータ
- ・産業・芸術(その他)
- ・芸術一般
- ・美術
- ・音楽
- ・演劇
- ・文学
- ・芸術(その他)
- ・体育・スポーツ
- その他

※リストのマーク欄に矢印がついているものは、検索の便宜上、画面で選択ができていた例のみです。

このデータベースは「平成8年度高等教育機関における女性学関連科目等の調査」です。
調査の詳細はここをクリックしてください。

3. 講座別-01. 女性学

講座名	テーマ名	講師名	実施大学
189-15世紀イギリス文学史(小説)	ヴィクトリア朝時代における女性の地位	金子 寿生	昭和女子大学
189-20世紀アメリカ文学	アメリカ女性解放史とアメリカ文学のヒロイン	倉嶋 祥子	昭和女子大学
『現代の人間』編	アジアの関与と女性	庄木 達子	桜光大学
アメリカ社会史	アメリカの女性史、マイノリティの歴史、および現代社会についての講義と討論	城方 真子	崇徳山大学
アメリカ女性史・社会史演習	アメリカの女性史・社会史や現代社会についての演習	城方 真子	崇徳山大学
アメリカ文化演習Ⅰ(女性)	20世紀初頭から現在迄のライフスタイルの変化を明らかにする	千石 妙子	共立女子大学
アメリカ文化演習Ⅱ(女性)	文学作品に登場する女性像を通して、女性の生き方を視の糧としてとらえていくことも目的とする	木村 治典	共立女子大学
アメリカ文化特講	アメリカ女性史	谷中 真子	共立女子大学
アメリカ文化特講Ⅱ(女性史)	アメリカの歴史を女性の立場、視点から見直す	谷中 真子	共立女子大学
一般教養演習	フェミニズム論	井上 和子	北海道大学
異文化間の性の役割	ジェンダーへの多文化的アプローチ	藤崎 晴子	宮崎国際大学
Women's studies	女性の地位と役割をめぐる社会の現状と歴史	庄井 ちづ子	群馬女子短期大学
WOMEN'S STUDIES	女性学	上野 善枝	都の聖白短期大学
ウーマンズ・スタディーズ	女性学とは、女性と歴史、女性と社会、女性と文学	高成 玲子	岡山女子短期大学
ウーマンズ・スタディーズ 概論	メアリー・ウォルト・スピンラフト、ジェン・ステューアート、エムに始まる西歐近代の代表的な女性論を取り上げる	金子 幸子	名古屋短期大学
精選論	日本韓国と女性	上村 雅子	関西大学女子短期大学部
高学女性史	欧米のフェミニズムの歴史	奥田 純子	大妻女子大学短期大学部
高学女性文化論概論	カナダとアメリカの女性文化	望月 佳子	愛媛大学
高学女性学研究会	フェミニズム文学批評を応用した作品講義	金丸 千雪	九州女子短期大学
高学文化概論	女性学の視点から、女と男の在り方、女性と社会の関係を探る	赤坂 成子	福光女子短期大学短期大学部
高学文化演習Ⅰ	ジェンダーを考える	藤田 清美	東京女子大学
高学文化演習Ⅱ	女性と社会	石井 杏子	神岡山女子短期大学
高学文化特講	英国近代における女性解放の歴史と運動	松田 真子	新宮女子短期大学
演習Ⅰ	女性が働く社会	千本 純子	関西大学
演習Ⅱ	アメリカ研究	山井 洋子	東京国際大学
演習女性学	長野県内の義務教育における女性差別	七本 倉代美	長野県短期大学
高学文化特講	女性と文学	青山 祥子	青山学院大学
音楽と女性	音楽史の中の女性/女性	小林 律	国立音楽大学
女たちのキヴァー・エンディング・ストーリー	過去から現在にいたるまで、病歴を受けてきた女性のストーリーも、学問的かつゴシップな観点から考える。全	藤田 照恵	成島大学
歴史学演習特講Ⅱ	歴史と女性	谷口 佳子	名古屋大学

(3) 地方自治体における女性家族関連講座(学習事例)1995を見てみましょう。簡略画面と詳細画面があり、下図は簡略画面です。はじめの設定は1992年度と1995年度の横断検索になっており、**事業・テーマ・講義名**を入力したり、あるいはその講座の開催地を選ぶだけで検索することができます。詳細検索画面では、さらに講義・学習の進め方(講義・シンポジウム、映画など)、託児の有無など様々な項目から簡単に検索することができます。

(4) 最後に国際交流団体1994を検索してみましょう。下図は詳細画面です。主務官庁名や、**会員制度**、**募金活動**、**機関紙の有無**など、クリックするだけで検索することができます。

3. 女性に関する統計データベース（統計情報データベース）は女性・家族に関する日本の統計を集めたもので、国立婦人会館が実施した「女性及び家族に関する統計の調査研究（平成4～8年度）」によって作成された統計表をデータベース化したものです。エクセルで作成した表で提供しています。下図左はメニュー画面です。キーワード、分野、省庁などから検索することができます。右は分野と省庁をそれぞれ複数クリックして検索した例です。



4. 家庭教育データベースは、家庭に関連した統計・調査、施策、事例・各地の活動、文献資料の紹介を、動画等も含むマルチメディアデータベースとして作成したものです。資料別と内容別になっており、パソコン画面上の色の違っている部分をクリックすると内容を見ることができます。



以上、新しくなったWINETを簡単に紹介いたしました。多いに活用していただきたいと思います。

平成10年度又エック国際フォーラム

1. 概要

11月18日(水)から20日(金)までの2泊3日で、「男女共同参画社会の実現と生涯学習 - 家庭・学校・地域で学ぶ」をテーマとして、平成10年度又エック国際フォーラムを開催した。

フォーラムには、国内から10名、国外から4名の計14名の専門家を招聘し、18か国からの50名を含む約500名の参加を得た。

初日は基調講演とパネルディスカッション、第2日目は「家庭」「学校」「地域」の3つの分科会、第3日目は分科会報告と全体会を行った。フォーラムにおいては、熱心な討議及び意見交換が行われるとともに、有意義な国際交流が行なわれた。

2. 基調講演

テ・マ：男女共同参画社会の実現をめざした生涯学習

講演者：アイシャ・バー・ディアロ氏
ユネスコ教育局基礎教育部長

基礎教育はすべての基礎であり道具である。学校教育、学校外教育、家庭、地域、職場、マスコミなど、多様な学習機会をとらえて活かすためには、確固たる基礎教育プログラムが必要である。

ジェンダーに関する感性を育てることは基礎教育の基本である。ユネスコの勧告では、教育の3つの柱を政策決定者に勧めている。全ての政策でジェンダーの視点を中心に据えること。

あらゆる分野で女性の参加を促進させること。

少女、女性のための特別なプログラムを開発し、それによって男女平等を確保すること。

男女平等の推進は、基礎教育のみならず、生涯教育の視点からも重要である。家庭、学校、

社会で男女平等の大切さを教えなければならない。教育は、女性の平等とエンパワーメントのために重要である。

3. パネル・ディスカッション

テ・マ：家庭、学校、地域で学ぶ男女共同参画
パネリスト：

アイシャ・バー・ディアロ氏

トレバ・バトロニー氏

オーストラリア家族問題研究所研究部長

キャサリン・ルイス氏

米国発達研究所研究部長

アイルサ・スウォーブリック氏

英国オープン・ユニバーシティ上級講師

コーディネーター：

永井多恵子氏

世田谷文化生活情報センター館長 / 日本放送協会解説委員

コーディネーターが日本のコミュニティの男女共同参画に関する問題提起を行った後、パネリストが所属機関の活動と自身の研究課題について概説し、翌日の分科会のための動機付けとした。

引き続きパネリストと参加者との間で質疑応答を行い、「女性の理科離れ」「離婚の増加」「男女混合名簿」などについて、意見が交換された。

4. 分科会

(1) 第1分科会「家庭」

講師：トレバ・バトロニー氏

牧野カツコ氏

お茶の水女子大学生生活科学部教授

渡邊秀樹氏

慶應義塾大学文学部教授

コーディネーター：

足羽與志子氏

一橋大学社会学部助教授

それぞれの講師の講義の要約は次のとおり。

パトロニー氏「家族の形が変化しているにもかかわらず、家事・育児は女性が行うべきであるとする伝統的意識が残っていることが問題である。どのような家族であれ、全員が全員をケアする新しい価値を創造する必要がある。」

牧野氏「家事・育児に参画することによって、男女とも人間的成長を遂げることができる。日本の現行の配偶者控除、年金、保険などの制度は、女性の経済的・精神的自立のさまたげとなっており、男女が働くことを前提とした法制度の改革が必要である。」

渡邊氏「ワーキングマザーだけでなく、ワーキングファザーの再認識が必要であり、家族を地域社会に開いて多元的な人間関係の中で子どもが育つ環境を創る必要がある」

講義に引き続き討議が行われ、多様性を受け入れた上で価値を共有することの必要性や、社会全体のペアレンティングの重要性を確認した。

(2) 第2分科会「学校」

講師：キャサリン・ルイス氏

朴木佳緒留氏

神戸大学発達科学部教授

藤田英典氏

東京大学教育学部教授

コーディネーター：

館かおる氏

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授

それぞれの講師の講義の要約は次のとおり。

ルイス氏「日本の教育制度にはアメリカが見習うべき点が多い。日米とも学校で性別役割分担がなされているが、親も教師も自覚していない。固定的性別役割分担意識は人間の成長を妨げる。是正が必要である。」

朴木氏「学校が男女平等の場であるというのは幻想である。学校では、教員の性別の偏り、不適切な教材、性別による進路指導の違い、リーダーシップを発揮する機会の不平等などがある。生徒が性別により不利益を受けていないか考える必要がある。」

藤田氏「それまでと違った価値観の教育を受けると ゆらぎ が生じる。それを乗り越えられるような配慮が必要である。ジェンダーチェックについても、理論的な検討の余地がある。」

討議の後、学校を開くことの必要性と、ジェンダーの視点からの教師の研修の必要性が確認された。

(3) 第3分科会「地域」

講師：アイルサ・スウォーブリック氏

神田道子氏

東洋大学文学部教授

鈴木眞理氏

東京大学教育学部助教授

コーディネーター：

北村節子氏

読売新聞社生活情報部次長

それぞれの講師の講義の要約は次のとおり。

スウォーブリック氏「キャリアの中断をマイナスと考えずに、生涯学習で重要な技能を身につけられるキャリアアップの期間とすればよい。」

神田氏「ジェンダーの視点に立った現状認識が必要であり、女性学はその助けとなる。目標を明確に立て、日常生活における差別に敏感になることが必要である。」

鈴木氏「日本の地域における学習活動は、学習者が女性であり、かつ女性の学習が個人的な利益にとどまっていることが問題である。男性の参加の促進と、女性の学習が持つ意味について考慮する必要がある。」

討議の後、「現在は、現状を嘆くのではなく、具体的戦略を練りノウハウを身につける時期である」ことが確認された。

5. 分科会報告

各分科会のコーディネーターがそれぞれの分科会の報告を行った。

6. 全体会

神田道子氏を総合コーディネーターとして、各分科会の講師が参加し、参加者との間で、生涯にわたる男女共同参画を促進する学習のあり方について、熱心な意見交換が行われた。

家庭・地域で担う子育てセミナー

みんなで子育て
家庭を支える地域の教育力の向上をめざして

国立婦人教育会館では、平成10年9月26日・27日の二日間、地域社会で家庭教育支援に関わっている指導者を対象に標記セミナーを開催した。教育委員会、公民館等の行政関係者、PTA関係者、学校教育関係者、団体グループ等様々な立場の方々114名が参加した。

このセミナーは、男女共同参画社会の形成に向けて地域社会の活動や家庭教育に男性の参加を促し、子どもの豊かな人間性をはぐくむ家庭教育を促進するため本年度新たに企画・実施したものである。プログラムは「地域社会における家庭教育支援の在り方」の講義の外、フォーラム家庭教育、4つのワークショップ及び全体会が行われた。

なお、26日の午後開催した「フォーラム家庭教育」は公開プログラムとし、一般参加者620名を加え734名の参加となった。

主なプログラムの概要は、次のとおりであった。

1 講義「地域社会における家庭教育支援の在り方」



文部省生涯学習局男女共同参画学習課家庭教育支援室長 清水 明氏が、平成10年6月30日にま

とめられた中央教育審議会の答申をもとに、地域社会における家庭教育支援の在り方について講義を行った。

- ・子どもの心を育てるべき大人社会が今「次世代を育てる心を失う危機」に直面しているという認識に立って、まず、大人が率先してモラルの低下を是正し危機を乗り越えていく必要がある。
- ・新しい時代を切り拓いていく積極的な心を持った子どもを育てていくために、家庭・地域、社会・学校、それぞれが今なすべきことを考える必要がある。

2 フォーラム家庭教育

このフォーラムは、第1部では、パネリストに堀内正美氏（俳優）、山本健慈氏（和歌山大学生涯学習教育研究センター長・アトム共同保育所長）、奥山真紀子氏（埼玉県小児科医療センター保健発達部医長）、コーディネーターに黒田あゆみ氏（NHKチーフ・アナウンサー）を迎えて「見直そう、家庭の在り方・地域の在り方」のテーマでそれぞれ立場からディスカッションを行い、第2部では、河合隼雄氏（国際日本文化研究センター所長）が「新しい時代を拓く心を育てる」のテーマで講演を行い、心豊かな子どもを育てていく気運・方策を認識する機会になった。

(1) 第1部 フォーラム

「見直そう、家庭の在り方・地域の在り方」

- ・子育ては、人間関係から作り上げていくものであるから、百点満点の子育てはありえない。家族は、私達一人一人が作り上げていくものである。

- ・自分自身が何ができて何ができないか、何が貢献できて何を他者に依存することが必要であるかという自己認識を育てる必要がある。
- ・学校・PTA・保育所等は様々な家族が出会う場所である。それぞれが自己紹介を積み重ねることにより体験的に知り合い、家族間協同ができる。家族間協同というのは、地域に住んでいるまわり及び全体を自分の家に、他人も自分の家に入れてしまうというテーマで暮らしていくこと。今、地域には、家族間協同をプロデュースするプロデューサーが必要である。人生は、自己紹介の連続。
- ・家という家族の中に非常に小さな形の社会がある。だから、その中でトレーニングすることが必要である。
- ・人間は人を愛して家族をつくっていく。その愛することができるためには、自分を自分で認めることが大切である。そして、お互いがお互いを認め合うことから自信がつく。
- ・「母親ってこうあるべき、家族ってこうあるべき」という考えが強く、それに母親自身が近づけないことが、自分に自信をなくす原因になっている。だから「あなたはあなたでいいのよ。あなたはあなたで本当に許されているのよ」というメッセージを送る中で母親達がいろいろなことに気付いていくことが必要である。
- ・子どもが「私は私でいい。私は私として自信をもって生きていく。」という考え方で樂立っていける場所を家庭の中に作り、共感してあげることが自主性を育てることになる。そして、子どもの目の高さで相手の感じていることを感じてあげられることが大切である。



第1部フォーラム（黒田氏、山本氏、奥山氏、堀内氏）

(2) 第2部 講演

「新しい時代を拓く心を育てる」

- ・誰かに依存しているから自立ができる。家族は、お互いに頼ったり、怒ったりして人間というものがわかる。生きるということは、肌で感じたり、心で感じたりしながら自分自身をもっと活かして生きようとするのである。
- ・日本の教育は追いつけ追い越せということで進歩し、成功してきた。これからは、日本人は、自分の判断で自分の方向を見だし、自分の能力で外国にも貢献していかなければならなくなった。だから、人のやったことを覚えるのでなく、自分で新しいことを切り拓く人間を育てなければならない。みんなが同じようにするのはなく、自分の個性を活かすことができる者が新しいことができるのである。しかし、我々は個性で生きることが下手である。相手のことやみんなと一緒にということを考えすぎて、自分の考えを持ってない。みんなと違うけれど「私はこう思っている」とか、同じだけれど「どこが違う」と言えることが必要である。
- ・物がないと心を使うようになるが、物が豊かになると、人間と人間がどのように生きてよいかわからなくなる。物が豊かになると、心を使ってほしいが、心を使わずお金を使うようになる。お金で買えない価値を考えなければならない
- ・子どもが新しい時代を切り拓いて自分で物事をさせるようにするには、支持するのではなく、子どもが自分の力で育ってくるのを待つことである。心に関してはほとんど教えることはなく、見守ることが育てることになる。子どもが育つのを見守っていけば、子どもは新しい世界を切り拓いていくだろう。

3 ワークショップ

このワークショップは、家庭教育支援に関する問題解決に向けた取組について情報交換、討議を行い、家庭・地域の教育力向上を目指した実践的な研修を行った。

子育てグループ・サークルの企画・運営は、汐見稔幸氏（東京大学教育学部助教授）、父親

の家庭教育参加事業の企画・運営は、馬居政幸氏（静岡大学教育学部教授）、異年齢交流プログラムの企画・運営は、松下俱子氏（国立信州高遠少年自然の家所長）、家庭教育を支援する地域活動は、森下久美子氏（武蔵野市立0123吉祥寺園長）の助言のもとに行われた。

A 子育てグループ・サークルの企画・運営

このワークショップは、サークル活動の企画・運営を協議した。汐見先生から、自己肯定感を育てることの大切さ、自分たちで自主的にいき、支え合うサークル活動、遊ばせ方を知らない母親、一番来てほしい人がどのようにしたら来てくれるか等についての講義を受け、その後グループ討議を行った。サークル活動の場所や指導員の確保、ボランティアと行政の連携について話し合われた。

B 父親の家庭教育参加事業の企画・運営

このワークショップは、PTA活動・地域活動等に父親を参加させるための事業の企画・運営を実際に体験的に行った。馬居先生から、なぜ、父親が家事育児に参加しなければならなくなってきたかについての講義を受け、その上で、グループワークを行った。各グループから「会社で育む子育てハーモニー（会社を巻き込んだ事業）」、「出番ですよ！お父さん気軽にアウトドア（父親としての存在確認、地域の人たちとの触れ合い）」、「つなひき大会」「やみ鍋で不満を語ろう！（みんなが参加する行事）」等のユニークなプログラムが発表され、各事業について全体討議をした。



熱心に討議したグループワーク

C 異年齢交流プログラムの企画・運営

このワークショップは、少子化時代の家庭教育を補完する地域の異年齢による行事・体験交流のプログラムの企画・運営を実際に体験的に行った。松下先生から、異年齢交流の必要性、プログラムの企画にあたっての留意点、評価の在り方についての講義、その後グループワークを行った。各グループから「新しい時代を求めて！地域で育ついきいき家族」「体験学習と農村文化の伝承」「おじいちゃん・おばあちゃん一緒に遊ぼう」「公民館を拠点とした劇団 へいろく の活動」等様々な新しい企画が考え出された。



プログラムの発表

D 家庭教育を支援する地域活動

このワークショップは、子育て中の親がよりよい家庭教育を行う上で地域社会の問題点を話し合い、子育てにやさしい地域社会の在り方について考えた。森下先生から、武蔵野市立0123吉祥寺園のできるまでとその背景、活動の紹介と実態（スライドによる）等の講義を受け、その後グループ討議をした。社会全体として将来あるべき方向性や自分のまわりでできること等が発表された。

本セミナーは、行政、PTA、団体グループ等様々な立場の方々が一堂に集い、地域を越えて家庭を支える地域の教育力の向上に向けて話し合われたことに意義があった。各事業と行政の連携のあり方、親をひきつける企画の在り方等各地域でそれぞれの立場で実践していただけるものと理解している。

平成11年度又エック(国立婦人教育会館)事業計画

1. 研修事業

事業名	対 象 者	期 間	事 業 内 容	備 考
(1) 婦人教育施設職員 のためのセミナー	職員コース 企画担当コース 公私立婦人会館・女性センター等、女性の生涯学習に関連のある施設において、婦人教育に関連する事業の企画及び実施を担当している職員 100名 情報担当コース 公私立婦人会館・女性センター等、女性の生涯学習に関連のある施設において、情報関連業務を担当している職員及び女性学研究機関の情報担当職員 30名 館長コース 上記施設の就任2年未満の館長等 20名 合計 150名	職員コース 企画担当コース 情報担当コース 平成11年6月8日 ～6月11日 3泊4日 館長コース 平成11年6月8日 ～6月9日 1泊2日	婦人教育事業の充実を図るため、婦人教育施設等の職員に対して、企画立案、女性情報・情報システム・生涯学習情報に関する専門的・実践的な研修を行い、必要な知識・技術及び施設職員としての資質向上に資するとともに、各施設・職員のネットワークの充実を図る。	
(2) 教師のための男女 平等教育セミナー	各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事、教育センターの研修主事等及び国・公・私立の幼・小・中・高等学校(特殊教育諸学校を含む)の教員 120名	平成11年7月22日 ～7月24日 2泊3日	男女共同参画社会の形成に向け、教師のための生涯学習の一環として、学校教育における教職員の男女平等の理解の促進及びジェンダー(社会的・文化的につくられた性別)に敏感な視点の定着と深化に資する実践的な研修を行う。	平成10年度は1泊2日で実施
(3) 海外婦人教育情報 専門家情報処理研 修事業	アジア太平洋地域の婦人教育、女性情報に関する業務に従事している専門家 6名	平成11年7月25日 ～9月2日 40日間	女性問題の意識啓発に関する分析・まとめの技術、及び情報メディアの活用技術を習得させるとともに、アジア太平洋地域の女性問題に関して相互理解を深め、地域内の女性情報ネットワーク化の促進を図る。	文部省と 共催
(4) 家庭・地域で担う 子育てセミナー	PTA・家庭教育関係団体・グループ等地域社会で家庭教育支援に関わっている者、及び家庭教育支援を進めている企業関係者 120名	平成11年9月17日 ～18日 1泊2日	男女共同参画に向けて、地域社会の活動や、家庭教育に男性の参加を促し、子どもの豊かな人間性を育む家庭教育を支援するための実践的な研修を行う。	
(5) フォーラム 家庭教育	子どもを持つ親、これから親になる男女、家庭教育に関心のある人等 600名	平成11年9月18日	家庭教育について幅広い意見の交換を行い、男女が共に積極的に担う子育て及び社会との連携の中で担う子育てについて、参加者と共に考える機会を提供し、家庭や地域社会の教育機能の活性化に資する。	「家庭・地域で担う子育てセミナー」の公開プログラムとして実施する。

事業名	対 象 者	期 間	事 業 内 容	備 考
(6) NWECC(国立婦人教育会館)アドバンスコース	行政関係者 婦人教育・家庭教育行政担当者 生涯学習に関する行政担当者 女性行政担当者 上記以外で婦人教育・家庭教育に関する事業の企画・運営に携わっている者 婦人教育・家庭教育に関する団体・グループ等のリーダー 100名	平成12年1月24日 ～1月28日 4泊5日	男女共同参画社会の形成に向け、ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別)に敏感な視点に立った婦人教育・家庭教育に関する事業の企画・立案に必要な専門的知識・技術の習得、及び、女性、家庭・家族に関し、当面する課題の解決に資する実践的な研修を行う。	
(7) 公開講演会	成人男女 600名(公募)	第1回 平成11年10月30日 第2回 平成12年2月5日	女性、家庭・家族に関して当面する課題について解決のきっかけを得るために、有識者による講演会を開催する。	第1回は新規交流事業「男女共同参画学習フェスティバル」の公開プログラムとして実施する。
(8) 男女共同参画学習推進フォーラム	国内の各地域で、男女共同参画学習社会、及び女性、家庭・家族に関する問題に関心のある人 各地域200名程度	年間4地域で開催 秋田県 「秋田県婦人会館」 神奈川県 「神奈川県立かながわ女性センター」 広島県 「広島県女性総合センター」 福岡県 「福岡県女性総合センター」	男女共同参画社会の形成をめざした生涯学習の推進と、広域的な施設間のネットワーク形成の充実を図るため、婦人教育施設、生涯学習センター等の生涯学習関連施設と連携して地域においてフォーラム等を実施する。	新規 「女性の生涯学習のための地域セミナー」の名称変更。
(9) 女性の教育問題担当官セミナー	開発途上国の政府・機関等で、女性の教育問題に携わっている担当者 10名	4週間	教育を受ける機会が男性に比べ少ない開発途上国の女性に対し、社会発展・開発の担い手となるべき人材を育成するための教育機会の充実を図る。	国際協力事業団(JICA)からの委託
(10) グアテマラ地方教育行政コース	グアテマラの教育行政官、地方行政官等 10名	大阪大学の受入 期間4週間のうち3日間	日本の教育行政、学校教育教員研修のノウハウを技術移転することにより、グアテマラ国の地方教育行政の機能強化を図り、特に緊急の課題である先住民の女子教育の振興に資することを目的とする。	大阪大学と連携
(11) 社会教育実習生受入事業	大学で社会教育実習を受講する学生のうち館長が認めた者 若干名	年間7回程度 各回7日間程度	大学(担当教授)との協議に基づき、主催事業の補助業務等の体験学習を通じて、婦人教育の現状と、婦人教育施設の役割を学習することを目的とする。	

2. 交流事業

事業名	対 象 者	期 間	事 業 内 容	備 考
(1) 女性学・ジェンダー研究フォーラム	女性学・ジェンダー研究に関心のある成人男女 1,000名 (内訳) 宿泊(全日程)参加者 150名 ワークショップ運営者 (100件×2名)200名 日帰り参加者650名	平成11年8月6日 ~8月8日 2泊3日	男女共同参画社会の形成に向け、女性のエンパワーメントの推進・女性の人権の確立を図るため、団体・グループ・個人・行政が行ってきた女性学及びジェンダー研究と女性のエンパワーメントに関わる多様な研究・教育・実践活動の課題や成果を出し合い、情報交換を行う。	
(2) 男女共同参画学習フェスティバル	男女共同参画学習を実施している団体及び、国内研修グループ等 600名 (内訳) 宿泊(全日程)参加者 (プログラム運営者を含む) 300名 日帰り参加者300名	平成11年10月28日 ~30日 2泊3日	男女共同参画学習を実践している全国の団体・グループ等に交流の機会を提供し、ネットワークの充実を図る。	新規
(3) ヌエック(国立婦人教育会館)国際フォーラム	成人男女 150名	平成11年11月25日 ~27日	21世紀に向けて男女共同参画社会の実現をめざすため家庭、学校、地域等における男女共同参画をめぐる諸問題の解決に資する学習・実践活動の現状と課題を、国際的な視野から討議し、女性のエンパワーメントを推進するとともに、国内外のネットワークの形成を図る。	

3. 調査研究事業

事業名	研究協力者等	事業内容	備考
(1) 高齢社会に向けての男女共同参画学習に関する調査研究	婦人教育・家庭教育関連分野の研究者等 若干名	男女共同参画社会の形成を目指し、高齢期におけるゆたかなライフスタイルの実現に向けた男女共同参画学習を進めるため、高齢男女の生活と意識に関する実証的な調査研究を行う。	新規 (2年計画)
(2) 地域の子育て環境づくりに関する調査研究	婦人教育・家庭教育関連分野の研究者等 若干名	家庭教育をサポートする地域の環境づくりについて、子どもの発達段階に応じた実践的、学際的な調査研究を行う。	第2年次 (3年計画)
(3) 男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策に関する調査研究	婦人教育・家庭教育関連分野の研究者等 若干名	幼児期から性別にとらわれず、個性や人権を尊重し男女共同参画意識・価値観を育む家庭教育推進方策の在り方の調査研究、及び男女共同参画の視点に立った家庭教育プログラムの開発・教材作成	第2年次 行政担当者等に向けブックレットを作成する (文部省から委嘱：3年計画)
(4) 又エック公開シンポジウム	女性問題、家族問題、教育問題の専門家・研究者、マスコミ・行政関係者等 150名	国立婦人教育会館の女性、家庭・家族に関する調査研究の最新の成果を発表し普及を図るとともに、さらに高度な調査研究を進めていくために公開シンポジウムを開催する。 テーマ：「開発とジェンダーを考える - 女性のエンパワーメントをめぐる」 日時：平成11年5月28日 会場：国際協力事業団国際協力総合研究所	国際協力事業団・東京都教育委員会(共催)予定
(5) 女性及び家族に関する学習情報の調査	公私立婦人教育施設、婦人教育関連施設、婦人関係施設及び生涯学習センター等	関係機関等への調査を通じて、女性及び家族に関する学習情報を収集・データベース化し、オンラインで提供することによって、女性情報の流通促進を図ると同時に、女性の学習機会の拡充を図る。調査は、「学習事例」「女性学」「施設」「国際交流団体」の4種類について実施する。	
(6) 家庭教育に関するマルチメディアデータベースの調査研究	家庭教育、情報学、生涯学習等の研究者、専門家 若干名	家庭教育に関するマルチメディアデータベースを構築するとともに、データベースを活用した家庭教育に関する学習プログラムについて調査研究を行う。 ・家庭教育相談データベースの構築 文部省発行の「家庭教育手帳」に掲載されている家庭教育相談窓口等に関する情報のデータベース化を図る。(今後会館のホームページ等での公開を図る)	

4. 情報事業

(1) 婦人教育情報センターの運営

事項	事業内容	備考
WINETの整備・充実	文献情報データベース（図書・地方行政資料・和雑誌記事・新聞記事インデックス）・学習情報データベース（女性学・学習事例・施設・国際交流団体）・統計情報データベースの充実に努めるとともに、ホームページによる国立婦人教育会館の概要や家庭教育に関する情報提供をする。	
女性及び家族に関する情報資料の収集・整理・提供	女性及び家族に関する情報・資料を収集・整理し、利用に供する。特にインターネットを利用し、最新の電子情報を収集するとともに、会館の活動及び日本の女性に関する情報を英文で紹介する。	
レファレンス・サービス及び文献複写サービス	来館者または電話・文書による問い合わせに対して情報を提供し、コピーによる資料を提供する。また、各種の婦人教育関係データベースにより、関連情報を迅速に検索し提供する。	
女性及び家族に関する図書資料の展示	国立婦人教育会館が所蔵する資料について、4半期ごとにテーマ展示を行い、女性及び家族の分野の理解を深める。	
情報提供サービスの充実	会館ホームページにおいて会館の宿泊室の空き状況、研修施設の利用状況家庭教育等のデータベース等最新の情報提供を行い、情報提供サービスの充実を図る。	

(2) 資料の作成・配布

資料名	掲載内容等	発行回数	配布先	備考
(1)「国立婦人教育会館研究紀要」(第3号)	婦人教育、家庭教育、女性学、女性情報学に関する会館の調査研究を国内外に発表するとともに、公募論文を選考して掲載する。 テーマ：「ジェンダーと生涯学習」	平成11年10月 年1回	国内・国外の関係大学 図書館、婦人教育施設、 及び女性団体等	
(2)「ヌエック(国立婦人教育会館)主催事業実施報告書」	年度内に実施した研修・交流・情報事業の実施概要と当該年度が最終年次にあたる調査研究事業のまとめ。	平成12年3月 年1回	都道府県教育委員会、婦 人教育施設及び女性団 体、その他の関係機関等	
(3)「WINET情報」	女性・家族に関する文献情報及び情報センター利用に関する情報を中心に会館からの情報をわかりやすく提供する。	平成11年9月 平成12年3月 年2回	都道府県教育委員会、 婦人教育施設及び女性 団体、関係大学図書館、 その他の関係機関等	
(4)「NWEC Newsletter」	NWECの活動及び最新の日本の女性の現状について、英文で海外に紹介する。	平成11年7月 平成12年1月 年2回	海外の婦人問題担当行政 機関、女性センター及び 女性団体、国際機関等	
(5)「ヌエックニュース」	国立婦人教育会館の事業及び関連の事業を紹介し、広報する。	平成11年4月 7月 10月 平成12年1月 年4回	都道府県教育委員会、 婦人教育施設及び女性 団体、その他の関係機 関等	

(3) 全国ボランティア活動情報提供事業

事業内容	備考
<p>文部省においては、生涯学習の観点から、人々のボランティア活動に参加する動機づけを促進し、ボランティア活動の一層の支援・推進を図るため、全国ボランティア情報提供・相談窓口（仮称）を新たに会館に開設し、ボランティア活動情報に関するデータベースを利用し、電話等によるボランティア活動情報提供を行うこととしている。</p> <p>提供する情報例</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援ボランティアへの参加希望者に対する実施団体の紹介。 社会福祉施設への訪問体験活動を行う団体の紹介。 環境保護ボランティア活動希望者への団体紹介。 等 <p>11年度、会館において実施する事業の内容（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各都道府県政令指定都市の生涯学習ボランティア担当部局及び全国規模のボランティア支援団体等を対象とした調査・データの収集。 データベースの作成。 電話による相談窓口の開設。 	文部省から委嘱予定

女性・家族関係雑誌記事インデックス

当会館婦人教育情報センター所蔵の和雑誌のうち、1997年後半以降にデータベース化された記事・論文の中から、女性の学習・研究に役立つものを雑誌名の五十音順に掲載しています。
会館ホームページからは全データが検索できますので、あわせてご利用下さい。

凡例

- 雑誌名 [巻号] (発行年月日)
特集タイトル
No. 記事タイトル / 執筆者名 (ページ)

愛知県立大学文学部論集. 社会福祉学科編 [45]
(1997.02)

1. 自閉的精神発達遅滞児とその母親への相談・援助 / 中藤淳 (p.1-21)

秋田大学教育学部研究紀要. 教育科学 [51] (1997.03)

2. 小・中学生が単純な回路の電流について抱くモデルと授業との関係の考察 / 山岡剛 (p.11-20)
3. 自己認識を育てる中学生の保育学習：自分史の作成と保育園訪問 / 滝山桂子, 倉田良子 (p.29-36)

秋田大学教育学部研究紀要. 教育科学 [52] (1997.05)

4. 中学生・高校生・大学生の親準備性の実状：秋田県における調査から / 滝山桂子, 斎藤一枝 (p.39-46)
5. 人間関係の発達と教育課程 / 佐々木久長, 鈴木敏朗 (p.135-145)
6. 幼児期における基本的な生活習慣の形成について / 安保里香, 藤田輝夫 (p.147-157)

あごら [230] (1997.06)

特集：なぜ今「自賛史観」か 3

7. 消すことのできない真実：「慰安婦」問題の教科書記述をめぐって / 吉見義明 (p.2-40)
8. 「女性への暴力」は人権侵害：女性の視点で「慰安婦問題」を考える / 松井やより (p.41-53)
9. 女三代の百年：祖母・母・そして私 / 広田寿子 (p.114-159)

あごら [231] (1997.08)

特集：女性とアンペイド・ワーク

10. 経済大国の実態を暴く：女性のアンペイド・ワーク / 北沢洋子 (p.2-3)
11. 無償労働、男女の格差にこそメスを / 久場嬉子 (p.4-6)
12. ジェンダーという概念 / 渥美節子 (p.7-11)

13. 無報酬労働とは / 加藤登紀子 (p.12-20)
14. 生活時間について / 野村三枝子 (p.20-31)
15. 経済企画庁発表「無償労働の貨幣評価について」 / 藤原千沙 (p.31-53)
16. 座談会：「男女共同参画白書」から見えてくるもの：アンペイド・ワークを中心に / 加藤登紀子 [ほか] (p.54-86)

あごら [232] (1997.09)

特集：ローカルにこそ女性ジャーナリストの視点を

17. 女性とメディアの問題に立ち上がる米国女性ジャーナリスト / 今野望 (p.10-15)
18. 今、なぜ、「ローカルに女性ジャーナリストの視点」か / 大和田郁子 (p.16-23)
19. ミニコミ新聞から見えてきたもの / 菅原純子 (p.26-27)
20. 小さな発信者として / 佐藤万里子 (p.28-29)
21. 静岡県で女男交流を / 小松幸子 (p.30-31)
22. めじゃなりすとのおめ：「女性面」のゆくえ / 佐藤理絵 (p.40-41)

アジア女性研究 [6] (1997.03)

23. 国際シンポジウム「女性とメディア」 / アシャリ・バルマ [ほか] (p.1-27)
24. 講演会「メディアの現状と課題」：男女共同参画社会をめざして / 小宮山洋子 (p.28-38)
25. ゴミ問題への挑戦：ネパール都市部の住民組織によるゴミ回収事業の事例から / 田中雅子 (p.39-46)
26. 母性再考：「束縛母性」から「主体母性」へ / 岩丸明江 (p.47-53)
27. 毛沢東の女性解放論 / 銭華 (p.54-59)
28. 経済成長、人間開発、参加の3要素から見た社会開発の検証：インドネシアを例にして / 神崎智子 (p.60-66)

29. タイにおける女性学の動向 / ダルニー・タンティウ
イラマノン (p.67-73)
30. ASEAN諸国に育つ「都市中間階層」: インドネシアの
事例によせて / 和田幸子 (p.74-84)
31. 「開発と女性」「ジェンダーと開発」の視点でのNGO組
織強化ワークショップ: 自己評価の視点からの報
告 / 篠崎正美 (p.85-101)
32. 「行動綱領」の実現に向けての女性センターの役割 /
織田由紀子 (p.102-108)
33. 都市・女性・まちづくり / 加藤麻由美 (p.109-110)
34. オルターナティブを求める運動におけるジェンダ
ー: ある内省 / ネーン・マグノ; 吉野千佳子訳
(p.111-114)
35. AITジェンダー開発研究センター(GenDev) / ゴービ
ンド・ケルカー (p.115-116)

アジ研ワールド・トレンド [24](1997.06)

特集: 発展途上国と障害者

36. アジア太平洋障害者の一〇年 / 高嶺豊 (p.2-3)
37. 途上国社会の中に埋め込まれた「障害」 / 森壮也 (p.4-
6)
38. 「アジア太平洋障害者の一〇年」の背景と意義 / 長瀬
修 (p.7-9)

39. 分析レポート: 韓国の経済・社会変化と働く女性 /
水野順子 (p.22-28)

明日の友 [108](1997.07)

40. 対談: いま「こんな社会に住みたい」: こんな社会を
創りたい / 牟田悌三, 大熊由紀子 (p.31-37)

新しい家族 [30](1997.05)

41. 親子関係の心理学(四) / 庄司順一 (p.55-58)

インパクション [102](1997.04)

特集: 記憶の内戦: 自由主義史観批判

42. 世紀末教科書狂騒曲と性のダブルスタンダード / 加
納実紀代 (p.28-36)
43. 歴史という戦場から: 鎖国の思想から異種混生の時
代へ / 千本秀樹, 鄭暎恵, 鶴飼哲 (p.68-88)

インパクション [103](1997.06)

特集: 沖縄へ、そして沖縄から

44. 沖縄の力: 文化とジェンダーの間 / 宮城晴美, 加納実
紀代, 富山一郎 (p.6-21)
45. 記憶の政治学: 国民・個人・わたし / 上野千鶴子
(p.154-174)

インパクション [104](1997.09)

46. 皇民化教育と「慰安婦」問題: 解放されるべきもう一
つの性 / 北沢杏子 (p.108-121)

宇都宮大学教育学部紀要 第1部 [47](1997.03)

47. 技術家庭科の授業づくり(その1): 「生活における
豊かさ」を問う授業 1 「生活」, 「貧困」の意味を問う /
真下弘征 (p.159-168)

大原社会問題研究所雑誌 [464](1997.07)

特集: アジア諸国の労働問題(2)

48. 1990年代のマレーシアの労働力構造: 1970年代以降
の経済発展と労働力不足をめぐって / 吉村真子 (p.1-
14)
49. シンガポールの労働市場動向: 都市型の経済構造と
労働力供給 / 竹野忠弘 (p.15-29)
50. 韓国の「都市下層」と労働市場: 1970年代から80年代
前半までを中心に / 横田伸子 (p.30-47)

大原社会問題研究所雑誌 [466](1997.09)

特集: アジア諸国の労働問題(3)

51. タイ: 国内人口移動と産業構造変化 / 渡辺真知子
(p.1-19)

大原社会問題研究所雑誌 [467](1997.10)

特集: アジア諸国の労働問題(4)

52. パキスタンの労働事情: 社会的特質から見た場合 /
深町宏樹 (p.1-15)

女たちの21世紀 [11](1997.06)

特集: 「マイノリティ」・女性・わたし 沖縄から

53. 復帰25周年、沖縄の女たちは語る: 座談会: 5度目の
「琉球処分」日本から自立して軍隊や暴力のない社会
をめざす / 粟国千恵子[ほか] (p.3-10)
54. 「アッタル・ウナイ」: 祖母の教えと「うないフェステ
ィバル」 / みなもとひろみ (p.11)
55. 国際女性ネットワーク集会「軍隊と人権、女性と子ど
も」 / あぐにちえこ (p.12)
56. 米国女性キャロリン・フランシスさん、「沖縄の女性
運動を支えて」 (p.13-14)

「私」を語る

57. 「私」を語る: 「国家・民族に翻弄されないひとりの人
間として生きたい」 / 梁豊芝 (p.15-18)
58. 女性が変われば部落が変わる: 「他の差別もなくすよ
うに、外の女性たちとともっと共闘したい」 / 岸田章
子, 北山俊乃 (p.19-22)
59. 「アイヌ になりつつあります」: ベウレ・ウタリ
の会、青木悦子さん (p.23-26)

60. 日本のフェミニズムと女性を語る：「女性運動の役割は価値観と目標を提示すること」/ 韓明淑 (p.27-30)
61. 嘘にこめた本音 / 金栄 (p.35)
62. 国籍条項の裁判から見えてきたもの / 鄭香均 (p.36)
63. 拝啓、つかこうへい様 / 朴英一 (p.37-38)
64. 私の家族・柳美里の家族 / 李貴絵 (p.38)
65. 私の人生を変えた識字 / 西川英子 (p.39-42)
66. 「マイノリティ同士のつながりを強めよう」：チカップ美恵子さん、沖縄で呼びかける (p.43-44)
67. チカップ美恵子著「風のめぐみ」を読んで / 田畑佐和子 (p.44-45)
68. 「マイノリティ」問題を考える / 國信潤子 (p.46-47)
69. なぜマイノリティ特集なのか / 友政眞知子 (p.48)
70. 「加害者の娘として、被害者の姉妹として」 / 山崎ひろみ (p.49-50)
71. イナグヤイクサヌサチバイ：女は未来を切り拓くさきかけ / 島袋陽子 (p.50-51)
72. 知と生をとりもどすために / 津和慶子 (p.51-52)
73. 「思いやり予算」訴訟に関わって / 松井義子 (p.53)
74. 社会の流れを女たちが変えよう / 吉田満智子 (p.54)

歴史検証

75. 日本国家はどのようにマイノリティを切り捨ててきたか：沖縄・アイヌ・在日・部落差別の仕組みをたどる / 松井やより (p.55-58)

性と民族のはざま

76. 日本の戦後補償政策にみる民族と性：戦後補償政策にみる「ダブル・スタンダード」の壁 / 金富子 (p.59-62)
77. 慰安婦問題からの視点：性と民族 / 山下英愛 (p.62-64)

法をめぐって

78. 日本の戸籍法の問題とマイノリティ / 堀口悦子 (p.65-66)
79. アイヌの存在を抹殺する「アイヌ文化振興法」 / 計良光範 (p.67-68)
80. 部落解放基本法について / 藤岡美恵子 (p.69)

国際会議報告

81. 先住民族およびマイノリティの権利と国際社会の対応 / 藤岡美恵子 (p.71-74)
82. 北京世界女性会議行動綱領 (p.75-76)
83. 北京先住民族女性宣言 (抜粋) (p.77-78)
84. 政治化されなかったジェンダー (p.79-82)

アジア各国事情

85. 原住民族高彩雲さんを偲んで：台湾 / 中村ふじ丞

(p.83-85)

86. 山岳民族の状況と「女性グループ活動」の取り組み：タイ / 沢元真由美 (p.85-87)
87. 少数民族の女性たち：ビルマ / 伊従直子 (p.87-90)
88. サワラクの熱帯雨林に生きる先住民族女性：マレーシア / 松江和子 (p.90-91)
89. 東ティモール問題と女性 / 中村葉子 (p.91-92)
90. ダリット女性が直面する問題：インド / 甲斐田万智子 (p.93-94)
91. 男性とフェミニズムを語る(5)差別反対運動とジェンダー：隠された差別を明るみに出し、男性中心の均質社会を変える / 武者小路公秀, 松井やより (p.95-98)

世界から

92. 「平和は調印するものでなく築きあげるもの」：グアテマラ・コナビグアの女性の闘い / 石川智子 (p.100-102)
93. 香港返還 女性たちは力強く立ち向かう：「地球市民社会を創る国際会議」に参加して / 松井やより (p.103-104)

女たちの21世紀 [12] (1997.9)

特集：女性の人権：守ることから創ることへ

94. 女性の人権：女たちは人権をどう豊かに創ってきたか / 角田由紀子 (p.2-7)

家庭

95. 「法は家庭に入らず」：夫・恋人からの暴力をめぐる周囲の対応 / 原田恵里子 (p.8-11)

職場

96. セクシュアル・ハラスメントと女性の人権 / 丹羽雅代 (p.12-14)
97. 規制緩和のなかの女性労働：性別役割分業を土台とする企業中心社会の構造改革に向けて / 中野麻美 (p.15-17)

福祉

98. 自己否定から自己肯定に向かう福祉を / 湯澤直美 (p.18-20)
99. 4つの法律の再構築を / 山崎公江 (p.21-23)

からだ

100. 医療と女性の人権 / 伏見正江 (p.24-25)
101. 女性の人権としてのリプロダクティブ・ライツ / 堀口悦子 (p.26-27)

メディア

102. 報道現場と女性の人権 / 池田恵理子 (p.28-31)
 教育
103. ジェンダーの視点からの人権教育 / 安藤節子 (p.32-33)
104. 自分を責めないために：グループCAPのとりくみ / 安藤由紀 (p.34-35)

地域

105. CAPワークショップを企画・参加して / 金富子 (p.36-39)

わたしにとって

106. 女性学と女性の人権、地方都市で / 水野桂子 (p.40)
107. 自分の中の敵：「女性と人権」セミナーから見えたもの / 伊藤籠子 (p.41)

移住女性

108. さまざまな差別と暴力：日本への移住女性の現実 / 大島静子 (p.42-43)

シェルター

109. サバイバーが道を拓く：駆け込みシェルターの6か月 / 近藤恵子 (p.44-45)

しくみ

110. 国際的な流れと「両性の平等委員会」：日弁連の活動から / 小嶋初子 (p.47)
111. 「人権擁護推進審議会」設置される：20人の委員へアンケート / 大内朋子 (p.48)
112. 「女性の人権」の確立をめざして / 辻村みよ子 (p.49)

警察

113. 警察の「性犯罪被害者対策」 / ゆのまえ知子 (p.50-51)
114. 大阪府警訪問記：女性への暴力のサポート状況を知るために / 阿古安子 (p.52-53)

アジアの人権論争

115. 国家主権、経済開発、伝統文化を人権に優先させてよいのか：アジアの人権論争 - 女性の視点から見る / 松井やより (p.54-59)

アジア各国事情

116. 韓国：性暴力特別法が制定されるまで / チャン・ユンギョン；林修娟訳 (p.60-63)
117. フィリピン：反セクシャル・ハラスメント法：女

性運動の力でアジアで初めて制定 / 神尾真知子 (p.64-66)

118. 女性と居住：スラム女性の人権 / 伊従直子 (p.66-68)
119. ネパール：私が決める私の人生：インドの買春宿から戻ったネパールの少女達の「人権」 / 田中雅子 (p.68-70)
120. 中国：経済成長と女性の人権 / 松井やより (p.71-72)
121. イスラーム：イスラーム女性の人権 / 岡真理 (p.73-74)

国際資料

122. 人権としての女性の権利：人権概念の見直しに向けての実践的 / シャーロット・パンチ；安立薫訳 (p.75-80)
123. 女性の人権のための世界的キャンペーン / 石川厚子訳 (p.81-85)
124. グローバルな視点から見た女性の人権（上） / 中瀬純子 (p.86-90)
125. 海外：女性の人権トレーニング・マニュアル / 伊藤衆子, 斎藤文栄 (p.91-93)
126. 男性とフェミニズムを語る（6）：「女性の人権」；「人権教育の10年」と女性 / 森実, 松井やより (p.100-105)
127. アジア女性資料センター女たちのスタディーツアー報告 - タイ9日間 - / 羽柴亜紗子 (p.106-107)
128. 「戦争と女性への暴力」国際会議に向けて / 柴洋子 (p.108-109)

海外社会保障情報 [118] (1997.Spring)

特集：海外における社会福祉をめぐる新しい動き

129. イギリスにおける貧困問題の動向：「貧困概念の拡大」と貧困の「基準」をめぐる / 柴田謙治 (p.4-17)

外交フォーラム [10-7] (1997.07)

130. 第7回：日本ハンガー・プロジェクト：全アフリカ女性に就業の機会を / 杉下恒夫 (p.1-2,68-69)

外交フォーラム [10-8] (1997.08)

131. 津田梅子：最初の帰国子女 / 阿川尚之 (p.68-76)

解放教育 [27-8] (1997.07)

132. 「元始、女性は太陽であった」（「青鞥」創刊号より）を読む / 内田正子 (p.97-10)

解放教育 [27-9] (1997.08)

特集：青少年会館と子ども会活動

133. 大阪における今後の青少年会館の在り方試案 / 吉野修一 (p.8-17)
134. 青少年会館等の管理運営実態調査を通して / 西田雅一 (p.18-26)

解放教育 [27-11](1997.10)

特集：「人権教育のための国連10年」日本政府の「国内行動計画」を読む

135. 「人権教育のための国連10年」国内行動計画 (7/4発表) を活用し、人権文化の構築を求めた取り組みの強化を / 友永健三 (p.10-21)
136. 「人権教育のための国連10年」国内行動計画と生涯学習の課題 / 上杉孝實 (p.22-25)
137. 市民の力で行動計画の具体化と充実を / 森実 (p.26-34)
138. 資料「人権教育のための国連10年」に関する国内行動計画 (全文) / 人権教育のための国連10年推進本部 (p.38-48)

香川大学教育学部研究報告 第1部 [101](1997)

139. 野上弥生子とシェイクスピア：「ハムレット」及び「ヘンリー四世」第一部・第二部 / 田村道美 (p.1-25)
140. 野上弥生子と「世界名作大観」(十三)：「デヴィッド・カップフィールド」第一巻・第二巻 / 田村道美 (p.27-50)
141. 野上弥生子と旧松方コレクション：「眞知子」と「松方氏蒐集欧州美術展覧会 (売りとて第一回展)」 / 田村道美 (p.53-74)

家政経済学論叢 [33](1997.07)

142. 家庭科における生活事象・生活課題の教材化：村田泰彦の家庭科構想に学んで / 宮崎礼子 (p.1-31)
143. 生涯学習時代の図書館経営：「社会的弱者」と「コミュニティ」という視点から / 坂田仰 (p.33-51)
144. 育児休業法の立法過程の考察と法的課題 / 野城尚代 (p.53-87)

家族研究年報 [22](1997.05)

145. 「ケア」をどこに位置させるか / 立岩真也 (p.2-14)
146. 高齢者ケアの主人公は誰か / 岡本多喜子 (p.15-26)
147. 親と子の自立的関係をめざして / 福川須美 (p.27-35)
148. 昭和生まれ女性のライフコース：教育・結婚・出産・労働 / 島直子 (p.36-47)
149. 現代中国都市住民の家族認識の構造 / 池岡義孝 (p.48-69)
150. 「暴力・虐待と女性の市民権」国際会議に参加し

て：北京世界女性会議から1年 / ゆのまえ知子 (p.70-75)

家族社会学研究 [9](1997)

特集：文化と家族

151. もう一つの「家族と文化論」：階層的家族文化論 / 清水新二 (p.3-10)
152. 東アジア版「イエ社会論」へ向けて：家族の文化比較の可能性 / 瀬地山角 (p.11-21)
153. 家族の再生産戦略としての文化資本の相続 / 片岡栄美 (p.23-38)
154. 価値意識の世代間伝達に関する日米比較 / 中村雅子 (p.39-56)
155. 現代夫婦の勢力関係研究についての一考察：パーゲニング・モデルの提示 / 片岡佳美 (p.57-66)
156. 性別役割分業と女性の家事分担不公平感：公平価値論・勢力論・衡平理論の実証的検討 / 岩間暁子 (p.67-76)
157. 家族ケアとストレス：要介護老人・精神障害者家族研究における現状と課題 / 南山浩二 (p.77-90)
158. 未婚化をもたらす諸要因 / 伊東秀章 (p.91-98)
159. アイルランドにおける家族の研究動向 / 清水由文 (p.99-104)
160. 「暴力・虐待、女性の市民権」に関する国際会議 / 服部範子 (p.105-108)

家族心理学研究 [11-2](1997.11)

161. 病院・老人保健施設における相談業務に関する比較研究：長期療養者の家庭復帰について / 細井啓子, 大道久 (p.57-68)
162. 子どもの眼からみた家庭内労働の分担の衡平性：女子青年の場合 / 諸井克英 (p.69-82)
163. いつ、一人前の母親になるのか？：母親のもつ母親発達観の研究 / 山口雅史 (p.83-95)
164. 性別役割についての教授活動に及ぼす学習者の関連する知識及び意見の影響について：発展例を付与した文章教材を用いて / 津田千鶴, 舩田弘子 (p.97-110)

家族療法研究 [14-2](1997.08)

165. 性別役割と父親不在：家族システムにおける男性性という構築 / 田村毅 (p.23-31)
166. 児童相談所における家族療法的介入の一モデル：体罰習慣がある家族に対する助言指導と保母・教師へのコンサルテーション / 衣斐哲臣 (p.32-39)

私と家族療法

167. 実証的家族療法：精神医学・障害児病理学：社会福祉学の視点から / 緒方明 (p.40-45)

ささやかな臨床経験から

168. 子どもの家庭内暴力と家族力動 / 成田善弘 (p.51-53)

家庭科教育 [71-1] (1997.01)

169. 二十一世紀に向けての家庭科・家政学部の見直し論 / 新福祐子 (p.6-11)
 170. 我が国の生涯学習の一側面 / 小川晴子 (p.12-26)
 171. 女性教師のライフステージから生活設計を学ぶ：卒業生の現職教員を対象にして / 浅田幸子 (p.34-38)
 172. 大学・短期大学の家政系学部学科におけるビジネス実務教育の在り方 (1) / 林雄太郎 (p.57-64)
 173. 女子学生の色の好み：伊藤久美子 (p.78-85)

家庭科教育 [71-7] (1997.07)

174. エステ・ダイエットが心身に及ぼす影響：女性雑誌の分析 / 福田然子 (p.39-43)

家庭科教育 [71-8] (1997.08)

175. 男女共同参画社会と制服 / 堀内雅子 (p.11-16)
 176. 今、家族について考える / 鈴木百合子 (p.17-22)
 177. 家族システムの発達から見た「保育」の領域の教育課題 / 宇都宮博 (p.39-43)
 178. 女性学とセクシュアリティ / 大塚優子 (p.65-68)
 179. いじめから幼児虐待へ / 小林俊雄 (p.75-79)

家庭科教育 [71-9] (1997.09)

180. 家族関係再考：子どもにとっての父親像 / 堀内敏 (p.6-10)
 181. 「選択的夫婦別姓制」についての一つのデータ / 堤谷金平 (p.11-17)
 182. 地域社会への広がりを持つ家庭科教育へ / 川辺淳子 (p.18-22)
 183. オルコットが考えた女子教育 / 山村明子 (p.35-39)
 184. 生活時間調査から 家事労働・家族の団らん・余暇について考える / 大本久美子 (p.105-110)

家庭科教育 [71-10] (1997.10)

185. 衣生活教育の基本学習とは？：衣服購入を中心として / 諸岡晴美, 岡村美乃里 (p.11-17)
 186. 家庭科の「家庭・家族」領域に対する意識調査：家庭生活・家庭科教育の認識 / 泉敬子[ほか] (p.39-44)
 187. 女性の子育て意識：子どもを生み育てることの意味 / 掛塚芳子 (p.58-62)

家庭科教育 [71-12] (1997.12)

188. 「生活の豊かさ」の再構築へ向けて / 丸山直子 (p.6-10)
 189. インターネットと家庭科教育 / 中西雪夫 (p.11-17)
 190. 高等学校家庭科におけるコンピュータ活用の実態と課題 (1) / 青木幸子[ほか] (p.18-23)
 191. 男女共同参画社会と家庭科教育：男女大学生へのアンケート調査を手掛かりに / 表真美, 板井倫子 (p.24-28)
 192. 小・中学校教科書に見る「つくる」ことの意義 / 安場規子 (p.38-42)
 193. 家事の習得をめぐる / 井上えり子, 水島かな江 (p.48-54)
 194. 現在の食生活を巡る諸問題点を見つめる：「家庭経営」自由研究課題を取り入れて (6)：「家庭一般」四単位男女必修を終えて / 安川智子 (p.55-58)

かながわ女性ジャーナル [15] (1997.03)

特集：メディアと女性の人権

195. マスメディアが再生産する性別役割分業通念 / 国広陽子 (p.14-27)

メディアが描く女性像

196. 新聞に描かれる女性像 / 山口正紀 (p.30-40)
 197. メディア社会のイメージ / 深澤純子 (p.41-52)
 198. レディース・コミックに描かれる女性像 / 杉野未矢 (p.53-61)
 199. ポルノに描かれる女性像 / 宮淑子 (p.62-70)
 200. 教科書に描かれる女性像 / 岸澤初美 (p.71-79)

メディアと女性のエンパワーメント

201. オルタナティブ・メディアにおける女性のエンパワーメント：ネットワーク形成のための情報発信と非営利組織 / 松浦さと子 (p.82-97)
 202. メディアと女性の人権：描かれる対象から表現する主体に / 金井淑子 (p.98-117)

神奈川大学評論 [27] (1997.07)

203. 座談会：メディアと社会：日本社会の現在 / 合庭惇, 落合恵子, 田畑光永 (p.2-27)
 204. フランスの家族と社会 (2)：高齢者・同居・相続 / 丸山茂 (p.177-184)

看護 [49-9] (1997.07)

205. 男性助産士導入による問題とそれへの対応 / 柳吉桂子[ほか] (p.130-140)

看護 [49-12] (1997.10)

206. 日本における産科診療の現状と今後 (1) / 長屋憲 (p.187-194)

季刊家計経済研究 [35](1997.夏)

特集：現代日本の世帯類型別家計

207. 家計消費の変化やその実態について / 伊藤彰彦, 岩田正美 (p.2-8)
208. 若年勤労単身者世帯の家計：若年勤労一般世帯との比較 / 色川卓男 (p.9-23)
209. 妻の就業形態別：勤務形態・職種別：家計構造比較 / 重川純子 (p.24-36)
210. ライフステージ前半の子育てによる家計への影響 / 永井暁子 (p.37-49)
211. 母子世帯の家計 / 濱本知寿香 (p.50-58)
212. スウェーデンにおけるワンペアレント・ファミリーの実態と家族政策の動向 / 高橋美恵子 (p.59-64)
213. オーストラリアのワンペアレント・ファミリー：ひとつのケース・スタディ / リン・ロビンソン；宮下裕一, 埋橋孝文訳 (p.65-70)
214. 豊かさ指標の国際比較 / 浜野崇好 (p.71-75)

季刊家計経済研究 [36](1997.秋)

215. 女性の結婚選択と就業選択に関する一考察 / 滋野由紀子, 大日康史 (p.61-71)

季刊教育法 [110](1997.06)

特集：教育基本法50年

216. 児童福祉法 / 田村和之 (p.18-22)
217. 戦後教育立法史年表 / 本多正人 (p.136-141)

季刊教育法 [112](1997.09)

218. 女子高生の結婚観 (5)：家族法をどう教えるか / 望月由孝 (p.97-102)

季刊子ども学 [16](1997.夏)

特集：子ども同士の世界

219. 子ども同士の世界：その展開基盤の現代的特質 / 藤田英典 (p.16-21)
220. 座談会：子ども同士は遊んでいるの？ / 斎藤次郎 [ほか] (p.22-31)

子どものアイデンティティ

221. 子どもの生活世界：時間の問題を軸にして / 浜田寿美男 (p.32-40)
222. 子ども集団と自我の形成 / 滝川一廣 (p.41-49)
223. 準拠枠としての学校文化：消費社会との共謀 / 岩見和彦 (p.50-57)
224. アイドルからステキな仲間へ：メディア文化と子どもたち / 石田佐恵子 (p.58-65)

学校と子ども集団

225. 子どもたちの友達関係：個別化する男の子、親密化する女の子 / 坂口里佳 (p.70-79)
226. 対談：TVメディアと子ども：メディア・リテラシーの可能性 / 高桑康雄, 小平さち子 (p.140-149)

季刊子ども学 [17](1997.秋)

特集：クロスカルチャー

クロスカルチャーへの視点

227. クロスカルチャーの現状と課題 / 佐藤郡衛 (p.64-71)
228. キコクシジョをめぐる「私情」 / 古家淳 (p.72-80)
229. 異文化の中の子育て：山形での意識調査から / 秋武邦佳 (p.96-103)

学校現場でのさまざまな試み

230. 座談会：学校はクロスカルチャーにどう向き合うのか？ / 秋山剛 [ほか] (p.106-115)
231. 統計のカラクリ5；年齢と世代のあやしい関係 / 坂井博通 (p.150-155)

季刊社会保障研究 [33-1](1997.Summer)

特集：福祉国家の再構築：少子・高齢化社会の社会保障はどうあるべきか

232. ドイツとEUにおける福祉国家の再構築：出生率の動向を視点として / シャルロット・ヘーン (p.7-13)
233. 高齢社会における福祉国家の再構築：望ましい改革に向けて / ヘンリー・アーロン (p.13-18)
234. 福祉国家の再構築：イギリスの経験 / ジョン・ヒルズ (p.18-25)
235. わが国の社会保障改革：医療・年金・介護の改革の問題点 / 宮島洋 (p.25-31)
236. 福祉国家の再構築：少子・高齢化社会の社会保障はどうあるべきか：討論 / 塩野谷祐一 [ほか] (p.31-44)
237. 特別養護老人ホームの利用者中心的介護が介護スタッフのストレスに及ぼす影響 / 音山若穂, 矢富直美 (p.80-89)

季刊女子教育もんだい [72](1997.07)

特集：法改正に探る女性のいま

238. 規制緩和と女性労働：無権利・低賃金・長時間労働もさらされる労働者 / 中野隆宣 (p.4-10)
239. 民法改正と女性の主張：氏を中心に / 星野澄子 (p.11-19)

240. 女による女のための「からだと性の法律」をつくる：避妊・不妊手術・人工妊娠中絶に絞った法案づくり / 津和慶子 (p.20-27)
241. 改正刑法にみる差別規定の削除と修正 / 星野安三郎 (p.28-30)
242. 東アジアの女性労働者の今：増え続ける非正規雇用問題 / 山本恵子 (p.31-34)
243. 「女子」大学・「短期」大学・ジェンダー / 安川悦子 (p.35-42)

教室から：小学校

244. 男女別体操服から自由選択体操服へ：「ブルマ」を取りまく状況と見直し / 熊倉幸郎 (p.43-48)

教室から：中学校

245. 学校そのものが男女共生の場：混合呼び出しから持ち物共通化へ / 小林一夫 (p.50-57)

246. 「女性への暴力」、その行く末は / 竹信三恵子 (p.58-60)
247. 私のフェミニズム論 第44回：「家の女」からの解放を求めて / 江刺昭子 (p.61-68)

女性解放思想史講座：中国

248. 李小江：中国女性学をひらいた創設者 / 秋山洋子 (p.75-82)
249. 津田せつ子さんに聞く：柵の垣根の内に生きて：国立ハンセン病療養所・多摩全生園での63年 / 松永み子, 津田せつ子 (p.83-91)

女性たちはいま：日本

250. 「女性・戦争・人権」学会の発足に寄せて：性暴力・性差別根絶のたたかいと連帯 / 鈴木裕子 (p.92-95)
251. 地方議会にみる教科書・「慰安婦」削除攻撃 / 都高教有志「強制軍隊慰安婦」問題を考えるネットワーク (p.96-99)
252. 性別役割分業再生産の今後：大学生の意識調査レポート / 藤岡絹恵 (p.100-103)
253. 遠ざけられた「死」を取りもどす：義母を看とった二ヵ月間の闘病記録 / 林佳恵 (p.104-109)
254. 「軍国少女の日記」を書いて、いま思うこと / 芹沢茂登子 (p.110-111)
255. 女偏の文字 12：「慰安婦」と「援助交際」と削除キャンペーン / 川田文子 (p.112-115)
256. 仕事をひらく21：文案人形置床山高橋晃子さん：カッコイイ偽物よりカッコ悪くても本物に / 季刊

女子教育もんだい編集部 (p.122-124)

257. ぐるーぶ紹介：「家族とくらしの会」：女性の自分育てを応援したい / 広岡立美 (p.125-127)

季刊年金と雇用 [16-3] (1997.11)

258. 人口問題と社会保障：少子化と家族政策の役割 / 阿藤誠 (p.27-37)

季刊保育問題研究 [165] (1997.06)

特集：頼りにされる保育園

259. 保育時間と保育内容：分科会討議から見た現状と課題 / 清水民子 (p.10-22)
260. 子どもと親の発達を支援する一時保育：特に子育てが難しい子どもの場合 / 神田直子 (p.78-86)

季刊保育問題研究 [167] (1997.10)

261. 乳幼児の療育相談活動からみた遊びとコミュニケーション / 広瀬信雄 (p.120-131)

季刊労働法 [182] (1997.06)

特集：規制緩和と労働法

262. 労働時間に関する女子保護規定 / 和田肇 (p.37-47)
263. EUの労働政策 2：欧州連合の男女均等法制の最近の動き / 濱口桂一郎, 小宮文人 (p.102-115)
264. 労委制度研究会ノート 9：男女差別と不当労働行為：芝信用金庫事件に関連して / 成川美恵子 (p.157-161)

岐阜女子大学紀要 [26] (1997)

265. 教師教育に関する研究 (第1報)：女子学生のエゴグラムタイプの特徴について / 木澤光子, 内田照彦 (p.87-96)
266. 高齢者のソーシャル・ネットワークと自己認知について / 三輪聖子 (p.111-120)

教育 [47-8] (1997.08)

特集：子どもと生きる地域に生きる

267. 地域の教育力と学校文化の創造：農業・農村の再生と歩む学校づくり / 新村洋史 (p.22-29)

教育 [47-9] (1997.09)

特集：これでよいのか日本の教育：私たちの求める教育改革

268. 教育改革と地域づくり / 太田政男 (p.18-22)

269. 「学び」の独自性と「教え」：新しい「教え」研究のために / 汐見稔幸 (p.106-114)

教育 [47-10] (1997.10)

特集：女の子たちの「いま」

270. 座談会：女の子たちが語る女の子たちの今 (p.6-23)

271. 座談会を終えて / 片岡洋子 (p.24-29)

教育委員会月報 [49-3] (1997.06)

272. 生涯学習の成果を生かすための方策について / 文部省生涯学習局生涯学習振興課 (p.47-49)

273. 生涯学習の成果を生かすための方策について (審議の概要) / 生涯学習審議会 (p.52-71)

教育委員会月報 [49-4] (1997.07)

274. 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習 / 文部省生涯学習局婦人教育課 (p.63-66)

教育委員会月報 [49-5] (1997.08)

275. 二一世紀を展望した我が国の教育の在り方：中央教育審議会第二次答申 / 有馬朗人 (p.4-7)

特集：21世紀を展望した我が国の教育の在り方

276. 中央教育審議会について / 文部省大臣官房政策課 (p.13-22)

277. 「教育改革プログラム」の改訂について / 文部省大臣官房政策課 (p.130-135)

教育学研究 [64-1] (1997.03)

特集：解体する家族と子ども

278. 子どもの問題における responsibility と empowerment / 石川洋明 (p.92-102)

279. 戦後家族と子どもの変容：1980年代以降を中心として / 小玉亮子 (p.95-99)

280. 現代日本の家族問題と子ども：課題研究「変化する社会と子どもの異変」の報告と若干の考察 / 門脇厚司 (p.99-102)

281. 第9回 世界比較教育学会 / 鈴木慎一 (p.131-134)

教育学研究 [64-3] (1997.09)

282. ジェンダー・エクィティと教育課題 / 朴木佳緒留 (p.309-316)

教育と医学 [45-7] (1997.07)

特集：子どもの生活リズムとしつけ

283. 急速な社会環境の変化と子どもたち / 村山隆志 (p.4-11)

284. 睡眠リズムと子どもの健康 / 太田龍朗 (p.12-20)

285. 子どもの生活リズムの生理 / 三池輝久 (p.21-28)

286. 子どもの生活リズムの乱れとその回復 / 菅野純 (p.29-36)

287. 認知の発達からみた子どもの生活リズム / 後藤容子 (p.37-43)

288. 家庭の養育環境の複雑性と単純性 / 渡邊秀樹 (p.44-50)

289. 思いやり行動のしつけ / 菊池章夫 (p.51-57)

290. 障害児のストレスと生活リズム / 富永良喜 (p.58-62)

291. 登校拒否問題への学校教育現場から提言 / 原壽 (p.63-68)

292. 現代の子ども 4：子どもとストレス / 馬場園明 (p.82-87)

教育と医学 [45-8] (1997.08)

特集：心的外傷とストレス

293. PTSDとは：診断的概念と臨床援助的接近をめぐる / 久留一郎 (p.4-11)

294. 子どものPTSD：その症状と特徴 / 山崎晃資 (p.12-19)

295. 犯罪被害者のPTSD / 小田晋 (p.20-28)

296. 災害が子どもに及ぼす影響：北海道南西沖地震を体験した子どものストレス / 藤森和美 (p.45-53)

教育と医学 [45-9] (1997.09)

特集：子どもの福祉

297. 子どもの福祉とは：日本の子どもたちはいま / 大谷嘉朗 (p.4-10)

298. 「子どもの権利条約」からみた子どもの福祉 / 小沢牧子 (p.11-17)

299. 児童福祉法の改正：少子社会の子どもたちのために / 大泉博子 (p.18-23)

300. 学校教育のあり方と子どもの福祉：「教育」と「福祉」を別々のものとする発想は正しいか / 小川博久 (p.24-30)

301. 子ども家庭福祉とファミリーサービス / 高橋重宏 (p.31-39)

302. 夫婦不和・離婚と子どもの福祉 / 石山勝巳 (p.40-46)

303. 児童虐待の実態と対策 / 田村純子, 高岡健 (p.47-52)

304. 障害者福祉の実際：社会的機関による受容と交流 / 石井哲夫 (p.53-58)

305. わが国の「子どもの福祉」の先駆け：特に石井十次を中心に / 細井勇 (p.59-64)

教育と医学 [45-10] (1997.10)

特集：ボランティアの新時代

306. ボランティア活動の理念：その変わらざるものと変わるもの / 岡本栄一 (p.4-10)

307. 高齢者の生活とボランティア / 高萩盾男 (p.11-16)
308. 障害者とボランティア / 新谷弘子 (p.17-25)
309. 災害ボランティア活躍の理由と課題 / 早瀬昇 (p.26-31)
310. 水と汗と感動の涙：海外でのボランティア活動 / 小山内美江子 (p.32-38)
311. ボランティアの国際比較：芸術・ボランティア・NPO / 川崎賢一 (p.39-44)
312. 企業の社会貢献活動とボランティア支援 / 森田仁 (p.45-51)
313. 学生ボランティアの特質と今後の課題 / 木谷秀勝 (p.52-58)
314. 高齢者自身のボランティア活動 / 中島健一 (p.59-65)
315. 心の健康を求めて22：外傷後ストレス障害 / 牛島定信 (p.73-79)
316. 現代の子ども7：こどものことばとコミュニケーション：ことばの発達援助を考える / 遠矢浩一 (p.80-85)

教育と医学 [45-11]

特集：現代人とダイエット

317. 現代人と摂食障害 / 山岡昌之 (p.33-43)
318. ダイエットと摂食障害：日仏の養育の比較から / 鈴木智美 (p.59-64)
319. ダイエットの落とし穴 / 一木貞徳 (p.65-71)
320. 心の健康を求めて23：患者の心性 / 牛島定信 (p.79-85)

教育と情報 [472](1997.07)

特集：子どもの表現力

321. データにみる国語の魅力度 / 桑原隆 (p.2-9)
322. 欧米における作文指導 / 大槻和夫 (p.22-17)
323. 平成8年度国語に関する世論調査の結果から / 野村敏夫 (p.28-31)

教育と情報 [473](1997.08)

特集：楽しい野外教育

324. 幼児・児童・生徒の学校外活動実態調査の実施結果について / 文部省生涯学習局青少年教育課 (p.26-31)

教育と情報 [474](1997.09)

特集：共に学ぶ子どもと教師

325. 子どもからみた教師の姿：国際比較 / 深谷昌志 (p.12-18)

教育と情報 [475](1997.10)

特集：スポーツを楽しむ

326. 高校生のスポーツに関する国際比較：日・米・中 / 千石保 (p.21-25)
327. 大学・短大への進学者「2人に1人」の時代へ：平成9年度学校基本調査速報から / 竹田和彦 (p.26-31)

教育評論 [607](1997.11)

特集：地方の教育行政が変わる

328. 抜本改革をめざせ地方教育行政制度 / 池本薫 (p.12-15)
329. 二十一世紀に向けた地方教育行政の在り方に関する調査研究協力者会議論点整理の概要 (p.24-25)

京都教育大学紀要. A, 人文・社会 [90](1997.03)

330. 学校不適応行動の本態解明とその対応について / 友久久雄[ほか] (p.53-69)
331. 現代社会における自由 / 加茂直樹 (p.201-212)

京都婦研連だより [58](1997.08)

特集：女性研究者の生き方シリーズ

332. 地球物理研究の道を歩んで / 前田佐和子 (p.8-19)
333. 人文・社会科学系大学院生による座談会：大学院における研究者養成の現状 / 岩崎奈緒子, 芦津かおり, 前田ひろみ (p.19-30)
334. セクシャル・ハラスメント防止に関するガイドライン (p.31-36)

熊本学園大学文学・言語学論集 [4-1](1997.06)

334. Cosmopolitansの女性像 / 藤井良彦 (p.63-81)

熊本学園大学文学・言語学論集 [4-2](1997.12)

336. The Mixture as Beforeの女性像 / 藤井良彦 (p.103-117)

熊本県立大学生活科学部紀要 [3](1997.03)

337. 都市における継承世代家族の住宅および住生活の特質・動向とその家族の論理に関する研究(2) / 大岡敏昭 (p.77-92)
338. 社会福祉サービスの基準とサービス評価事業について / 河谷はるみ (p.107-133)

くらしと教育をつなぐ-We [6-3](1997.06)

339. 「多様性」の困難をめぐって / 堀田碧 (p.25-32)

くらしと教育をつなぐ-We [6-4](1997.07)

特集：自立のイメージを探る

340. 男の更年期はなぜ隠されてきたのか / 宮淑子

(p.20-25)

くらしと教育をつなぐ-We [6-5](1997.08)

特集：売春は悪いのか？

341. 「売春を語る」ということ / 石川結貴 (p.4-7)

342. セックスワーカーを「貶めない」性教育を / 鈴木水南子 (p.8-13)

343. 社会現象としての「援助交際」を考える / 川畑智子 (p.14-20)

344. 「日本の」フェミニズムをつくるために / 堀田碧 (p.21-27)

くらしと教育をつなぐ-We [6-6](1997.10)

特集：住まいとまちづくり

345. インタビュー：複眼で見る：アートでひろがるゆるやかな関係ワークショップの手法を使って / 及部克人, 稲邑恭子 (p.4-15)

くらしと教育をつなぐ-We [6-7](1997.11)

特集：多様な家族ってなんだろう

346. シンポジウム：多様な家族ってなんだろう？：家庭科の教科書検定問題から「家族」を考える / 石橋満里子, 草野いづみ, 牧野カツコ (p.4-31)

347. アフリカから考える：リプロダクティブ・ヘルス&ライツ(1) / 草野いづみ (p.32-38)

くらしと教育をつなぐ-We [6-8](1997.12)

特集：「先進国」に学ぶ

348. ジョン・ミラー氏の講演から：天使は深刻にならないから翔べるのです：カナダのホリスティック教育 / 稲邑恭子 (p.4-11)

349. 私たちだって戦えば...! : ノルウェーのクオータ制から得たもの / 大和田香織 (p.12-17)

350. アフリカから考える：リプロダクティブ・ヘルス&ライツ(2) / 草野いづみ (p.18-24)

月刊オルタ [234](1997.04)

特集：グローバル化時代のアジアの女性労働者

351. グローバル化に直撃されるアジア：地球全体が市場と工場に / 井上礼子 (p.4-7)

352. 日本企業の現在：日系企業グローバル化の陰で「日本沈没」？ / 金子文夫 (p.8-9)

353. アジアの女性労働者 インドネシア：ナイキに踏みつけられる女性労働者たち / 佐伯奈津子 (p.10-11)

354. アジアの女性労働者 マレーシア：工業化政策に動員される女性労働者たち / 伊藤あさひ (p.12-14)

355. アジアの女性労働者 中国：「民工潮」を吸収する沿海都市 / 花崎晶 (p.15-17)

月刊オルタ [236](1997.06)

356. 米国三菱のセクハラ問題：国境を越えて社会を変える：市民運動と労働運動のネットワーク / 柏木宏 (p.14-15)

月刊公民館 [482](1997.07)

特集：地域教育活性化センターと公民館

357. 地域教育活性化センターと公民館 / 新井郁男 (p.5-9)

358. 婦人学級活動の原点はまちづくり / 海老原和子 (p.41)

月刊公民館 [483](1997.08)

特集：ふるさと地域学習

359. ふるさと地域学習 / 田代直人 (p.5-9)

360. 公民館奮闘記その1：社会の要請に応える生涯学習の拠点としての公民館：埼玉県 新座市中央公民館 / 高橋泰斗 (p.28-31)

月刊公民館 [484](1997.09)

特集：成人男性の地域社会参加

361. 成人男性学習者の地域社会参加 / 山本慶裕 (p.5-10)

362. 実践事例1：参加せずにはいられない「風土」 / 長野県山形村教育委員会 (p.11-15)

363. 実践事例2：男女協働参加型の生涯学習活動へ / 茨城県関城町関本公民館 (p.16-20)

364. 男たちよ、個性豊かに地域で生きよう！ / 中村彰 (p.25-26)

月刊公民館 [485](1997.10)

365. 「学習の高度化」とは何か / 笹井宏益 (p.5-9)

366. ユネスコ第五回国際成人教育会議：21世紀の成人学習を考える / 澤野由紀子 (p.42-43)

月刊国民生活 [27-9](1997.08)

特集：高齢者の安全な暮らし：バリアフリーを考える

367. 高齢社会における居住環境とまちづくり / 伊藤明子 (p.16-22)

368. 高齢時代の安全な住まい：加齢対応のバリアフリー住宅 / 園田真理子 (p.24-31)

369. 高齢者のための商品開発：バリアフリーの視点から / 近藤和子 (p.32-38)

370. 行政からのメッセージ：見逃せない生活情報：市民活動団体基本調査結果の概要 / 久原大二 (p.62-66)

月刊国民生活 [27-10](1997.09)

371. NPO法案を動かした市民パワー / 霊山智 (p.46-50)
 372. 行政からのメッセージ見逃せない生活情報: 「価格破壊」で家計負担減少: その裏で進展する流通ビッグバンの衝撃 / 岡本直樹 (p.51-55)
 373. 社会人の消費者学習(上): 消費生活センターによる消費者教育の現状 (p.82-83)

月刊国民生活 [27-12](1997.11)

特集: 男女共同参画社会を目指して

374. 女も男も生きやすい社会を: 男女共同参画社会に向けて / 佐藤洋子 (p.8-14)
 375. 男女共同参画をめぐる問題と課題: 性別にとらわれずに生きる条件を探る / 伊藤セツ (p.16-21)
 376. 労働環境をめぐる諸問題: 均等法後の現状 / 永瀬伸子 (p.22-25)
 377. 男女共同参画時代に向けた社会福祉制度 / 二宮厚美 (p.26-30)
 378. 自治体の女性政策への取り組み: 現状と課題 / 藤枝澪子 (p.32-36)
 379. 職場における男女待遇均等化への取り組み: 一人の人間として働いていきたい! 女性たちは声を上げる / 谷恵子 (p.38-43)

月刊社会教育 [41-8](1997.08)

特集: 平和学習をアクティブに

380. 「慰安婦」問題から見えてきた平和学習の課題: 鈴木裕子さんに聞く / 月刊社会教育編集委員 (p.6-14)

月刊社会教育 [41-10](1997.10)

特集: 第5回国際成人教育会議

381. 二一世紀への鍵としての成人学習: 第五回国際成人教育会議 / 佐藤一子 (p.46-48)
 382. NGOが動かした第5回国際成人教育会議 / 藤田秀雄 (p.49)
 383. 第五回国際成人教育会議に思う / ムレイ・トム (p.50-52)
 384. ハンブルグ会議で感じたこと / タパニ・オヤステイ (p.53-55)
 385. 第五回国際成人教育会議に参加して / 荒井容子 (p.56-58)

月刊女性&運動 [178](1997.07)

386. 対談: 女性の共同が、新たな運動の出発点 / 井上美代、笹沼照子 (p.4-9)

特集: たたかう世界の女性たち

387. フィリピンにおける女性運動: ひきつづく経済的、

性的搾取とのたたかい / コラソン・ファブロス (p.12-14)

388. パートの差別撤廃労働組合組織化で前進するイギリスの女性労働者 / 宮前忠夫 (p.15-17)
 389. 韓国: 労働法改悪とはたらく女性 / 広木道子 (p.18-20)
 390. ドイツ: 失業者が戦後最高の中ではたらく女性はいま / 和津由紀 (p.21-23)
 391. メキシコ: 子どもたちの未来のために手をつなぐ女性たち / 菅原久仁栄 (p.24-26)
 392. ベトナムの農村女性と女性連合 / 笠井貴美代 (p.27-30)

月刊女性&運動 [179](1997.08)

393. インタビュー: 岩波ホール総支配人: 高野悦子さん (p.4-7)
 394. 職場はいま: 政府・財界の21世紀戦略の下で: 第8回: トヨタ自動車 / 澤村千恵 (p.34-35)

月刊女性&運動 [180](1997.09)

395. 世界の女性情報: アメリカの女性の地位 / 岡田孝子 (p.22-23)

月刊女性&運動 [181](1997.10)

特集: 思春期を生きる

396. 子どものからだと心の発達の実状から / 正木健雄 (p.12-15)
 397. 世界の女性情報: 中国の女性運動の芽 / 前山加奈子 (p.44-45)
 398. 女性・データ: 高齢者の生活意識 (p.56-58)

月刊女性&運動 [182](1997.11)

特集: 女性はゆるさない! 新「ガイドライン」

399. 女性が力を合わせて反対運動を: 日本キリスト教婦人矯風会山谷新子会長にきく (p.10-11)
 400. 憲法の精神をベースに運動: 草の実会島田信子さんにきく (p.12-13)
 401. 世界の女性情報9: スペイン女性の気質 / 広田星衣子 (p.24-25)

月刊女性&運動 [183](1997.12)

特集: どうなる!? はたらく女性と健康

402. 労働法制の改悪と女性の健康 / 永山利和 (p.8-11)
 403. 働く女性と母性保護 / 堀口雅子 (p.12-15)
 404. 男女平等、人間らしく働く権利とルール確立めざして: 「女子保護」規定撤廃許さない大運動の特徴と教訓 / 小島妙子 (p.16-19)
 405. 職場のたたかいと「女子保護」運動 / 新婦人・わか

ば班 (p.20-21)
406. 3割が過労死の不安：はたらく女性の健康調査結果報告 / 新日本婦人の会 (p.22-31)

407. 私の「女性国会」レポート：政治参画への確かな手応え / 田口清子 (p.34-37)

408. 「妻の座」を問う 7：女性と相続問題 / 蔵本怜子 (p.38-41)

409. 世界の女性情報 連載 10：ベラウ共和国の平和 / 伊藤敏子 (p.42-43)

410. 女子差別撤廃条約第4回報告に我が国の現状として盛り込むべき事項 / 新日本婦人の会 (p.48-52)

月刊福祉 [80-8] (1997.07)

411. INTERVIEW 21世紀につなぐ：熱き想いを伝えてこそ：子どもたちと共に歩んだ50年 / 谷昌恒 (p.56-69)

412. 児童家庭福祉の歩み：要養護児童を取りまく環境と、ケアの変化 (その2) / 福島一雄, 網野武博 (p.88-95)

413. フランスの高齢者施策 3：地方分権化と新しい介護制度 / ダニエル・レゲエ, 藤森宮子 (p.102-107)

月刊福祉 [80-12] (1997.10)

特集：ボランティア・NPO活動への資金支援のあり方をさぐる

414. 座談会：ボランティア・NPO活動への資金支援を広げるために / 近藤祐次[ほか] (p.14-27)

415. ボランティア・NPO活動への資金支援の実態と課題：資金支援を活性化する社会貢献マーケットの形成促進 / 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター (p.28-34)

416. 資料：「ボランティア団体に対する資金支援のあり方に関する提言」 / 「広がれボランティアの輪」連絡会議 (p.35-39)

417. ボランティア活動を支える共同募金の課題 / 阿部陽一郎 (p.40-45)

418. 助成財団の現状と課題：助成財団は期待に応えられるか / 山口日出夫 (p.46-51)

419. ボランティア・NPO活動の活性化と仲介・支援システムの構築に向けて / 牧里毎治 (p.52-59)

420. ボランティア・NPO活動を支える：企業におけるボランティア活動・NPOへの支援：その推進と留意点 / 島田京子 (p.84-89)

月刊福祉 [80-13] (1997.11)

特集：小地域における仲間づくりを進める：～「ふれあい、いきいきサロン」活動の展開

421. 実勢レポートIV：子育てしやすい町はみんなが住

みやすい町：「子どもの広場」に関わる町社協の持ち味 / 後藤静子 (p.48-53)

422. 戦後の母子保健の歩みと期待 / 高野陽 (p.68-75)

月刊婦人展望 [482] (1997.05)

423. 憲法施行五〇年に思う / 大島静子[ほか] (p.6-7)

424. 対談：憲法の精神は根づいたか / アエテ・シロタ・ゴードン, 鍛冶千鶴子 (p.8-10)

425. 女たちの緊急集会：“ゴーマン”史観大論破：歴史は消せない女たちは黙らせない (p.11)

426. IPU特別会議 政治における男女間のパートナーシップに向けて (p.12-13)

427. 世界女性国会議員比率ランキング (1997年1月1日現在) (p.14-15)

428. 活動の拠点：女性会館の現状とこれから 27：せたがや女性センター / 斎藤洋子 (p.17)

月刊婦人展望 [483] (1997.06)

429. 羽田澄子・工藤充両氏に聞く：福祉と自治と民主主義 (p.6-9)

430. アンパイド・ワークの貨幣価値を試算 / 経済企画 (p.10-11)

431. 地方議会女性議員4.4%に (p.12)

432. 第41回衆議院議員総選挙の実態 / 明るい選挙推進協会 (p.13)

433. 女性シェルターの現状と今後の課題 / 東海林路得子 (p.14-15)

434. 国連婦人の地位委員会について聞く会 (p.16)

435. 活動の拠点 女性会館の現状とこれから 28：山梨県立総合婦人会館 / 古屋繁子 (p.17)

月刊婦人展望 [484] (1997.07)

436. イギリス総選挙レポート：120人に倍増した女性議員、その背景を探る / レスリー・アブデラ (p.5-8)

437. 座談会：国連NGO国内婦人委員会創立40周年 国連への参画を進めるために / 青木怜子, 中村道子, 山口みつ子 (p.9-11)

438. 改正均等法等について / 若菜允子 (p.12-13)

439. 諸外国のナショナル・マシーナリーについて聞く会 (p.14-15)

440. 活動の拠点 女性会館の現状とこれから 29：高松市女性センター / 森久美子 (p.17)

月刊婦人展望 [485] (1997.08)

441. 行政改革会議を取材して：男女平等施策を推進するために / 上野央絵 (p.5)

442. インタビュー：女性初の事務次官松原亘子さん (p.6-7)

443. 座談会：第140回通常国会を振り返る / 石井郁子 [ほか] (p.8-13)
444. 第140回通常国会で成立した女性・子供関係の主な法律 (p.9)
445. 国連NGO国内婦人委40周年記念シンポ：国連・女性・NGO：活動への提言 (p.14-15)
446. 消費者運動のリーダー 奥むめおさん逝く / 田中里子 (p.16)
447. 女性参政50周年記念女性参政関係資料集をまとめて 1 (p.18)

月刊婦人展望 [486](1997.09)

448. インタビュー：男女共同参画審議会新会長岩男寿美子さん (p.4-5)
449. 座談会：今、教育を考える / 大西珠枝[ほか] (p.6-10)
450. 2000年への行動のページ：「男女共同参画2000年プラン」の推進について聞く会 / 大関清子 (p.12-14)
451. 女性参政50周年記念女性参政関係資料集をまとめて 2 (p.17)

月刊婦人展望 [487](1997.10)

452. 住友賃金差別裁判原告らILOへ：職場の男女差別を国際世論に訴える / 正路怜子 (p.5)
453. スウェーデン・スタディツアー報告：地方自治体にみる高齢者福祉と男女機会均等政策 / ビルキッタ・ニルソン[ほか] (p.6-11)
- 特集：2000年への行動ページ 平等・開発・平和
454. 「男女共同参画2000年プラン」の推進について聞く会 / 大関清子 (p.12-14)
455. 第4回アジア太平洋女性と政治会議 / 橋本ヒロ子 (p.15)
456. '97女性問題サマーセミナー：男女共同参画時代の女性問題：改正均等法とセクシュアル・ハラスメント / 福島瑞穂 (p.16-17)
457. '97女性問題サマーセミナー：男女共同参画時代の女性問題：アンペイド・ワークの評価をめぐる / 矢澤澄子 (p.17)

月刊婦人展望 [488](1997.11/12)

458. 座談会：1997年を振り返る：法制度見直し問題に追われた女性たち / 江橋崇[ほか] (p.5-10)
459. 参議院50周年記念：女性国会開かれる (p.11-14)
460. 第140回通常国会 (97.1.20~6.18) における衆・参女性議員の活動(上)：衆議院 / 市川房枝記念会婦人問題調査出版部 (p.16-17)

月刊世論調査 [29-7](1997.07)

461. 社会意識 / 総理府広報室 (p.2-55)

月刊ロアジール [22-3](1997.7・8)

462. レジャー白書 '97：連休新時代(その2) / 山田絃祥 (p.8-13)

月刊ロアジール [22-5](1997.10)

463. 社会参加型余暇活動と人材育成その二、地域リーダーとその活動 / 瀬沼克彰 (p.35-40)

研究紀要 / 鹿児島女子大学 [19-1](1997.07)

464. 加治木の文教的風土と「柁城」(その四) / 二見剛史 (p.133-162)

研究紀要 / 子ども情報研究センター [14](1997.03)

特集：子どもとの共生を求める実践と研究

465. 共生時代の研究と実践：研究者と実践者の連帯を求めて / 堀正嗣 (p.6-15)
466. 子ども・親・地域住民との生き生きした関係づくりをめざして / 松尾純代 (p.26-32)
467. 生きる力を育てるために：親が危ない・子どもの生活と親の意識から / 黒川衣代 (p.39-46)

研究紀要 / 埼玉純真女子短期大学 [13](1997.03)

468. スペランザとワイルド夫人：フォークロア収集の動機について / 星野恵里子 (p.1-14)

研究紀要 / 長岡短期大学 [30](1997.03)

469. 企業の人材戦略と能力開発 / 織田善幌 (p.1-21)

研究報告 / 姫路短期大学 [42-2](1997)

470. 「園児の生活実態を探る(2)」：母親の意識調査からの分析 / 福永一美 [ほか] (p.19-34)
471. 青年期の食行動と健康に関連する意識 / 山本照子, 武副礼子, 平井和子 (p.35-40)

健康管理 [517](1997.07)

特集：ライフスタイルと健康予測

472. ライフスタイルと健康予測 / 吉田勝美 (p.3-20)
473. 受動喫煙の健康管理について / 浅野牧茂 (p.21-34)

現代思想 [25-11](1997.10)

特集：ブラック・カルチャー

474. レゲエと「語られていない半分」としての女性 / 鈴木慎一郎 (p.100-111)
475. みずから混乱を求めて / コベナ・マーサー ; 堀真理子訳 (p.149-159)
476. 黒人男性性：黒人フェミニストの視点 / 萩原弘子 (p.214-225)
477. アイス・キューブ・カルチャー：共に胸熱く真実を語る / ベル・フックス, アイス・キューブ ; 西本

- あづさ訳 (p.242-259)
478. 「アイス・キューブ・カルチャー」にみられる自己愛について / ケビン内田 ; 小林洋子訳 (p.260-266)

現代思想 [25-13] (1997.12)

特集 : 「女」とは誰か

479. 私という旅 : 60年代フィリピンから90年代日本へ / リサ・ゴウ, 鄭暎恵 (p.36-45)
480. 「違い」の論じ方 : 「ジェンダーと階級と人種」という問題 / 萩原弘子 (p.50-58)
481. マニラで考えたこと / 嶋田美子 (p.59-67)
482. 彼女 はどこから語るのか : ヴァージニア・ウルフの遺言 / 竹村和子 (p.68-82)
483. Message in a Rolling Pumpkin : 応答するということについて / 岡真理 (p.83-101)
484. 道徳的セックスとは何か : 欲望が言葉を獲得するとき / 鍵田いずみ[ほか] (p.102-124)
485. 帝国のフェミニズム / 藤目ゆき, 田崎英明 (p.125-139)
486. 都市社会の文脈の中で黒い女性の肉体を取り締まる / ヘイゼル・V・カービー ; 藤永康政訳 (p.140-157)
487. 家があってもなくても : 新宿・心を開く輪 (新宿・野宿者女性の会) / 山口時子, 池田幸代 (p.158-171)
488. 置き換えと女性の言説 / ガヤトリ・C・スピヴァク ; 長原豊訳 (p.172-198)
489. 遡及的に変形される私の慥な「記憶」、あるいは分有される私の想起 / 長原豊 (p.199-207)
490. 性暴力と法 / 角田由紀子, 原美奈子 (p.208-232)
491. ジェンダー指標とジェンダーの意味性の変化 : 映画「新宿ボーイズ」におけるオナベの場合 / クレア・マリイ (p.262-278)
492. ポスト・コロニアリズム批評とフェミニズム : アウトサイダーでもあり、インサイダーでもあり / サラ・スレーリ, 岡真理, 村山敏勝 (p.279-289)
493. 性の交易 / ゲイル・ルービン (p.290-323)

現代性教育研究月報 [15-7] (1997.07)

494. 子供達の性をめぐる「問題行動」 : 児童相談所の相談事例にみる子供達と親・関係者 / 櫻庭けい子 (p.1-5)

現代性教育研究月報 [15-9] (1997.09)

495. 第13回世界性科学学会に参加して / 大川玲子 (p.1-5)
496. 「青少年をテレクラ体験へ誘導するもの」を読む : 東京都「青少年の生活と意識及び青少年と性に関する法制についての調査」から / 奥村元子 (p.6-9)

現代性教育研究月報 [15-10] (1997.10)

497. 性教育 : 21世紀への展望 / パープロ・L・アクセルソン, 東優子 (p.1-5)
498. 国際的にみた日本の家族 / 千石保 (p.8-11)

現代性教育研究月報 [15-11] (1997.11)

499. 「生きる力」を育むライフ・スキル教育 / 武田敏 (p.1-3)

現代のエスプリ [361] (1997.08)

特集 : 心身症の治療と展開

主要な心身症の治療

500. 摂食障害 : 神経性食欲不振症と神経性過食症 / 山岡昌之 (p.14-24)

心身症治療法の新しい展開

501. 更年期障害とホルモン補充療法 / 大川玲子 (p.79-85)

新しい心身医学の対象とその治療

502. 学校ストレス性障害とその治療 / 山口剛 (p.171-179)
503. 仕事・職場ストレス性障害とその治療 / 野村忍 (p.180-186)
504. 結婚のストレス性障害とその治療 / 清田一民 (p.187-194)

現代のエスプリ別冊 (1997.10)

特集 : 看護と介護の人間関係

人間関係の基礎論

505. 対人関係の心理 / 高良美樹, 飛田操 (p.22-37)
506. 患者家族と看護者の役割 / 小林美子 (p.158-166)
507. 家族関係の構造と機能 : 現状分析と提言 / 岡堂哲雄 (p.214-224)
508. 家族の看護 / 介護機能の活性化 / 坂田三允 (p.234-242)

厚生 [52-9] (1997.09)

509. 子ども国会議員登院で国会開会 ! (p.22-25)

更生保護 [48-10] (1997.10)

特集 : 危機のサイン

510. AKKシェルターの現在 : 暴力被害女性の援助を巡って / 米山奈奈子 (p.23-26)
511. 児童福祉法改正と教護院 / 大塚晃 (p.38-39)

高知大学教育学部研究報告.第1部 [54] (1997)

512. 子どもと大人の関係をめぐる諸問題 (その2) :

Ekkehard von Braunmuhl 反教育学 の検討(その3) / 池谷壽夫 (p.19-33)

神戸女子短期大学論攷 [42](1997.03)

- 513. ともに生きる喜び / 梶原君江 (p.1-16)
- 514. 家庭科教育について(2) : 教科観と展望 / 高岡京子 (p.133-143)
- 515. 栄養士コース学生の料理や食品に対する認識の現状第3報 : 学生とその母親の料理嗜好 / 西川貴子 [ほか] (p.155-163)

国際協力プラザ [31](1997.01)

- 516. インドシナWID国別ワークショップを終えて : 2000年に向けた国別行動計画を採択 / チュロン・マイ・ホア, ケンベット・ボルセナ, キアット・ソクン (p.18-19)

国際女性 [11](1997)

- 517. 「国際女性の地位協会」10年のあゆみ / 有馬真喜子 [ほか] (p.6-92)
- 518. 第51回国連総会第三委員会報告 / 杉森長子 (p.93-95)
- 519. 第41回国連婦人の地位委員会報告 / 有馬真喜子 (p.96-99)
- 520. 第16回女子差別撤廃委員会の報告 / 佐藤ギン子 (p.100-101)
- 521. 女子差別撤廃委員会 (CEDAW) 第16会期の活動について / 米田真澄 (p.102-104)
- 522. 第12回IWRAW年次会合の報告書から / 近江美保 (p.105-107)
- 523. CEDAW 第16会期における各国レポート : 審議概要 : 国連報告書の抄訳 / 国際女性編集委員会訳 (p.108-124)
- 524. 女子差別撤廃条約レポート作成マニュアル : 女性の現状を評価する / 尾崎薫, 川真田嘉壽子, 堀口悦子訳 (p.125-151)

特集 : 女性差別撤廃条約と日本女性をめぐる今日の問題

- 525. 女子差別撤廃条約と均等法 / 大脇雅子 (p.152-157)
- 526. 条約と家族法改正 / 戒能民江 (p.158-161)
- 527. 「従軍慰安婦」問題 : CEDAWでの審議を中心に / 林陽子 (p.162-165)
- 528. 条約とリプロダクティブ・ライツ / 堀口悦子 (p.166-169)
- 529. 女性差別撤廃条約日本政府第4次レポートへの提言 / 山下泰子 [ほか] (p.170-192)

- 530. ネパールの家族計画事情 / 大野ゆかり (p.201-203)

- 531. かわる女たち / 尾藤ふき (p.203-204)
- 532. 子どもの商業的性的搾取と性的虐待の禁止のための法案作りにあたって / 清水澄子 (p.204-205)
- 533. 女性議員の立場から / 添野ふみ子 (p.205-208)
- 534. 公開講演会「人権とはなにか - 女性の人権を考える」 in 北九州 / 吉崎邦子 (p.208-209)
- 535. 福島の女性から ! / 佐藤文子 (p.209-210)

国際文化研究所紀要 [3](1997.07)

- 536. 和漢絵入女訓孝經教寿(2) : 書誌・翻刻 (p.1-14)
- 537. 張愛玲「金鎖記」の中の女性像 / 吳小莉 (p.49-61)

国際問題 [451](1997.10)

- 538. 国民参加型の国際協力 : NGOと地方自治体の役割を中心に / 五月女光弘 (p.34-48)

国民生活研究 [37-2](1997.09)

- 539. 家計研究とこづかい調査 : 全国消費実態調査におけるこづかい調査をめぐる / 横本宏 (p.1-14)
- 540. 「高齢者と安全な住まい」に関する一考察 : 住まいのバリアフリー化との関連から / 中原祥子 (p.50-65)

子どもの文化 [29-6](1997.06)

- 541. もっと語りや朗読を : 地域の女性史を伝える朗読会や語りの入門セミナーも開かれる / 上地ちづ子 (p.40-43)

こども未来 [310](1997.07)

特集 : 諸外国の児童福祉サービスを見る : こども未来財団「児童環境づくり等総合調査研究事業海外調査」から

- 542. カナダ、アメリカの児童扶養制度 / 高橋重宏 (p.4-7)
- 543. ドイツ、フランスの児童福祉制度 / 柏女靈峰 (p.8-10)
- 544. オーストラリア共和国の保育援助 / 村田哲康 (p.11-14)

こども未来 [313](1997.10)

- 545. あの国この国 : フィリピン共和国 : 子育て事情 : 子ども好きの国民性、家族計画もおおらか / マルシャーノ・R・デ・ボルハ (p.3)

- 546. 育児支援 : ボランティア日記 : 「自分ばかりがどうして?」。心の傷を負った震災遺児たちの思いと向き合う心のケア活動 / 樋口和宏 (p.16)

- 547. 座談会 : 少子化問題 : 企業に求められる役割 / 神

- 谷一雄[ほか] (p.4-14)
548. 男の子育て体験記：父よりも学校よりもグレイト
ネイチャーだけが真の師である：私のアウトドア
共育学 / 浜野安宏 (p.15)
549. 働く女性のためのフェミニストカウンセリング：
自分らしく人生を生きる：「愛しすぎる女たち」か
らの旅立ち / 梅村政子 (p.16-17)
550. わが社のはりきりワーキング・ママ：娘を見送り
ながら「今日もがんばるぞ」 / 平賀典子 (p.17)
551. パワーUP！児童館：「豊かな人間関係づくりと
は」：互いの違いを認めようで相手の可能性に期
待する / 石井千賀子 (p.20-21)
552. 現代子ども考：長寿・少子化の社会はこどもの欲
望の姿も変えていく / 高山英男 (p.22)
553. 地方からの報告：埼玉県：朝と夜は保育所への送
迎サービス昼間は一時保育と育児相談を実施：保
育ステーション設置モデル事業 (p.24-27)
554. 厚生省に聞く児童福祉法改正の要点3 / 島崎謙治
(p.28-30)

埼玉医科大学短期大学紀要 [8] (1997.03)

555. 看護における「家族」の表現についての検討：小児
看護の参考書に見る問題と課題 / 星直子 (p.1-6)

史艸 [38] (1997)

556. 遠藤清：法の中の女性像との格闘を中心に / 三鬼
浩子 (p.14-36)
557. 江原素六小考：女子教育、女性解放運動への関わり
を中心に / 入江寿賀子 (p.37-55)
558. 明治後期における食文化摂取の一形態：「家庭週
報」の西洋料理記事を中心に / 渡辺美保 (p.85-108)
559. 明治期農村社会生活の考察（埼玉）：一教師の「家
計詳細録」（1893-1909）より / 岩井サチコ (p.109-
128)

思想 [879] (1997.09)

560. 資本主義社会とセクシュアリティ：[ヘテロ]セク
シズムの解体へ向けて / 竹村和子 (p.71-104)

視聴覚教育 [51-12] (1997.12)

561. 学習メディア活用研究会15：はりまこども風土
記 - わんぱくちびっこ情報団：児童と地域社会と
の連携 / 上谷良一 (p.100-103)

実践女子大学生活科学部紀要 [34] (1997)

562. 19世紀後半フランス女性における消費意識の形成
（その1）：“La Mode Illustree”を資料として / 村
上裕子 (p.39-46)
563. 家族によるクレジット・カードの不正使用に関す

る判例の紹介：札幌地裁平成7年8月30日判決、平
成6年(ワ)第1141号、判例タイムズ902号119頁 /
門廣乃里子 (p.108-114)

564. 質問紙法による女子学生の身体意識に関する一考
察 / 井上千枝子, 石山恭枝, 青山昌二 (p.115-122)
565. 女子大生の民具に関する意識調査について / 小林
美穂子 (p.123-133)

児童研究 [76] (1997)

566. 「母性をいかす家族政策」：経済原理になかった子
育て支援 / 鈴木真理子 (p.3-16)
567. プエルト・リコの伝統文化におけるティーンエイ
ジャーの子育て / 滝沢美津子 (p.28-36)
568. S市の一保健所でグループプレイを受けている子ど
も達の成長発達とその養育者の子育て過程 / 石塚
百合子 (p.37-46)

児童心理 [51-10] (1997.07)

特集：やり抜く力を育てる

569. やり抜く力が育つ環境：教育学的視点から / 谷川
彰英 (p.6-10)
570. やり抜く力を育てられる親 / 内田玲子 (p.109-114)
571. 母と子の精神分析7：やり抜く力の条件 / 小此木
啓吾 (p.130-136)

児童心理 [51-11] (1997.08)

特集：指示待ちの子

572. 指示しすぎる親・教師の病理：なぜそうせずには
いられないのか / 小玉正博 (p.16-21)

すすんでやる子を育てる家庭

573. 親のタイプと指示待ちの子 / 秋山博介 (p.97-101)
574. やる気にさせる言葉のかわし方 / 井上敏明 (p.102-
107)
575. 母と子の精神分析8：指示待ちの子のコンプレッ
クス / 小此木啓吾 (p.127-133)

児童心理 [51-13] (1997.09)

特集：ゆらく母と子の関係

576. 危機にある母子関係 / 正高信男 (p.1-10)
577. いま自己実現としての育児は可能か / 小林芳郎
(p.11-17)
578. 母子関係をゆるがすもの / 庄司洋子 (p.18-23)
579. 子どもを攻撃する母親 / 三好邦雄 (p.24-29)
580. 過敏な母親・鈍感な母親：ほどほどの育児をする
ために / 小澤真 (p.31-37)
581. 子どもを甘やかす親：どんな子どもに育つのか /
坂本洲子 (p.38-43)

- 母と子のいい関係づくりを目指す
582. 子どもの資質を伸ばす親 / 柴崎正行 (p.47-52)
- 母と子の関係をサポートする
583. 母親を支える夫の存在 / 渡辺康麿 (p.65-70)
584. 祖父母がするとよいこと、よくないこと / 平井信義 (p.71-75)
585. 地域のネットワークをどう活用するか：武蔵野市立0123吉祥寺の実践から / 森下久美子 (p.76-81)
586. 子育てを楽しむ：小学校入学は自立のとき。母親が支えてあげたい / 寺田理恵子 (p.82-89)
- スクール・カウンセリングを考える3
587. 座談会：子どもの心を援助するためにいま何が必要か？ / 田上不二夫[ほか] (p.108-117)
588. テレビ番組の暴力性・商業性は子どもにどう影響するか(1) / 小田勝己 (p.120-125)
589. 母と子の精神分析9：困った母子関係 / 小此木啓吾 (p.127-134)

- 児童心理 [51-14](1997.10)
- 特集：学校に疲れている子
590. 「疲れている」子どもたちと教育現場 / 小田晋 (p.1-11)
591. 学校疲労にともなう子どもの心理 / 頼藤和寛 (p.12-17)
592. 「できる」「できない」に過敏な子どもたち / 大野弘之 (p.18-23)
593. 友だち関係で疲れる子どもたち / 蘭千壽 (p.24-30)
594. こころの疲れる時代 / 町沢静夫 (p.31-36)

- 疲れをいやす家庭
595. 子どもの疲れを感じとる / 木下敏子 (p.90-95)
596. 「お茶の間」の生活を見直す / 伊藤友宣 (p.96-101)
597. 怠けを認める / 久保田浩 (p.102-107)
598. テレビ番組の暴力性・商業性は子どもにどう影響するか(2) / 小田勝己 (p.122-128)
599. 母と子の精神分析10：「疲れた」の心理 / 小此木啓吾 (p.130-136)

- 児童心理 [51-15](臨増)(1997.10)
- 特集：スクール・カウンセリング入門
600. スクール・カウンセリングの現状と課題：文部省スクールカウンセラー事業の展開 / 村山正治 (p.3-13)

601. スクール・カウンセリングの基礎・基本：その理念 / 福島脩美 (p.16-23)
602. スクール・カウンセリングの方法：スクールカウンセラーの実践的アプローチ / 黒沢幸子 (p.24-32)
603. 学校が創意工夫するカウンセリングの組織 / 鶴養美昭 (p.33-41)
604. スクール・カウンセリングのこれまでの経緯 / 増田實 (p.42-49)
605. 子どもの行動をどう理解し、対応していくか / 菅野純 (p.52-59)

- 児童心理 [51-16](1997.11)
- 特集：勉強につまずいたとき
606. つまずきがもたらす自己像のゆらぎ / 永井徹 (p.17-22)
- つまずきにつきあい、見守る家庭
607. 勉強につまずいたとき親はどうするか / 石川洋子 (p.99-104)
608. くじけない子を育てる / 内藤裕子 (p.105-110)
609. 母と子の精神分析11：依存的でなく自立的な勉強を / 小此木啓吾 (p.128-134)

- 児童心理 [51-18](1997.12)
- 特集：友だちができない子
610. 友だちができない子 / 無藤隆 (p.1-10)

- 社会教育 [52-8](1997.08)
- 特集：男女共同参画学習
611. 生涯学習の視点からの男女共同参画 / 朴木佳緒留 (p.8-9)
612. 高等学校家庭科における男女必修のねらい / 河野公子 (p.10-11)
613. 家庭や地域における男女共同参画 / 渡辺秀樹 (p.12-14)
614. 女子差別撤廃条約を学ぶ：男女共同参画学習のひとつとして / 山下泰子 (p.16-17)
615. 生涯学習社会と男女共同参画 / 山本慶裕 (p.18-20)
616. 女性の人権の尊重、とりわけ女性に対する暴力根絶に向けて / 橋本ヒロ子 (p.20-23)
617. 青年男女の共同参画セミナー：「自立と共生のデュオ・セミナー」から学んだこと / 笹井宏益 (p.24-25)
618. 青年男女の共同参画セミナー：「ジェンダーの『神話』から『新話』へ」：「青空男女の共同参画セミナー」を実施して / 滝沢和彦 (p.26-27)
619. 青年男女の共同参画セミナー：阿波青年男女共同参画セミナーについて / 井谷義昭 (p.28-29)

620. 男女共同参画二〇〇〇年プランと文部省の取組 / 文部省生涯学習局婦人教育課 (p.30-32)
621. 男女共同参画二〇〇〇年プランと農林水産省の取組 / 農林水産省農産園芸局婦人・生活課 (p.32)
622. 男女共同参画二〇〇〇年プランと厚生省の取組 / 厚生省大臣官房政策課調査室 (p.33)
623. 男女共同参画二〇〇〇年プランの総合的な推進のために: 男女共同参画二〇〇〇年プランと総理府の取組 / 総理府内閣総理大臣官房男女共同参画室 (p.34-35)
624. エエック国立婦人教育会館の事業 エンパワーメントは二一世紀への合言葉: 新たなる共生をめざして / 国立婦人教育会館 (p.38-41)
625. お茶の水女子大学ジェンダー研究センターについて 館かおるさんに聞く / 樋渡真里子 (p.42-43)
626. 男女共同参画社会実現と生涯学習の役割: 女性の人的ネットワークの拡がりや生涯学習との関連に関する調査の結果を踏まえて / 井口哲夫 (p.60-63)

社会教育 [52-9] (1997.07)

特集: 未来・創造性・知的探究心・サイエンス

627. 男と女のサイエンス: 日韓合同シンポジウム: 日本生理人類学会と韓国生活環境学会 / 三沢昌子 (p.34-35)

社会教育 [52-10] (1997.10)

特集: 生活安全ライフパニック学習

628. 親が子どもに対する危機管理「思春期の子どもと親のかかわり」: アメリカでの青少年のドラッグ対策から何が学べるか: マイケル・ホブキン博士の講演から / マイケル・ホブキン (p.47-49)
629. 第五回国際成人教育会議の概要とポイント / 篠原真子 (p.50-53)
630. 生涯学習プログラムの研究: 女性県政会議と政治学習: 石川県婦人団体協議会の地域生活者活動 / 岡本包治 (p.70-73)

社会教育 [52-11] (1997.11)

特集: 「地域学」と生涯学習

631. まちづくりにおける「地域学」の可能性: 「イメージ・ダイナミクス」からのアプローチ / 田中美子 (p.8-12)
632. 地域学と生涯学習: 地域学の方角を探る / 廣瀬隆人 (p.13-17)
633. コミュニティ・ビジネスの視点で学習型のまちづくりを: 飯田市上久堅地区に見るいきいきまちづくり活動 / 細内信孝 (p.18-21)

634. インタビュー: 子どもに読み聞かせするのも、おもちゃでかかわるのも、自分が面白いからやっているだけなんです: おもちゃデザイナー漫画家相沢康夫さんに聞く / 相沢康夫 (p.52-54)

社会教育学研究 [4] (1997.08)

635. 地域づくりと連帯の生涯学習: 社会連帯意識の形成に関連させて / 小林建一 (p.1-11)
636. 地方行政における生涯学習の推進に関する考察: 教育経営としての生涯学習の再考 / 平塚力 (p.13-48)

社会心理学研究 [13-1] (1997.09)

637. 主婦の日常生活における援助行動の研究 / 西川正之 (p.13-22)

社会福祉研究 [69] (1997.07)

特集: 社会福祉専門職をめぐる課題: 社会福祉専門職制度10年

638. 福祉専門職制度10年の評価と課題: ソーシャルワーカー資格を中心に / 京極高宣 (p.42-49)
639. 座談会: 社会福祉の専門性・専門職をめぐる課題 / 鈴木五郎[ほか] (p.72-85)

周産期医学 [27-8] (1997.08)

特集: 新しくなった地域母子保健

640. 新たな地域母子保健事業の実施体制 / 平山宗宏 (p.1017-1021)
641. 思春期の健康相談 / 北村邦夫 (p.1022-1026)
642. 不妊相談のあり方 / 河上征治 (p.1027-1031)
643. 更年期の保健指導 / 増田美香子, 麻生武志 (p.1033-1037)
644. 妊産婦健康診査: その意義、基準、内容 / 本多洋 (p.1038-1041)
645. 母性の保健指導: 思春期外来 / 堀口雅子 (p.1042-1048)
646. 母性の保健指導: 家族計画指導 / 松山榮吉 (p.1049-1052)
647. 母親学級・両親学級のあり方: 小中高生の母親学級の試み / 関根憲治 (p.1053-1057)
648. 母性の保健指導: 妊娠中の訪問指導のポイント / 倉住玲子 (p.1058-1064)
649. 母性の保健指導: 産後の訪問指導のポイント / 佐藤仁 (p.1065-1068)
650. 母性の保健指導: 栄養指導のポイント / 水野清子 (p.1069-1073)
651. 勤労女性に対する保健指導 / 中林正雄, 坂元正一 (p.1076-1080)
652. 乳児の健康診査のポイント / 山中龍宏 (p.1081-

- 1087)
653. Prenatal visit : 出生前小児保健指導 / 仁志田博司 (p.1089-1094)
654. ハイリスク児出生前家族支援 / 山南貞夫[ほか] (p.1097-1100)
655. 新生児訪問指導の実際 / 南部春生, 野越禎子, 木田敏子 (p.1101-1106)
656. 未熟児訪問指導の実際 / 梶原真人 (p.1107-1111)
657. 訪問看護の実際 / 柳田久美子 (p.1113-1119)
658. NICU退院後のハイリスク児の指導 / 久富幹則, 新津直樹 (p.1120-1124)
659. 乳幼児の育成指導事業 / 吉永陽一郎, 橋本武夫 (p.1125-1128)
660. 乳幼児発達相談指導事業 / 大野勉 (p.1129-1132)

ジュリスト [1118] (1997.09)

661. 明治以来の日本の家族法 / 星野英一 (p.50-55)
662. アメリカ法の変容(一九五五 一九九五年)におけるフェミニズム法学の役割(上):日本のポストモダニズム的理解に向けて / フランシス・エリザベス・オルセン; 寺尾美子訳 (p.78-84)
663. 海外法律情報:カナダ:子供売春・子供セックスツアー・ハラスメント・女性器官切除処罰法:刑法改正法 / 齋藤憲司 (p.108)

ジュリスト [1119] (1997.09)

664. アメリカ法の変容(一九五五 一九九五年)におけるフェミニズム法学の役割(下):日本のポストモダニズム的理解に向けて / フランシス・エリザベス・オルセン; 寺尾美子訳 (p.113-120)

ジュリスト [1120] (1997.10)

665. 海外法律情報:スウェーデン:児童ポルノ規制の動き / 木下淑恵 (p.94)
666. 涉外判例研究 第四五回:離婚事件の国際裁判管轄:ドイツの離婚判決が日本の判決承認要件を具備しない状況において、ドイツ居住の妻に対する離婚請求訴訟の管轄を肯定した事例 / 道垣内正人 (p.132-135)

ジュリスト [1121] (1997.10)

667. 海外法律情報:韓国:「同性同本禁婚制」に違憲決定 / 鈴木賢, 岡克彦 (p.104)

ジュリスト [1122] (1997.11)

668. 海外法律情報:韓国:国籍法の改正:父系血統主義から両系血統主義へ / 三浦照敏 (p.71)

生涯学習研究年報 [3] (1997.09)

669. ボランティア養成と生涯学習:社会福祉協議会のボランティア講座について / 木村純 (p.87-99)

生涯フォーラム [1172] (1997.07)

670. アンペイド・ワークの貨幣的評価 / 藤原房子 (p.5)
671. 企業と地域社会 19:障害者とともに歩んで16年 / 岡本米高 (p.6-9)

特集:資格を身につける女性たち

672. 休日返上しひたすら勉強:大切なのは意志と体力 / 本吉恵子 (p.10-11)
673. まず3倍、5倍の努力を 不平不満より資格優先 / 白矢桂子 (p.11-12)
674. 資格取得はあくまで「手段」テングにならず謙虚に / 平野香里 (p.12-13)
675. 取得後も絶えず自己研鑽:将来のビジョンを明確に / 川口佐和子 (p.13-14)

生涯フォーラム [1175] (1997.10)

676. ドイツで見たユニークな環境教育 / 藤原房子 (p.25)

小児保健研究 [56-3] (1997.05)

677. いじめ問題の抜本的解決を考える / 横山正幸 (p.365-371)
678. 電話による育児相談の質についての検討 / 広野優子[ほか] (p.453-458)
679. 乳幼児の添い寝に関する実態調査 / 吉田弘道[ほか] (p.466-470)
680. 手紙による育児相談についての検討 / 中澤恵子[ほか] (p.471-478)

小児保健研究 [56-4] (1997.07)

681. 座談会:わが国の小児保健と愛育会の役割 / 内藤寿七郎[ほか] (p.487-499)
682. 三歳児健診における遠城寺式乳幼児分析的発達検査法の有用性の検討 / 宅見見子[ほか] (p.507-512)
683. 極低出生体重児の就学前における親子関係:行動評定尺度法によるコミュニケーションスタイルの分析 / 塚本妙子[ほか] (p.513-520)
684. 小学生の不定愁訴の背景 / 内田勇人[ほか] (p.545-555)
685. 病気の乳幼児と母親の養育性:強韌性(Resilience)の育成の視点から / 澤田和美, 上田礼子 (p.562-568)
686. 摂食障害の発症と心理学的機序に関する研究 / 折井亜子 (p.578-586)

683. 極低出生体重児の就学前における親子関係：行動
 評定尺度法によるコミュニケーションスタイルの
 分析 / 塚本妙子[ほか] (p.513-520)
684. 小学生の不定愁訴の背景 / 内田勇人[ほか] (p.545-
 555)
685. 病気の乳幼児と母親の養育性：強靱性 (Resilience)
 の育成の視点から / 澤田和美, 上田礼子 (p.562-
 568)
686. 摂食障害の発症と心理学的機序に関する研究 / 折
 井亜子 (p.578-586)

小児保健研究 [56-5](1997.09)

特集：子どものために何かをしよう！！

687. 子どもの心が育つ環境 / 清水凡生 (p.605-610)
688. 環境的リスク児の早期発見と早期介入に関する研
 究：地域保健活動の場における試み / 久保由美子,
 長尾秀夫 (p.627-632)
689. 母乳哺育児の自律哺乳における哺乳時間, 哺乳量, 哺
 乳間隔の月齢による変化について / 小林美智子
 (p.638-643)
690. 女子学生の食生活とライフスタイルに対する介入
 研究 / 池田順子, 森忠三 (p.644-654)
691. 肥満児の行動・性格傾向に関する研究：文章完成
 法式アンケート調査による / 吉田弘道[ほか]
 (p.660-667)
692. 保育系学生にみる自我同一性の獲得と父親の役
 割 / 服部律子, 森忠三 (p.678-683)
693. 育児の困難な母親への援助の試み / 桜井迪朗[ほ
 か] (p.684-690)

昭和女子大学女性文化研究所紀要 [20](1997.07)

特集：第7回女性学公開講座記録

694. 女性と芸能(その1)：狂言への招待 / 和泉淳子,
 三宅藤九郎, 山本晶子 (p.2-22)
695. 家庭における子どもの躰に関する日韓比較 / 金京
 淑, 岩脇三良 (p.23-33)
696. 国連デーとしての「国際女性デー」の20年 (1977-
 1997) / 伊藤セツ (p.59-73)
697. シャーロット・パーキンス・ギルマン著「女性と社
 会サービス」：翻訳と解題 / 掛川典子 (p.75-94)

昭和女子大学大学院生活機構研究科紀要 [6](1997)

698. ベーベルの女性論再考(第3報)：アウグスト・ベ
 ーベルのDie Frau und der Sozialismus の「序説」の
 変遷 (1879-1909) / 伊藤セツ (p.67-87)
699. 消費者利益と企業利益の接点：ヒーブの検討か
 ら / 松葉口玲子, 斎藤悦子, 伊藤セツ (p.89-99)

助産婦 [51-3](1997.08)

特集：潜在助産婦の積極的な活用を考える

700. 母子保健行政における地域助産婦活動の役割につ
 いて / 河野洋子 (p.26-29)
701. ニュージーランドにおける自律職としての助産の
 再発見 / キャレン・ギリーランド (p.34-42)

女子教育 [20](1997.04)

特集：人とのかかわりを考える

702. 家庭の危機管理能力：子どもの危機とその対応 /
 中野由美子 (p.4-5)
703. ジェンダーの視点から見た人とのかかわり方 / 猪
 飼美恵子 (p.52-56)
704. 女子短大生の人とのかかわり方：「転生願望法」ア
 ンケートの結果をもとにした考察から / 松原由枝
 (p.57-61)
705. 夫婦間における対等の呼称表現をめぐって / 森野
 宗明 (p.72-76)

公開講座「子供の危機とその対応」

706. 災害の人心に及ぼす影響：阪神大震災を体験し
 て / 伊藤寿美枝 (p.83-89)
707. 災害に遭った子どもの心とそのケア / 岡田幸之
 (p.89-95)
708. 団らんの食事と子どもの心の健康 / 小玉正博
 (p.96-102)
709. 子どもの食と健康の問題 / 平山宗宏 (p.102-108)
710. ほめ方しかり方を考える / 中野由美子 (p.109-114)
711. 生活習慣の危機 / 谷田貝公昭 (p.115-121)

女子教育研究 [19](1997.06)

712. 従来の高校家庭科に対する女子短大生の評価 / 池
 木清 (p.1-9)
713. 高校男女共修家庭科の実態とその第1期生による評
 価 / 池木清 (p.11-22)

女性学 [5](1997)

特集：女性と政策決定過程

714. 女のいない政治過程：日本の五五年体制における
 政策決定を中心に / 岩本美砂子 (p.8-39)
715. アメリカ合衆国における「女性と政治」研究：政策
 決定過程とジェンダー / 相内真子 (p.40-63)
716. フランスにおける男女平等政策の推進 / 植野妙実
 子 (p.64-85)
717. 韓国の女性政策決定過程においての女性運動の役
 割：「性暴力特別法」制定運動の事例を中心とし
 て / 韓明淑 (p.86-118)
718. 米軍基地と「買売春」：御殿場の場合 / 平井和子

- (p.120-147)
719. 「蛇」にみる鷗外と晶子のジェンダー / 中島美幸 (p.148-168)
720. 自分の癒しと真のシスターフードを求めて：サバイバーによる自助グループ活動を通しての発見 / 二見れい子 (p.169-189)
721. 女性と自己愛：クリステヴァの一次ナルシズム論にみる癒しからの成長 / 田中明子 (p.190-206)

女性学研究 [5] (1997.03)

722. 近代家族の形成と生活改善問題 / 小山静子 (p.2-13)
723. 「近代家族」としての満州農業移民家族像：「大陸の花嫁」をめぐる言説から / 古久保さくら (p.14-26)
724. ニュースの文脈から見えてくるセクシズム / 畑律江 (p.34-47)
725. 表現という暴力 / 田川建三 (p.48-55)
726. メディアへの女性のアクセスとは / 村松泰子 (p.56-75)
727. 表現の不自由、不平等とは：女が性的脅威を表現することの困難について / 萩原弘子 (p.76-80)

女性学年報 [18] (1997)

728. 授業「女性学」を考える (2) : 短大における実践例に見る授業方法 / 内海崎貴子 (p.20-31)
729. 消費と破壊から創造へ：アンジェラ・カーターの怪物たち / 細川祐子 (p.32-46)
730. 「生き直す」ための小説：冥王まさ子を読む / 赤崎久美 (p.47-58)
731. 戦う娘たちが母を想うとき：「新世紀エヴァンゲリオン」における女性像 / 村瀬ひろみ (p.59-70)
732. 男装する「美少女戦士」：異性装のキャラクターから見るアニメ「セーラームーン」 / 山口佳代子 (p.71-77)
733. 更年期の構築：医療が描く女性像 / 山本祥子 (p.78-87)
734. 疎外された女性たち：看病をめぐる / 溝畑幸栄 (p.88-98)
735. 比較アジア家父長制史研究へ向けて：アジア女性史国際シンポジウムより / 小浜正子 (p.99-107)
736. 世界システム・近代化・ジェンダー：ミース他著「世界システムと女性」を読み直す / イルゼ・レンツ [善本裕子訳] (p.108-112)

女性教養 [536] (1997.06)

737. 癒しとしてのドラゴンクエスト / 高宮典子 (p.3-6)
738. 初めての女性シンポジウムに取り組んで：女性シンポジウム開催実行委員会 / 藤原恵美子 (p.8-9)

739. 自主学習活動からエンパワメントを：つつじの会より発展して / 谷佳子 (p.10-11)
740. 第41回国連婦人の地位委員会 (p.14)

女性教養 [537] (1997.07)

741. 経済企画庁の「無償労働の貨幣評価」の問題点 / 久場嬉子 (p.3-6)
742. ストーリーテリングの活動を通して：子どもたちと感動を共にする本との出会い / 平松二三代 (p.8-9)
743. 世代を超えて描く、私たちの未来予想図：しまねレディースネットワーク / 池淵紀美子 (p.10-11)
744. こ・の・ひ・と：國信潤子さん：ASPBAE アジア・南太平洋成人教育協議会理事 (p.13)

女性教養 [538] (1997.08)

745. 「ドメスティック・バイオレンス」アンケート調査からみえてきたもの / 戒能民江 (p.3-6)
746. 「レイコ (REICO)」の活動から伝えたいこと：強姦救援センター・沖縄 / 竹下小夜子 (p.8-9)
747. 共に考え共に行動する草の根の女たちの相談・支援活動：女のスペース・にいがた / 西澤真知 (p.10-11)
748. こ・の・ひ・と：上村兪巳子さん (p.13)

女性教養 [539] (1997.09)

749. 婦人学級30年の軌跡：「東京都の婦人学級30年 - 女性の主体形成のあゆみを見る - 」発行に寄せて / 重田統子 (p.3-6)
750. 女性施設 クリップボード：あいち国際女性映画祭 (p.6)
751. 「花婿学校」における学習支援 / 矢口悦子 (p.8-11)
752. こ・の・ひ・と：吉田英子さん：男女混合名簿の実践 (p.13)

女性教養 [541] (1997.11)

753. 小学生とテレクラ遊び：その実態と対応 / 庄子晶子 (p.3-6)
754. 活動情報 1：エンパワーする子育て情報誌：地域情報紙「ゆめこびと」7年の歩み / 清水正江 (p.8-9)
755. 活動情報 2：「元気のでる会」：シンガポール日本人駐在員妻の自主学習行動グループ / 小林まり子 (p.10-11)

女性教養 [542] (1997.12)

- 特集：平成9年度フォーラム「女性と学習」
756. 仲間の中で：「母と子の教室」で目指したもの / 百瀬道子 (p.4-5)
757. 10年の実践を通して：「講座ルトラヴァイエ」 / 服

- 部洋子 (p.6-7)
758. 自己主張トレーニングと女性のエンパワーメント / 渡辺ひろみ (p.8-9)
759. こ・の・ひ・と : 大川加世子さん「コンピューターおばあちゃんの会」代表 / 大川加世子 (p.18)

女性史学 [7] (1997)

760. 曾国藩の末娘の婚姻と家庭 : 曾紀芬『崇徳老人自訂年譜』を読む / 野村鮎子 (p.1-17)
761. 中世後期における女子一期分の転回 : 沼田小早川家と竹原小早川家の比較から / 中川理恵 (p.18-32)
762. 『満州の思ひ出』考 : ある女性の満州体験 / 田中智子 (p.33-44)
763. 歌舞伎を支える女たち : 役者の母親 / 東晴美 (p.45-57)
764. 特別展『Female Identity (女はどう表現されてきたか)』を終えて / 福富幸 (p.57-62)
765. 女性史ノート : 上野千鶴子・佐々木潤之介両氏の近業に寄せて / 大口勇次郎 (p.63-70)
766. 「『もの』と身体」論の検討 : 長谷川博子氏の報告によせて / 宇佐美英機 (p.70-91)
767. シンポジウムの記録 : 日中女性史研究シンポジウムに参加して / 田端泰子, 風呂本惇子 (p.92-97)

女性施設ジャーナル [3] (1997)

特集 : 女性施設における市民活動支援とは

768. なぜどのように行なうか市民活動支援 / 上野千鶴子[ほか] (p.6-17)
769. 大阪YWCAの市民活動支援の試み : 企画力養成講座を皮切りに / 金香百合 (p.18-25)
770. 行政も支える「心を配りあう社会」 : ボランティア先進国英米の場合 / 黒川ホワイト育子 (p.26-31)
771. 北京女性会議後のNGO / 加藤登紀子 (p.32-35)
772. NPOが望む支援とは? : 広島での調査から / 森玲子 (p.36-39)
773. フォーラムよこはまでは : 市民活動応援講座の試み / 小園弥生 (p.40-45)
774. 横浜女性フォーラムでは : 市民活動・研究助成事業 / 大石友子, 服部洋子 (p.46-51)
775. エル・パーク仙台では : 市民活動支援事業 / 奥山恵美子 (p.52-54)
776. かながわ県民活動サポートセンターでは / 椎野修平 (p.56-60)
777. 東京ウィメンズプラザでは / 桜井光子 (p.62-66)
778. 座談会 : 女性施設の一〇〇年史PART3 : 政治教育一筋に : 創設の志を貫く / 志熊敦子[ほか] (p.70-92)
779. あなたの地域の女性センターは何点? : グループ

- みこしの評価指標作成研究から / 米田禮子 (p.98-111)

女性と仕事ジャーナル [5] (1997.08)

特集 : 女性・パート・21世紀

日欧パート事情

780. 「日欧女性パート国際シンポジウム」を開催して : 欧州の均等待遇原則に学ぶ / 金谷千恵子 (p.7-12)
781. 非正規雇用にみるジェンダーバイアス / 小松満貴子 (p.13-15)
782. パートとフルタイムの団結に向けて : 運動の主体としての弱体化をパート、フルタイム労働者の組織化により克服する / 永嶋里枝 (p.16-18)
783. コミュニティ・ユニオンの歩み : どんなときでも元気の出る闘いを! / 宇野陽子 (p.19-21)
784. 職務評価によるパート問題への取組の可能性 (イギリスの例から) : 職務評価によるパート問題への取り組みの可能性 / 田中典子 (p.22-24)
785. 再就職と職業能力開発 : 主婦のフルタイマー再就職と職業能力開発 / 岩田喜美枝 (p.25-28)
786. パートタイム労働に関する意見 / 女性と仕事研究所 (p.29-35)

専門職パート

787. 今、「専門職パート」を考える / 金谷千恵子 (p.37-38)
788. 管理職にパートタイマーを : フレキシブルな勤務形態を広く認めさせ、管理職にもパートタイマーを / ジェニファー・ハーストフィールド (p.39-41)
789. 欧州の専門職パート : 男女で育児休業、ゆとりある働き方を : スウェーデンにおける公務員パートについて / マリアン・サンドストローム ; 金谷千恵子訳 (p.42-43)
790. 女性のビジネス能力の開発の現状と課題 : 女性のビジネス能力開発の現状と展望 : OJTの補完としてのパワーアッププログラム / 中居成子 (p.44-46)
791. 介護士の場合 : 特別養護老人ホームでの仕事法の隙間でないがしろにされる権利 / 徳田千枝子 (p.47-48)
792. 編集者・フリーライターの場合 : 孫請けが常識? フリーライター戦国時代 / 村上英子 (p.49-52)
793. 大学非常勤教員の場合 : 夢はあっても、ないない尽くしの大学非常勤講師 / 藤井幸之助 (p.53-56)
794. EUの女性労働政策への取り組み : 特にフランスの場合 / 神尾真知子 (p.60-70)
795. ジェンダー・ニュートラルな社会システムに向けて / 竹中恵美子 (p.71-78)
796. とく&とく : メディアの世界における女性の

- エンパワーメント / 田上時子 (p.80-83)
 797. オーストラリアの旅 / 佐々木真紀 (p.85-88)
 798. 企業と女性をつなぐカタリスト協会への旅 / 荒金雅子 (p.89-91)

女性と労働21 [6-21](1997.07)

- 特集：シンポジウム：女たちが問う！「構造改革」
 799. 社会保障・雇用平等・労働基準 / 小宮山洋子[ほか] (p.6-42)

特集：労働時間法制等の改正

800. 「中間まとめ」へ、労働省が「試案」提示：中央労働基準審議会の審議状況 (p.43-64)
 801. わが国が高失業社会に陥らないために / 雇用政策研究会 (p.65-78)
 802. 平成9年4月1日からの労働時間制度について / 労働省賃金時間部労働時間課 (p.79-83)
 803. 無償労働の貨幣評価について / 経済企画庁経済研究所国民経済計算部 (p.84-97)

女性と労働21 [6-22](1997.10)

- 特集：労働時間・労働契約等法制の改正
 804. 「今後の労働時間法制及び労働契約等法制の在り方に関する中間的取りまとめ」について / 労働省 (p.12-21)
 805. パートタイム労働に係わる調査研究会報告 / 労働省 (p.50-113)

女性のひろば [223](1997.09)

- 特集：神戸・児童殺害事件から考える
 806. 真剣に悩み考えている子どもたちと語りあってこそ：尾木直樹さんに聞く (p.50-53)

女性のひろば [224](1997.10)

- 特集：スポーツ界：女性たちの進出と活躍
 807. スポーツ界に新しい風：躍動し、高みに挑む女性たち / 広畑成志 (p.26-31)
 808. 女子学生の就職難どう考える：就職協定廃止の大学教育への影響を中心に / 三輪定宣 (p.108-112)

女性のひろば [225](1997.11)

- 特集：「援助交際」私はこう思う
 809. 調査などに見る「援助交際」、テレクラの実態は (p.134-137)

女性文化研究所紀要 [6](1997.03)

810. 現代中国女性の就職観についての探究 / 朱易安；材木谷敦訳 (p.1-14)
 811. アジアの女性と教育：南アジア（バングラデシュ

農村部)を中心に / 細谷早里 (p.15-35)

812. 観光と女性：研究の現状と動向 / 安福恵美子 (p.37-53)
 813. 世田谷区域における高齢者社会への一試論：高齢者の能力減退に伴う財産の保全と管理の問題と対策 / 高桑博 (p.55-69)
 814. 本学女子学生意識調査報告 / 麻原雄[ほか] (p.81-89)
 815. 「共創のコスモロジー：創造する女性」と女性音楽家再評価の動き / 竹内智子 (p.125-133)

女性労働 [22](1997.09)

- 特集：改正男女雇用機会均等法
 816. 均等法・労基法改正について / 高島順子 (p.4-13)
 817. 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等のための労働省関係法律の整備に関する法律案に対する付帯決議 / 参議院労働委員会 (p.24-25)
 818. 改正均等法及び労基法における女性保護規定の解消に伴うアピール / 女性議員有志 (p.25-26)
 819. 労働時間法制及び労働契約等法制の在り方に関する中間的取りまとめ（報告） / 中央労働基準審議会 (p.26-33)

特集：少子化と女性労働

820. 少子化と二十一世紀の日本の人口 / 阿藤誠 (p.34-40)
 821. 母子保健とその周辺の問題 / 岩澤和子 (p.41-46)
 822. 無償労働の貨幣評価について / 高橋桂子 (p.47-51)
 823. 最近のセクシャル・ハラスメント裁判の動き / 角田由紀子 (p.66-69)
 824. 女性の年金はどうなるか：1995年改正の方向をみつめて / 島田とみ子 (p.70-77)
 825. 働く女性とこれからの企業福祉制度 / 山口麻衣 (p.78-85)
 826. 既婚女性労働の労働経済学的研究：中断再就職の要因とその克服策を中心に / 照内八重子 (p.80-92)
 827. 新聞求人広告にみる女性ドライバー募集の動向 / 高梨千恵 (p.93-99)
 828. 「男性の職場」に進出する女性労働者：トラック・ドライバーの場合 / 八木彩子 (p.100-106)
 829. 韓国の女性労働運動の近況から / 多田とよ子 (p.107-111)
 830. パートタイム労働に係わる調査研究会報告書（概要） / 労働省婦人労働課 (p.118-125)
 831. 連合の短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律改正要求 / 第二五回連合中央委員会 (p.125-126)

832. 1997年ILO総会に対する100号条約・勧告適用についての報告書/条約勧告専門家委員会 (p.126-129)
833. 連合の100号条約についての報告/連合 (p.129)

女性労働研究 [31] (1997.01)

特集:「新・日本的経営」とジェンダー

834. 大競争のなかの「新・日本的経営」:ジェンダーと社会階層へのインパクト/大沢真理 (p.4-9)
835. 女性の雇用クライシス/竹信三恵子 (p.10-15)
836. リストラ「合理化」と女性労働者・労働組合/岡本一 (p.16-21)
837. 自治体非正規労働者の組織化:誇り高きパート労働者へ/菅根秀子 (p.22-27)
838. 丸子警報器パート賃金差別訴訟の今日的意義/岩下智和 (p.28-33)

特集:高齢社会の福祉とジェンダー

839. 高齢社会における女性労働が担うジェンダー問題/杉本貴代栄 (p.34-39)
840. 女性の就労と高齢者介護システム/廣瀬真理子 (p.40-45)
841. 地域における福祉施策の課題:行政窓口からみた高齢者福祉の現状/有園田鶴子 (p.46-51)
842. イギリスにおけるケアリング研究:フェミニズム視点から/笹谷春美 (p.52-58)
843. 「女性労働研究」への期待1:労働研究とマルクス経済学との連携/伊藤誠 (p.61-63)
844. 「女性労働研究」への期待2:労働内容の性別分離をめぐって/熊沢誠 (p.64-66)
845. 「女性労働研究」への期待3:売り渡せないもの/増田れい子 (p.67-69)
846. 女性労働セミナーの報告/渋谷敦司 (p.70-72)
847. 損害保険会社で四二年間働いて/寺井佐知子 (p.73-75)
848. 丸子警報器パート訴訟の現場から/山田和代 (p.76-79)

女性労働研究 [32] (1997.07)

849. 最近の男女の昇進・昇格・賃金差別裁判をめぐって/坂本福子 (p.4-9)

特集:雇用平等とリプロダクティブ・ヘルス/ライツ:均等法改正が提起した課題

850. 保護と平等のパラダイムの転換/中野麻美 (p.10-15)
851. 労働規制と働く女性の健康:よりよい男女共存に向かって/堀口雅子 (p.16-20)
852. 健康の視点からみた男性の働き方/酒井一博

(p.21-25)

特集:女性労働運動のニューウェーブ

853. 世界に広がれワーキング・ウィメンズ・ネットワーク:WWNの一年半の活動から/正路怜子 (p.38-43)
854. 女性による、女性のための、女性のユニオン:一人ひとりの自立と連帯をめざして/谷恵子 (p.44-49)
855. 女性と男性が共同でつくる労働組合の発展を願って/岡部美枝子 (p.50-55)
856. 「大学非常勤講師組合」とジェンダー/浅野富美枝 (p.56-61)
857. 「新・日本的経営」下の雇用の弾力化と女性労働/伍賀一道 (p.62-68)
858. 「男女共同参画2000年プラン」を読んで/伊藤セツ (p.69-70)
859. 商社に働く女性に、今何が起きているか/本間節子 (p.71-73)
860. 今どき55歳定年なんて!/安藤八重子 (p.74-76)
ウィメンズ・ネットワーク
861. 昇格差別に新たな一歩/大坪慶子 (p.77)
862. 裁判の出発点-叫び-/野崎光枝 (p.78)
863. 女性差別賃金を是正させるまでがんばりたい/川原洋子 (p.79)
864. レフト・フェミニストのヨーロッパ・フォーラム:第11回コンファレンスに参加して/木本喜美子 (p.80-81)

人権教育 [1] (1997.11)

- 特集:未来をひらく人権教育:地球市民へのメッセージ
865. ジェンダーの視点が教育を変える/國信潤子 (p.16-24)
866. 学び続ける個人と社会形成をめざして:進化する国際理解教育/角田尚子 (p.47-53)

新女性史研究 [2] (1997)

867. 社会保障制度の推進役として働く人々/小玉稜子 (p.16-22)
868. 熊本出身の女医たち(1)/松本純子 (p.37-44)
869. 日本の一時的訪婚に関する民族学的考察/江守五夫 (p.66-74)
870. 性道德のフェティシズム:近親婚タブー発生に関する諸学説を手がかりに (p.75-86)

人文学報 [278] (1997.03)

871. 児童虐待問題:臨床心理学からの関わり/青木紀久代 (p.81-95)

人文学報 [280] (1997.03)

872. 事件の民族誌:「女土士の結婚」: プギス・マカッサル人社会における性観念を中心にして / 伊藤眞 (p.1-25)
873. 韓国一巫女の神観念: 天然痘の神ソンニムをめぐって / 網野房子 (p.43-66)

人文学報 [281] (1997.03)

874. 社会福祉理論における「福祉サービス」の位置と意味 - とくにパーソナル・ソーシャルサービスの拡大をめぐって / 岩田正美 (p.1-40)

人文学報 [283] (1997.03)

875. ベン・ジョンソンの「エピソード」における男性のイメージ形成 / 末廣幹 (p.47-71)

人文研究 [130] (1997.09)

876. マリア信仰の原型 / 石井美樹子 (p.27-40)
877. 末松謙澄: 生涯と業績 / 秋山勇造 (p.77-103)

人文論叢・三重大学人文学部文化学科研究紀要 [14] (1997)

878. 中国女性文学の系譜: 六朝期における女性詩人たち...「玉台新詠集」を中心として / 西村富美子 (p.1-14)

椋山女学園大学研究論集.自然科学篇 [28] (1997)

879. 妊娠中の亜鉛欠乏の胎児発生・発育に及ぼす影響の実験的研究: 催奇形性の作因特異性と高感受期の検討 / 鈴木順子, 藤村香織, 松谷康子 (p.23-33)
880. 名古屋市の老人クラブに所属する高齢者の食生活調査: II. 食生活状況とガス機器に対する意識調査 / 續順子, 佐宗洋子, 中島けい子 (p.91-101)
881. 女性のカルシウムと鉄に関する意識と実態 / 福谷洋子, 木村友子 (p.103-114)
882. 某総合商社社員の栄養および生活に関する調査 / 加賀谷みえ子, 岩田奈弓, 戸田安士 (p.115-124)
883. 母・娘の体型特性と衣服設計への展開 / 富田明美 (p.143-156)
884. 「家政学」「生活科学」の比較研究: 生活科学部学生の視点に基づく諸概念の比較 / 東珠実 (p.1-9)
885. 近世・明治初期家族法関連史料(五): 旧京都帝国大学法学部日本法制史々料 / 成瀬高明 (p.1-38)
886. 「養護性(nurturance)」に関する一研究(2): 妊婦と未婚学生の比較 / 中西由里, 粟津幹子 (p.81-89)
887. 性格美人“花散里”の人間像: 「なつかし」を中心に / 梅野きみ子 (p.53-62)
888. 演劇とジェンダー(5): テレビドラマ・ジェンダー...TESL / 森川麗子 (p.83-92)

スポーツと健康 [29-9] (1997.09)

- 特集: 家庭や地域と連携した体力づくり
889. 学校週5日制時代の体力づくりの在り方 / 落合優 (p.7-10)
890. 子どもの日常の身体活動からみた体力づくりのポイント / 高橋香代 (p.11-14)
891. 家庭や地域と連携した体力づくりの取り組みの現状 / 文部省体育局体育課 (p.15-18)

スポーツと健康 [29-11] (1997.11)

- 特集: 健康, 体育・スポーツの未来を語る: 保健体育審議会答申を踏まえて
892. 保健体育審議会の答申について / 石川忠雄 (p.4-5)
893. 保健体育審議会の答申を受けて / 工藤智規 (p.6-7)
894. 座談会: 児童生徒等の健康と体力の向上を目指して / 河野重男, 玉井日出夫, 佐々木順司 (p.8-17)
895. 体育の基本的目標をめぐる認識問題 / 金子明友 (p.18-20)
896. ヘルスプロモーションの理念のもとで心と身体の健康づくりを / 平山宗宏 (p.21-23)
897. 対談: 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて / 梅村清弘, 本木章喜 (p.24-28)
898. 保健体育審議会答申を読んで: とくに生涯スポーツの普及振興に関連して / 桑野豊 (p.29-31)
899. 私の目に映る我が国の「健康・スポーツ」 / 谷岡郁子 (p.32-34)

生活研究 [28-3] (1997.05)

900. シンポジウム: 女性の正組合員加入と農業委員・各種役員の登用 / 富岡恵美子[ほか] (p.7-26)

生活研究 [29-1] (1997.06)

901. 男女共同参画社会の考え方 新たな価値の認識と創造 / 横田一利 (p.3-5)

生活の設計 [190]

902. 最近の調査レポートから: 家計簿からみたニッポン: 家計調査五十年暮らしの移り変わり / 桑原廣美 (p.56-61)

生活の設計 [192] (1997.10)

- 特集: ライフスタイルの安全
903. ライフスタイルを考えるために: ヒト・文化・自然の視点から / 鈴木継美 (p.23-27)
904. ケーススタディ: 都会と自然の共生、ラーバン・ライフ をめざして / 山田尚子 (p.50-55)

青少年問題 [44-7] (1997.07)

905. 非行からの回復と防止のために: 大人たちの責任と

義務 / 百瀬裕三 (p.16-23.)

906. 「援助交際」のもう一つの側面 / 内山絢子 (p.24-29)
907. 青少年の消費行動と非行に関する研究調査 / 大川力 (p.30-35)
908. 文部省委嘱事業・環境浄化活動事例：地域ぐるみのいじめ・不登校対策推進活動 / 丹羽仁 (p.40-44)
909. 文部省委嘱事業・環境浄化活動事例：地域が育てる子どもたち / 播田邦生 (p.45-49)
910. アジア及び南アフリカのストリートチルドレン / 黒川慧 (p.50-53)

青少年問題 [44-9] (1997.09)

911. 子どもの健康状態とライフスタイル：最近の調査から / 大澤清二 (p.4-9)
912. 青少年のストレス病とその対策 / 大國真彦 (p.10-15)
913. 食事観念の栄養学的機能：青少年の栄養問題を考える / 五明紀春 (p.16-21)
914. 思春期・青年期女子のダイエットと骨量の低下 / 志賀令明 (p.22-27)

青少年問題 [44-10] (1997.10)

915. 楽しいスポーツ活動を：スポーツ少年団のめざすもの / 恵美三紀子 (p.16-21)
916. 青少年の体力・運動能力について / 新井忠 (p.28-34)

青少年問題 [44-12] (1997.12)

917. 若者の理科嫌い・理科離れ / 三宅征夫 (p.26-31)
918. 青少年の性的自己決定能力をめぐって / 麦島文夫 (p.38-43)
919. 第22期東京都青少年問題協議会中間答申の概要：「性の商品化が進む中での青少年健全育成」：東京都青少年の健全な育成に関する条例に関して (p.44-47)
920. アメリカにおける医療保険のない子どもの増加とその対策 / 中川秀空 (p.48-51)

聖徳学園岐阜教育大学紀要 [34] (1997)

921. 物語に見る日本母性の構造：母性の「場」の試み / 加藤実 (p.123-148)

性と生の教育 [11] (1997.07)

特集：「援助交際と性教育」

922. 東京都「青少年健全育成条例」改正をめぐるパターンリズム：「買春処罰規定」は大局的見地を欠いた対処療法 / 奥平康弘 (p.16-19)
923. 試論＝「援助交際」と「子どもの権利条約」：「自己決定権」を最大限まで認める発想こそ必要だ / 藤井誠

二 (p.20-23)

性と生の教育 [12] (1997.09)

特集：いま中国の性教育は？

924. 中国の性教育の変遷と青少年性教育の現状 / 高德偉 (p.20-25)
925. 上海の性教育：歴史と課題 / 洪嘉禾 (p.26-27)
926. アンケート分析：北京の青年の性と愛 / 郭友, 畢曉白 (p.34-37)
927. 中国の性科学研究と上海の青年の性と愛 / 馬利中 (p.38-41)
928. 編集長対談：国家が性暴力をシステム化した「慰安婦」制度と女と男 / 西野瑠美子, 山本直英 (p.83-88)

世界 [638] (1997.08)

929. 保育園が変わる：児童福祉法改正は、子どもの権利を守れるのか？ / 今井文恵 (p.202-209)
930. 子どもたちはなぜ暴力に走るのか / 芹沢俊介 (p.221-231)

世界 [639] (1997.09)

931. 子どもたちへの「暴力」に立ち向かう / 森田ゆり, 斎藤次郎 (p.185-196)

世界と人口 [279] (1997.06)

932. UNFPA世界人口白書 1997：選択の権利：リプロダクティブ・ライツとリプロダクティブ・ヘルス (p.6-17)
933. 初の加藤シズエ賞に二団体：SOSHIREN 女のからだから：女のスペース・おん (p.18-21)

世界と人口 [280] (1997.07)

934. 国連人口基金メディアセミナー：女性 について語り合う / 長谷川聖子 (p.12-13)
935. 海外の資料から：近代的避妊法アクセス指標 (p.22-27)
936. 人口統計あらかると 6：1995年国勢調査：配偶関係 / 川崎茂 (p.50-53)
937. 世界の国ぐにの人口：世界国々の人口と経済活動(三) / 大友篤 (p.58-64)

世界と人口 [281] (1997.08)

938. 海外の文献から：中絶法 今、ドイツでは / ベトラ・プレス (p.34-37)
939. 世界の国ぐにの人口：世界の国々の人口と経済活動(四) / 大友篤 (p.42-50)

世界と人口 [282] (1997.09)

アフリカ共同取材の旅

940. アフリカから考える人口問題 / 滑志田隆 (p.16-18)
 941. リプロ・ライツと女性の自立 / 若林宗男 (p.19-21)
 942. 女性のエンパワーメント・男性の巻き込み・若者の教育が鍵 / 草野いづみ (p.22-24)
943. 今月の人：パーブロ・レネア・アクセルソン氏 (p.26-29)
 944. 海外の文献から：ユーゴスラビア、女性の選択権 / ミリヤナ・ラゼビック (p.40-44)

世界と人口 [283](1997.10)

特集：世界人口デー記念特別シンポジウム

945. 基調講演・人類共通の課題：人口とリプロ・ヘルス / マルコム・ボツ (p.6-14)
 946. パネルディスカッション・人口とリプロ・ヘルス：世界人口白書を踏まえて / 北谷勝秀[ほか] (p.15-30)
947. 海外の文献から：ポーランド、選択権を目指す闘いは続く (p.42-46)
 948. 人口統計あらかると 8：1995年国勢調査：女性の労働力率 / 川崎茂 (p.50-53)

世界と人口 [284](1997.11)

中国の家族計画・母子保健事情

949. 保健婦の目から / 遠藤智子 (p.10-12)
 950. 助産婦の目から / 安富祖麗子 (p.13-15)
 951. 看護婦の目から / 畀野ミサエ (p.16-18)
952. 今月の人：パキスタン人口福祉大臣セイダ・アビダ・フセイン氏 (p.20-21)
 953. 発展の足がかりを求め新潟県を視察：家族計画指導者セミナー / 本間真理子 (p.22-24)
 954. 海外の文献から：バルト三国のリプロダクティブ・ヘルス (p.32-37)
 955. 世界の国ぐにの人口：世界の国ぐにの人口と経済活動(七) / 大友篤 (p.40-47)

世界の児童と母性 [43](1997.10)

特集：親子関係のいまとこれから

956. 鼎談：父親は価値を伝えることを避け、母親はお母さんになりきれない：親子関係の現代の特徴 / 森岡清美, 福島一雄, 村瀬嘉代子 (p.2-9)
 957. 心の芽生えと親子関係：周産期、乳幼児期の親子関係、世代間伝達 / 渡辺久子 (p.10-13)
 958. 青年期臨床を通して見た親と子 / 青木省三 (p.14-17)
 959. 父親と子ども / 平田一成 (p.18-21)
 960. 里親養育への支援：東京都養育家庭制度における児

童委託の状況から / 櫻井奈津子 (p.22-25)

961. 母子寮から母子生活支援施設への転換：家族支援の実際 / 坂本信子 (p.26-29)
 962. 養護施設における在宅支援 / 千葉智正 (p.30-33)
 963. 子どもの虐待110番から見えること / 関戸克子 (p.34-37)
 964. 離婚と再婚における親子関係 / 神原文子 (p.38-41)
 965. 国際比較で見る親子の暮らし (p.42-43)

世界の親子さまざま

966. 戦火の中の子どもたち / 山崎晃資 (p.44-46)
 967. ストゥリート・チルドレンのすがた / 萩原康生 (p.47-49)
 968. 「児童と権利に関する条約」ウォッチング7：子どもも参画できる社会の実現をめざして：「みやざき子ども議会」の開催と子どもの意見表明権の行使について / 城戸金蔵 (p.50-53)
 969. 子どもの時期と年齢範囲 6：デンマーク / 山本真実 (p.54-57)

世界の労働 [47-6](1997.06)

970. EU七か国の失業・社会扶助給付制度の現状分析(下・完)：デンマーク・フィンランド・フランス・ドイツ・イギリス・オランダ・スウェーデン / 佐藤進, 引馬知子 (p.26-37)

世界の労働 [47-7](1997.07)

971. 日本在外企業協会：セクシュアルハラスメント対策ハンドブック：アメリカの企業社会と職場における問題に備える / 浦田良一 (p.48-55)

世界の労働 [47-9](1997.09)

972. 報告書紹介：完全雇用の実現に向けて政策展開を提言：ILO「世界の雇用一九九六/九七年度版」より / 栗山直樹 (p.21-26)
 973. 海外婦人労働ニュース130：ICFTU(国際自由労連)の女性活動 / 高嶋順子 (p.52-53)

世界の労働 [47-11](1997.11)

974. 職場のセクシュアルハラスメント：最近の裁判例及び仲裁の動向 / 奥山明良 (p.39-49)

世界の労働 [47-12](1997.12)

- 特集：1997年度ILO海外労働事情調査団視察報告：雇用の多様化に直面する労働市場：有料職業紹介・人材派遣の現状と課題
 975. 国際機関編：ILO編：雇用の多様化に直面する労働市場 / イブ・マルパート, 恒川謙司 (p.15-20)

976. 国際機関編：EU[第2班]：雇用の多様化に直面する労働市場/グスタフ・ソルバン, ロナルド・ベンカム, ポール・ウィンディ (p.21-28)
977. 各国編：フランス[第1班]：第1部 雇用の多様化に直面する労働市場/エマニュエル・ジュリアン [ほか] (p.29-44)
978. 各国編：オランダ[第1班]：第1部 雇用の多様化に直面する労働市場/A・M・ハンチェンス, F・V・ハーストレン, カテリーヌ・パッシャー (p.45-57)
979. 各国編：イギリス[第2班]：第1部 雇用の多様化に直面する労働市場/ポール・ティスデル[ほか] (p.58-79)
980. 各国編：ドイツ[第3班]：第1部 雇用の多様化に直面する労働市場/クリスチャン・ヘス, ロナルド・ウォルフ, ウィルヘルム・アダミ (p.80-97)
981. 各国編：イタリア[第3班]：第1部 雇用の多様化に直面する労働市場/A・L・サツソ・マツフェリ[ほか] (p.98-111)
982. 特別報告：[第2班]：国際労働運動の課題/阿部陽三 (p.112-117)

総合ジャーナリズム研究 [34-1](1997.冬)

983. 映像における暴力表現の問題性：映像表現の基準に関する第四回国際会議から/清水英夫, 大條成昭 (p.39-44)
984. リレー・コラム[視界]：女性の歴史の伝え方/漆田和代 (p.50-51)
985. 「女性とメディア」動向レポート：INTERVIEW 笹本恒子：女性初の報道写真家/「女性とメディア」研究会 (p.76-80)

総合ジャーナリズム研究 [34-2](1997.春)

986. リレー・コラム[視界]：ネット・メディアの構築/神川亜矢 (p.56-57)
987. 「女性とメディア」動向レポート：INTERVIEW 津曲篤子：出版社社長として40年/「女性とメディア」研究会 (p.68-70)

総合ジャーナリズム研究 [34-3](1997.夏)

988. 「女性とメディア」動向レポート：INTERVIEW 相原真理子：ミステリー小説の翻訳家として/「女性とメディア」研究会 (p.42-44)

総合ジャーナリズム研究 [34-4](1997.秋)

989. 「女性とメディア」動向レポート：INTERVIEW 佐々木久子さんに聞く：「酒」編集長として/「女性とメディア」研究会 (p.74-77)

総合女性史研究 [14](1997.03)

- 特集：アジア女性史国際シンポジウム
990. 基調報告：アジア女性史の全体像をもとめて/早川紀代 (p.23-26)
991. 分科会報告：第一分科会：工業化と女性：a 女性の工場労働/リンダ・グローブ[ほか] (p.27-30)
992. 分科会報告：第一分科会：b 生活の変容-都市と農村/スーザン・オルジタム[ほか] (p.30-34)
993. 分科会報告：第二分科会：政治と女性：a 第二次世界大戦後の政治変動と女性/譚深[ほか] (p.35-38)
994. 分科会報告：第二分科会：b 民族支配と女性/朴容玉[ほか] (p.38-41)
995. 分科会報告：第三分科会：思想・宗教：a 儒教思想の浸透と女性/杜芳琴[ほか] (p.42-45)
996. 分科会報告：第三分科会：b 女性の生活と信仰/アパルナ・パス[ほか] (p.45-48)
997. 分科会報告：第四分科会：家父長制と女性：a 家父長制の構造(前近代)/秦玲子[ほか] (p.48-52)
998. 分科会報告：第四分科会：b 近・現代の家父長制/粟屋利江[ほか] (p.52-56)
999. 分科会報告：第五分科会：性の歴史と買売春：a 日本における戦争と女性/関口裕子[ほか] (p.56-60)
1000. 分科会報告：第五分科会：b 性をめぐるアジアと日本(近・現代)/山下英愛[ほか] (p.60-63)
1001. 分科会報告：第六分科会：アメリカにおける中国女性史研究家庭領域の内外で：明清期/スーザン・マン[ほか] (p.64-67)
1002. 戦争拡大と農村婦人会の軍事援護活動：静岡県磐田郡富岡村の場合/小和田美智子 (p.73-88)
1003. 中世前期における「縁友」の展開と夫妻観について/海老沢早苗 (p.89-96)

大学と学生 [387](1997.07)

- 特集：21世紀に向けた介護関係人材育成の在り方について
1004. 高齢者の介護に関わるボランティア活動/山崎美貴子 (p.37-40)
1005. これからの介護関係人材の育成・確保：福祉専門職の養成・確保の概要と課題/厚生省社会・援護局施設人材課 (p.52-57)

大学と学生 [388](1997.08)

- 特集：育英奨学制度
1006. 「今後の育英奨学事業の在り方について」育英奨学事業の在り方に関する調査研究：協力者会議報告(平成九年六月)/文部省高等教育局学生課 (p.40-47)
1007. 平成7年度育英奨学事業に関する実態調査結果の概要/文部省高等教育局学生課 (p.48-58)

1008. 「教育改革プログラム」を改訂：八月五日、小杉大臣より橋本内閣総理大臣に報告／文部省大臣官房政策課 (p.59-63)

地域開発ニュース [254](1997.07)

特集：住民がともに進める地域づくり

1009. 座談会：普通のまちづくりを、生活人の眼からとらえ直す／西村幸夫, 小野佐和子, 植田実 (p.6-13)

地域づくり [96](1997.06)

1010. 地域を支える女性パワー...26：沖縄県金武町：鍾乳洞に泡盛貯蔵、真のまおこしは「助成金に頼らず、地元の創意と工夫」から豊川あさみさん 全国の会員五千本のボトルをキープ (p.42-43)

地域づくり [97](1997.07)

1011. 地域を支える女性パワー...27：福井県春江町：「町をアピール」と結成：春江ゆり女性太鼓：夢は「世界への飛躍よッ」(p.42-43)

地域づくり [98](1997.08)

1012. 地域を支える女性パワー...28：福岡県吉井町：「おなごで何ができるじゃろかい」に意地 白壁レディース21事務局長高橋和子さん：住みやすく、また来てくれる町に (p.42-43)

地域づくり [99](1997.09)

1013. 地域を支える女性パワー...29：大分県日出町：ご存じ！元祖「一村一品運動」 女にまかせろ会 の二階堂会長：麦焼酎がスローガンと合致 (p.42-43)

地域づくり [100](1997.10)

1014. 地域を支える女性パワー...30：宮城県仙台市：全国大会が自信に「あかね」グループ代表・藤田佐和子さん：地域を巻き込む活動目指す (p.42-43)

地域づくり [101](1997.11)

特集：道の駅を考える

1015. ラジコン、年中咲く桜、ぼたん：子供連れターゲットに、経営好転へ／吉田一成 (p.16-17)

1016. 第七回地域づくり団体全国研修交流会山口大会：みんなちがって、みんないい！：みんなが輝くまちづくり／高橋知之 (p.30-31)

1017. 埼玉県地域づくりネットワーク：地域づくりは埼玉の個性発揮目指す：仲間づくり／堀越泉 (p.36-37)

1018. 地域を支える女性パワー 31：京都府舞鶴市：「ダメでもともと、やってみよう」：八島おかみさん会：女から 男女 のパワーへ (p.40-41)

中央公論 [112-11](1997.10)

1019. 日本の教育の底にあるもの／河合隼雄 (p.54-67)

中央公論 [112-12](1997.11)

1020. 対談：長生きしてよかったと思える日本に／菅直人, 舩添要一 (p.40-49)

1021. 親に責任はあるか：神戸小学生殺人事件にふれて／柄谷行人 (p.120-125)

1022. 対談：日本史を読む 第七回：遊女と留学女性が支えた開国ニッポン／丸谷オ一, 山崎正和 (p.184-208)

中京女子大学研究紀要 [31](1997.03)

1023. 地域女性史からみた愛国婦人会／伊藤康子 (p.35-44)

1024. 家政学にみるフェミニズム／藤沢和恵 (p.53-61)

1025. 女子陸上競技選手の「やる気」に関する一考察：TSMIからみた本学陸上競技部の実態／大北英紀 (p.63-69)

1026. 若年成人女性の踵骨骨密度と食事および運動による指導効果／西岡茂子, 江藤義春 (p.71-77)

1027. 近代日本女子高等教育の成立とその基本デザイン／谷岡郁子 (p.79-111)

1028. 教育学研究・教育心理学研究にみる能力観、発達および教育観の検討／浅野敬子[ほか] (p.113-121)

1029. 英語・日本語に共通する「女言葉と女の地位」／今西佑子 (p.153-159)

中等教育資料 [46-9](1997.07)

特集：中・高校生の価値意識の変化と生徒指導

1030. 生徒の価値意識の変化とその背景／深谷昌志 (p.14-19)

1031. 非行少年の日常生活における経験と価値意識／内山絢子 (p.20-25)

中等教育資料 [46-10](1997.08)

1032. 各教科等の改善／充実の視点 家庭：社会の変化に対応した高等学校家庭科の学習指導(8)：家庭の教育力の低下(1)／河野公子 (p.74-75)

中等教育資料 [46-17](1997.12)

1033. 各教科等の改善／充実の視点 家庭：社会の変化に対応した高等学校家庭科の学習指導(10)：男女共同参画社会の実現への対応／河野公子 (p.64-65)

賃金と社会保障 [1203/1204](1997.06)

1034. 年表・公的年金制度(1945-1996)／坂本重雄, 永由裕美 (p.85-87)

賃金と社会保障 [1206](1997.07)

特集：均等法改正と女子保護廃止

1035. 均等法改正と女子保護規定撤廃をどう見るか / 川口和子 (p.4-10)
1036. 連合・連合総研による：「地域における高齢者福祉サービス調査」からわかること / 木下秀雄 (p.43-47)
1037. ホームヘルプ職調査 上 / 連合・連合総合生活開発研究所 (p.48-70)

賃金と社会保障 [1207] (1997.08)

1038. ホームヘルプ職調査 下 / 連合・連合総合生活開発研究所 (p.54-73)

賃金と社会保障 [1209] (1997.09)

特集：続・介護保険法審議参議院に望む

ヨーロッパを読む

1039. 新段階に入った欧州の社会民主主義 / 柴山健太郎 (p.4-10)

賃金と社会保障 [1211] (1997.10)

特集：均等法改正審議の総括と展望

フォローアップ時事問題

1040. 米国三菱のセクハラ問題は怎么样了か：民事訴訟で和解成立 慰謝料など九五〇万ドル / 柏木宏 (p.4-9)

1041. 均等法改正国会審議をふりかえる / 中野麻美 (p.10-21)

1042. 資料 第140国会・参議院労働委員会会議録より：男女雇用機会均等法改正審議：参考人五人の主張と質疑を読む / 荒川春 [ほか] (p.22-57)

賃金と社会保障 [1213] (1997.11)

特集：ホームレスの生活保護裁判最高裁へ

1043. 林訴訟の社会的意義・再論(上)：名古屋高裁判決の特徴と問題点 / 笛木俊一 (p.4-8)
1044. ドイツにおける貧困・下：プレーメン社会扶助受給者サンプル時系列調査結果をもとに / ハンナ・ブリュックナー (p.34-40)
1045. 老人医療制度の二五年を読み直す：医療保険抜本改革を前に / 後編・1987-1997年 / 森茂 (p.41-49)

東京学芸大学紀要. 第1部門 教育科学 [48] (1997.03)

1046. 知能の個人差に関する親子間の伝達率の分析 / 糸井尚子 (p.167-171)
1047. 母親の就業に対する子どもの肯定的・否定的態度を規定する要因：子・母・父の三者の分析を通して / 高橋道子, 小泉智恵 (p.203-211)
1048. ストレスとソーシャルサポートが孤独感, 疾病徴候, および大学満足度に及ぼす影響：大学新入生につい

ての縦断研究 / 山口雅敏, 和田実 (p.239-247)

1049. 在学青少年の公民館利用に関する事例研究 / 中澤智恵 (p.363-373)

東京家政学院大学紀要 [37] (1997)

1050. 明治後期の都市の食生活(2)：外食の利用と主婦の役割を中心に / 櫻井美代子 (p.1-8)
1051. 伊藤仁斎の女子教育論に関する考察 / 浅沼アサ子 (p.43-52)
1052. イギリスの遠隔教育について / 鈴木春恵 (p.53-65)
1053. ボランティア活動についての一考察：ボランティア社会実現への課題 / ウィリアムス・薫枝 (p.67-75)
1054. 女子大生の衣服の購買行動 / 富田弘美, 井上和子 (p.241-245)
1055. 若い女性のボディイメージと食行動について / 吉岡毅, 吉沢貴子, 福田晴美 (p.251-270)

東京経済大学人文自然科学論集 [103] (1997.02)

1056. 看護学生の基礎体力について / 多田謙次 (p.65-83)

東京経大会誌 [201] (1997.01)

1057. 「従軍慰安婦」問題と国連 / 荒井信一 (p.103-118)

東京経大会誌 [204] (1997.09)

1058. 社会福祉と租税：スウェーデンの福祉と租税比較研究 / 市川深 (p.13-35)
1059. 職業文化論への序章 / 梅澤正 (p.99-137)

東京女子体育大学紀要 [32] (1997)

1060. 本学競技者に関する研究(3)：主要国際競技大会出場者の社会的特性について / 掛水通子, 阿江美恵子, 雨ヶ崎俊子 (p.1-15)

統計 [48-7] (1997.07)

特集：平成9年就業構造基本調査

1061. 座談会：最近の雇用情勢と就業構造基本調査 / 小野旭 [ほか] (p.1-14)
1062. 最近の女子雇用の動向 / 新村保子 (p.20-26)
1063. 傾城の若年労働者 / 高田一夫 (p.27-32)
- 統計調査の結果から
1064. 平成8年の家計と暮らし / 山邊だいろく (p.57-59)

統計 [48-9] (1997.09)

1065. 南米の統計事情 1：人口統計指標からみたアルゼンティン / 藤田峯三 (p.43-46)
1066. 平成9年2月労働力調査特別調査結果の概要 / 原田直伸 (p.53-57)

統計 [48-10] (1997.10)

1067. ベトナムの人口動向 / 石田保夫 (p.56-59)

統計 [48-12] (1997.12)

特集：高齢社会

1068. 人口からみた高齢社会 / 嵯峨座晴夫 (p.1-6)
 1069. 高齢化社会を見る眼 / 江見康一 (p.7-12)
 1070. 高齢社会と人口政策 / 岡崎陽一 (p.13-18)
 1071. 高齢社会への対応：民間の立場から / 島村史郎 (p.19-24)
 1072. 人口高齢化と高齢社会対策 / 大林千一 (p.25-30,80)
 1073. 地域社会の高齢化とその将来 / 「統計」編集部 (p.31-34)

統計情報 [46-7] (1997.07)

特集：統計の動き

1074. 第53回ESCAP総会に出席して / 石原武典 (p.3-9)

時の動き [41-7] (1997.07)

1075. 男女雇用機会均等法の改正 / 労働省 (p.90-93)

都市問題 [88-7] (1997.07)

1076. 電子ネットワークを利用した政策形成の実験：「生活都市東京を考える会」電子プロジェクト報告 / 橋本岳, 安藤伸彌, 金子郁容 (p.65-93)

都市問題 [88-9] (1997.09)

1077. 高度情報化社会と性の商品化：第22期都青少協中間答申について / 滋澤重和 (p.83-96)

都市問題 [88-10] (1997.10)

特集：ホームレス問題

1078. ホームレス問題と行政の対応 / 岩田正美 (p.3-14)
 1079. ホームレスの生活と行政ニーズ / 麦倉哲 (p.15-26)
 1080. ホームレスと行政の対話 / 宮下忠子 (p.27-38)
 1081. 川崎市のホームレス(野宿生活者)対策について / 南畝久宣 (p.39-45)
 1082. 大阪市における「あいりん」対策について / 堀田久澄 (p.47-56)
 1083. ニューヨーク市のホームレスの現状とその対策 / 岡田進一 (p.57-68)

鳥取女子短期大学研究紀要 [35] (1997)

1084. 高齢者の身体状況と食生活調査(第6報)：養護老人ホームにおける栄養素摂取量 / 山柘敬子, 島雄満子 (p.41-46)

内外教育 [4825] (1997.05.27)

1085. 親としてのトレーニングが必要：「アクティブ・ペアレザンディング」が集会 / 兼倉卓 (p.4-5)

1086. 人・ひろば：全国公立小・中学校女性校長会会長に就任した西田敦子氏 / 伊豆倉哲 (p.11)

内外教育 [4827] (1997.06.03)

1087. 大学の入学者選抜を改善：21世紀を展望した我が国の教育の在り方について：中教審「審議のまとめ(その二)」全文1 (p.6-22)

内外教育 [4828] (1997.06.06)

1088. ルビコンの先にあるものは：中教審「審議のまとめ(その二)」を読む / 下村哲夫 (p.4-6)
 1089. 高校入学者選抜を改善：21世紀を展望した我が国の教育の在り方について：中教審「審議のまとめ(その二)」全文2 (p.8-18)

内外教育 [4829] (1997.06.10)

1090. 地域人材生かす学校群クラブ活動：地域教育会議で住民意思を反映：日本教育経営学会が学社連携シンポジウム / 兼倉卓 (p.2-4)
 1091. 中高一貫で特色ある教育展開：21世紀を展望した我が国の教育の在り方について：中教審「審議のまとめ(その二)」全文3 (p.11-22)

内外教育 [4830] (1997.06.13)

1092. 17歳からの「飛び入学」に道：21世紀を展望した我が国の教育の在り方について：中教審「審議のまとめ(その二)」全文4 (p.14-26)

内外教育 [4833] (1997.06.24)

1093. 『審議のまとめ』、大半が評価：中教審に31団体が意見書提出 / 伊豆倉哲 (p.2-3)
 1094. 即断即決で「フジモリ学校」建設：ペルーの教育改革への取り組み / 斉藤泰雄 (p.4-5)

内外教育 [4834] (1997.06.27)

1095. 申請点数、不合格とも減少：高校教科書の96年度検定結果 / 川上幸子 (p.2-4)
 1096. 「従軍慰安婦」「脳死」などに意見：新版高校教科書の検定事例 (p.5-11)

内外教育 [4836] (1997.07.04)

1097. 幼稚園の知育の在り方明確に：文部省協力者会議が中間報告 / 伊豆倉哲 (p.2-3)
 1098. 学校教育費、初めて8割切る：文部省の95会計年度「地方教育費調査」 / 川上幸子 (p.6-9)

内外教育 [4842] (1997.07.29)

1099. カリキュラムの抜本改革を提言：教員養成審議会が第一次答申 (p.2-10)

1100. 読書や「調べること」好きが増加：日本新聞協会NIE委の効果測定調査結果 / 川上幸子 (p.12-13)

内外教育 [4843] (1997.08.01)

1101. 39県が学校外活動の指導者養成：都道府県教育長協議会の研究報告4 最終回 - 中教審の第一次答申対応 / 徳武靖 (p.6-9)

内外教育 [4844] (1997.08.05)

1102. 家庭教育や徳育の在り方を検討：第16期中教審に「幼児期からの心の教育の在り方」諮問 (p.2-5)

内外教育 [4846] (1997.08.12)

1103. 小・中学校とも過去最高：97年度 学校基本調査速報：1 - 登校拒否児童・生徒 (p.2-3)

1104. 中高一貫の99年度導入を明記：連携型は98年度にも可能に：文部省が教育改革プログラム改定 (p.4-8)

内外教育 [4848] (1997.08.19)

1105. 大学・短大進学率、47.3%に：女子は四年制志向強まる：97年度 学校基本調査速報：2 - 進学率・就職率・就園率 / 伊豆倉哲 (p.6-13)

内外教育 [4849] (1997.08.22)

1106. 小・中・高校とも最高記録を更新：小学校62.0%、中学校40.2%、高校24.3%に：97年度学校基本調査速報：3 - 女子教員率 / 高橋守 (p.14-16)

内外教育 [4850] (1997.08.29)

1107. 体の不調や登校拒否の訴え増加：被災地の96年度「心の健康」調査研究報告書 / 川上幸子 (p.2-5)

1108. 自分への肯定感薄く：「今までの私・今の私」：調査研究報告書「子供が描く将来像」から(上) / 徳武靖 (p.6-7)

内外教育 [4851] (1997.09.02)

1109. ほとんどの子が将来に目標：肯定・否定割れる「茶髪」「ピアス」「夜遊び」：調査研究報告書「子供が描く将来像」から(下) / 徳武靖 (p.6-7)

1110. 21世紀を開く「成人学習」：ユネスコ第5回国際成人教育会議 / 澤野由紀子 (p.10-12)

内外教育 [4853] (1997.09.09)

1111. 小・中学校で行事やゆとりの時間減少：文部省の95年度学校週5日制実施状況調査 / 川上幸子 (p.2-4)

内外教育 [4855] (1997.09.16)

1112. 中学校の4割に「保健室登校」：小・中・高で推計1万人に倍増：文部省が6年ぶりの調査 / 川上幸子 (p.9-

12)

内外教育 [4856] (1997.09.19)

1113. 高齢者の39%が学習活動：日本は6ヶ国中4位の学習率：文部省の国際比較調査 / 川上幸子 (p.4-5)

1114. 子供の「危機」めぐり論議：日本教育学会の第56回大会2：シンポジウム / 徳武靖 (p.10-11)

内外教育 [4858] (1997.09.30)

1115. 家庭負担割合、大学が8割に：文部省の96年度「学生生活調査」 / 川上幸子 (p.14-15)

内外教育 [4864] (1997.10.24)

1116. 女子大生11年前のほぼ倍に：97年度 学校基本調査速報：5 高等教育の学校調査 / 高橋守 (p.6-8)

新潟大学教育学部紀要. 人文・社会科学編 [39-1] (1997.10)

1117. リハビリテーション施行中の高齢者の身体機能回復に影響を与える因子 / 鈴木真由子[ほか] (p.1-9)

1118. 自閉症児の言語訓練における個別教育計画と指導の形態の分析 / 長澤正樹 (p.11-17)

1119. 児童生徒が好む評価観点の分析 / 柴山直, 石原淳一, 斉藤美穂 (p.53-62)

日米女性ジャーナル [21] (1997.02)

1120. 「男の時間」と「女の時間」と「からゆきさん」映画 / プリンドル玉枝 (p.3-31)

1121. 慰安婦問題をめぐる国際世論の動向と私たちの課題 / 大森典子 (p.32-41)

1122. 日米関係と女性論：日本異質論としての日本女性像 / 森玲子 (p.42-53)

1123. アメリカにおける所得格差の拡大と貧困 (p.54-61)

1124. 社会主義フェミニズム理論における構造とエイジェンシー / Amy S. Wharton ; ホーン川嶋瑠子 (p.62-78)

1125. 主体をグローバルに位置づける：山田詠美を読む / Richard Okada ; 大野雅子 (p.79-95)

1126. 不可視の「女」：国語教育「定説」 / 有賀千恵子 (p.96-111)

日本家政学会誌 [48-7] (1997.07)

1127. 子ども期の食事がその後の味覚感受性や性格特性に及ぼす影響 / 岡本洋子, 田口田鶴子 (p.47-57)

日本家政学会誌 [48-8] (1997.08)

1128. 日本学術会議第16期家政学研究連絡委員会報告：現代における家族の問題と家族に関する教育 (p.61-71)

日本家政学会誌 [48-9](1997.09)

1129. 生活時間と環境配慮型消費者行動との関係 / 松葉口玲子, 天野晴子, 伊藤セツ (p.25-31)
ふるんてあ
1130. アダルト・チルドレン: 私の物語をつくり直す / 信田さよ子 (p.73-78)

日本家政学会誌 [48-10](1997.10)

1131. 家事労働観と生活時間から見る夫妻のジェンダー関係: 1995年世田谷区在住雇用労働者夫妻の調査から / 堀内かおる, 天野寛子, 伊藤純 (p.1-14)
1132. 前言語期の「乳児・もの・人」の三者関係の形成課程 / 瑞穂優, 武藤安子 (p.15-24)
1133. 高齢女性における衣服の身体適合に関する意識 / 渡邊敬子, 高部啓子, 大村知子 (p.43-52)
1134. 老人ホーム入所者の家族交流を規定する要因 / 斉藤功子, 西村一朗 (p.65-73)
1135. 高学歴主婦の個人的空間確保の実態と意識 / 町田玲子 (p.75-82)

日本家政学会誌 [48-11](1997.11)

1136. 現代青年の食行動に影響を及ぼす要因: 食行動質問紙の開発による検討 / 伊藤真理子, 花沢成一 (p.9-17)
1137. 第一線で活躍する家政系出身者から 8 : 4分の1世紀余を企業人として過ごしてきた / 武井玲子 (p.79-80)
1138. 生活者の視点 にこだわって / 若村育子 (p.81-82)

日本看護協会調査研究報告 [50](1997.03)

1139. 1995年病院看護基礎調査 / 日本看護協会調査研究課 (p.1-348)

日本看護協会調査研究報告 [51](1997.03)

1140. 1996年病院看護職員の需給状況調査 / 日本看護協会調査研究課 (p.1-89)

日本社会事業大学研究紀要 [43](1997)

1141. 福祉事務所における生活保護法現業員の業務に対する志向性および相談援助に対する態度に関する研究: 第二報・相談援助に対する態度について / 坪内千明 (p.27-42)
1142. 地域を基盤とした福祉教育の展開に関する考察 / 原田正樹 (p.71-81)
1143. 福祉公社におけるサービス・コーディネーターの役割に関する一考察: 世田谷ふれあい公社協力・利用会員調査の分析を通して / 和気康太 (p.83-100)

日本女子大学紀要: 家政学部 [44](1997.03)

1144. 食生活と台所のかかわりに関する研究第2報: 一人暮らしの学生の食・調理空間 / 沖田富美子 (p.63-72)
1145. 思春期における運動能力テスト優秀者の筋エネルギー代謝, 筋横断面積, 等速性筋力に関する研究 / 藤本浩一[ほか] (p.95-100)
1146. 労働者派遣法の改正と今後の課題: 派遣労働者と「仕事の専門性」 / 野城尚代 (p.119-128)
1147. 思春期・青年期における同一化と独自化: 第二の分離 個体化からの分析 / 巖崎秀章 (p.129-133)

日本女子大学紀要 理学部 [5](1997.03)

1148. パソコンシステムを用いたコンピュータリテラシー教育 / 吉井彰, 坂牧貴子 (p.59-69)
1149. 家庭・学校における女性の科学技術教育 / 岡崎智子, 下村恭子, 小館香椎子 (p.71-81)

日本女子大学大学院紀要 家政学研究科・人間生活学研究科 [3](1997)

1150. 幼児の達成志向行動とサポートについて(日米比較) / 森和代 (p.21-26)
1151. 倉橋惣三の保育論形成の背景: 保育論と他の分野の活動との関連 / 安典子 (p.27-38)
1152. 上肢障害者の生活環境に関する研究 3: スウェーデンのサリドマイド胎芽病による上肢障害者の育児行為の状況 / 水村容子, 小川信子 (p.49-61)
1153. 台湾に於ける家族・居留意識及び親族間の居住実態に関する調査研究: 日本との比較を通して / 鄭弘珮, 高橋公子 (p.75-84)
1154. 成人に対する消費者教育: 動機づけの重要性 / 竹中由香 (p.85-102)
1155. 青年の自己開示性に関する縦断的研究 / 福本俊, 鳥居登志子 (p.103-113)
1156. 日本と韓国における住空間構成と生活行為に関する研究 その2: 非日常的生活行為と住空間構成 / 宮崎祐子, 沖田富美子 (p.115-126)
1157. 成人女子の足部サイズ測定値の変動要因: 足部サイズ測定値の日内変動量, ヒール傾斜および姿勢変化に伴う変動量 / 大塚美智子, 樋口ゆき子 (p.137-146)

日本女子大学人間社会研究科紀要 [3](1997)

1158. 「不登校」問題に関するソーシャルワークの展開 / 菊地みほ (p.1-13)
1159. 海外子女のキャリア展望に関する研究: 在米日本人女子高校生を中心に / 中邨和子 (p.43-53)
1160. 大卒者の晩婚化に関する一考察: 自分探しと生き方の納得を中心に / 中村三緒子 (p.55-68)

1161. 明治後期における家庭教育論の展開：啓蒙的家庭教育書の内容分析を通して / 藤枝充子 (p.69-81)
1162. 十五年戦争期の日本女子大学校生：卒業生へのインタビューを通して / 渡辺典子 (p.83-96)
1163. 日本女性の主要な職業の年齢構造分析 / 飯塚留美 (p.97-110)

日本の学童ほいく [263] (1997.07)

特集：子どもの時間

1164. 子どもにとって「時」が意味するもの / 池谷壽夫 (p.6-12)

日本の学童ほいく [264] (1997.08)

1165. 法制化を足がかりにしてさらに学童保育を増やし、改善していこう / 全国学童保育連絡協議会事務局 (p.60-65)

日本婦人問題懇話会会報 [56] (1997.03)

特集：シンポジウム：ウーマンリブから30年

1166. 未来への課題 / 飯岡祐保 (p.18-19)
1167. 女たちは行動を起こした：ぶっとばせ性別役割！ / 吉武輝子 (p.20-24)
1168. 女たちは行動を起こした：私たちの男女雇用平等法を！ / 中島通子 (p.25-30)
1169. 北京フォローアップ：国連世界女性会議とコミュニケーション：私たちの表現とメディアのあり方 / 加藤春恵子 (p.31-33)
1170. 北京フォローアップ：日本のODAとWID：何が問題でどう変えるのか / 松井やより (p.34-37)
1171. 北京フォローアップ：NGOフォーラムと政府間会議：ロビー活動のこれから / 船橋邦子 (p.38-43)
1172. 北京で充電した元気エネルギー / 内田典子 (p.44-45)
1173. 国際婦人年連絡会のメンバーとしてフォーラムに参加して / 半田たつ子 (p.46)
1174. 大田区・女性の海外視察団：Women's Voices in Decision-making / 矢澤乃里子 (p.47-48)
1175. 北京会議参加その後：渋谷区より参加して / 佐久間米子 (p.49-51)
1176. NGOワークショップと中国体験 / 諸橋泰樹 (p.55-57)
1177. 女性議員率を高めるために / 中嶋里美 (p.58-59)
1178. 「NGO北京・沖縄うない」からの報告 / 大城貴代子 (p.60-63)
1179. 二度目の女性会議に参加して / 河上友子 (p.69-73)
1180. 世界のテレビが伝えた「北京女性会議」：活躍する女性リポーター / 伊藤恭子 (p.74-79)
1181. 「家計補助」から「自己実現」へ(中)その二：高度成長期の女子労働意識 / 柴田博美 (p.86-92)

1182. 誕生から死ぬまでの女性の健康管理：生殖器から女の人生を / 阿古安子 (p.94-99)
1183. 北京会議以後：これからの運動はどうなる / 駒野陽子 (p.100-102)

日本労働研究雑誌 [445] (1997.06)

特集：変貌する女性事務職

1184. 変わりつつある女の一生 / 人見康子 (p.1)
1185. 「女子事務職」の形成と融解：短大卒を中心に / 小方直幸, 金子元久 (p.2-12)
1186. 事務職から営業職へ：職務転換の条件 / 浅海典子 (p.13-25)
1187. 女子事務職の現状 / 岡本英雄 (p.26-33)
1188. 中小企業の事務職出身の女性失業者 / 川喜多喬 (p.34-37)

日本労働研究雑誌 [446] (1997.07)

特集：規制緩和と労働政策/労働者保護と規制緩和

1189. 女子保護規定と男女雇用機会均等法 / 三谷直紀 (p.44-54)

日本労働研究雑誌 [447] (1997.08)

特集：労働市場の長期展望

1190. 産業構造の変化と多様化する雇用形態 / 古郡鞆子 (p.29-38)
1191. 近年の労働供給分析の意義と課題 / 宮内環 (p.39-51)
1192. 均等法改正と雇用管理に対する女性労働者の意識 / 池添弘邦 (p.57-58)

日本労働研究雑誌 [448] (1997.09)

特集：労働時間短縮の成果と今後の課題

1193. 40時間労働法制の推進について / 渡辺章 (p.2-13)
1194. 労働時間短縮の意義と効果：マクロ経済的視点から / 中村二郎, 石塚浩美 (p.14-23)
1195. 時短政策と休暇：休暇制度の新展開の中で / 野田進 (p.24-34)
1196. 労働時間の短縮と生活時間 / 矢野眞和 (p.35-43)

日本労働研究雑誌 [449] (1997.10)

1197. 「職種格差」が「能力格差」か？：職種間賃金格差に関する実証分析 / 奥井めぐみ, 大竹文雄 (p.37-49)
1198. 座談会 - 平成9年版労働白書をめぐって：構造転換期の雇用・賃金と高齢化への対応 / 村木太郎 [ほか] (p.50-63)
1199. 女性の就労と家庭の責任 / 室山晴美 (p.80-81)

人間科学研究 [10-1] (1997.03)

1200. アダルト・アタッチメントと回想による幼少期のアタッチメントとの関係 / 青柳肇, 酒井厚 (p.7-16)

人間関係論集 [14] (1997)

1201. 大正期における女子教育の展開 : 大阪府を例として / 土屋尚子 (p.1-32)

発達 [18-71] (1997.Summer)

1202. 箱庭表現の諸相 : 幼児から青年まで / 木村晴子 (p.9-17)

発達 [18-72] (1997.Autumn)

特集 : 今、求められている育児・子育て支援

1203. 子育て支援をめぐるいくつかの視点 / 鯨岡峻 (p.1-10)
1204. ただいま育休中、隣人の手も借りて / 小川素子 (p.11-15)
1205. 集まって、子育てステーション / 伊藤美恵 (p.16-20)
1206. 小さな町のお月様 / 原広治 (p.21-28)
1207. 保育園の充実が子育てのはしら / 前田正子 (p.29-37)
1208. 保育園で子育て井戸端会議を / 中林節子 (p.38-42)
1209. 母子通園施設の親子相談 / 角美智子 (p.43-50)
1210. 発達相談で出会った子どもたち / 萩尾藤江 (p.51-55)
1211. 市・県の育児支援事業に参加して / 肥後功一 (p.56-63)

母と子 [43-11] (1997.11)

特集 : 言いにくい子育て不安

1212. 不登校になって子どもを発見 : 母親の先入観による押しつけからも解放 / 豊田明子 (p.4-15)

子どもの権利条約を考える

1213. 市民社会と学校の役割 : ことばを使ってやりとりする社会の意味 / 山田雅康, 母と子編集部 (p.32-37)

判例時報 [1597] (1997.06.01)

1215. 妊婦が分娩誘発剤アトニン - O を投与されて子宮破裂を起こした場合に、アトニン - O の医学的適応がないのにこれを投与し、増量に際しても診察をせず看護婦の報告のみで行った点で医師に過失があるとして、慰謝料等の支払が認められた事例 (p.135-142)

判例時報 [1598] (1997.06.11)

1214. 子宮内膜症の疑いで診療を受けた妊婦に対し、病院職員が担当医師の処方と異なった抗がん剤を交

付したため、出生した男児に障害が生じたものであると認定され、損害賠償が認められた事例 (p.90-96)

比治山女子短期大学紀要 [32] (1997)

1216. 広島県蒲刈島における高齢者の福祉観に関する研究 1部 : 家族間の同別居問題をめぐって / 山田知子 (p.23-37)
1217. 広島県蒲刈島における高齢者の福祉観に関する研究 2部 : 高齢者の「老後福祉観」 / 山田知子 (p.39-54)
1218. 家族における調理 / 中尾郁子 (p.79-87)
1219. 女子短大生の着装の実態に関する研究(第2報) : 夏期の場合 / 末井美恵子 (p.89-98)

ひと [25-11] (1997.11)

特集 : なぜ小学高学年が荒れるのか

1220. いい子たちのいきなり型の非行 : カツアゲ、おやじ狩り、援助交際... / 佐々木光郎 (p.46-53)

ヒューマンサイエンスリサーチ [6] (1997)

1221. 上海市人口高齢化の現状とその対応 : 高齢者福祉施設調査を通して / 何珍時 (p.69-83)
1222. 一文化における遊びについての考察 : カナダにおける少数民族フットライトの事例 / 田里千代 (p.101-119)
1223. 小学生用学校不適応感尺度開発の試み / 戸ヶ崎泰子[ほか] (p.207-219)

ファミ・ポリティク [16] (1997.夏)

1224. 女性議員のページ : 池田智恵子さん / 鈴木由美子, 池田智恵子 (p.11)
1225. 女性議員大いに語る 下 : 入ってみて初めてわかる内部のカラクリ / 小野紀美子[ほか] (p.12-15)
1226. 財団法人市川房枝記念会 / 山口遼子 (p.16)

フォーラム [15] (1997.03)

特集 : 女性学の活用

1227. 女性の生きにくさと癒し : フェミニストセラピーの現場から / 平川和子 (p.1-11)
1228. 近代女性史と宗教 / 奥田暁子 (p.12-19)
1229. 女性とエイズ / 堀口悦子 (p.20-27)
1230. ポイエティーク / ポリティーク : 書くことと読むこととの政治学 / 西川直子 (p.28-38)

1231. 現代を生きる倫理・完結編 / 川本隆史 (p.39-66)

1232. 会話における性差 : エスノメソドロロジーの視点から / 品川恵美 (p.67-77)

1233. 「産む」をめぐる : 森崎和江を手がかりに / 中村裕

子 (p.94-99)

福島大学教育実践研究紀要 [32] (1997.06)

1234. 児童期から青年期にかけての友人概念の変化 / 飛田操, 平林秀美, 田村道代 (p.25-29)
1235. 幼児をもつ父親の家事・育児参加と母親の就労 / 平林秀美 (p.95-100)
1236. 地域 子ども組織における民主的主権者の形成: 「アパッチの旗」の旗手たち(上) / 熊沢勇紀, 西内裕一 (p.109-116)
1237. 地域 子ども組織における民主的主権者の形成: 「アパッチの旗」の旗手たち(下) / 熊沢勇紀, 西内裕一 (p.117-124)

福山市立女子短期大学紀要 [23] (1997)

1238. 中学生および女子学生の手の働きと食事規範意識, 家事手伝いと関連 / 加納三千子 (p.15-21)
1239. 子どもの手の動きに関する研究(その2): 教師の認識の実態(学校別・性別分析) / 山本百合子, 加納三千子, 金田すみれ (p.23-32)
1240. 女子消費者の生活に関する実態調査(第5報): 家庭用ミシンに関する意識と使用の実態 / 筒井由紀子 (p.59-63)
1241. 秘書学科のカリキュラム構造と内容について / 藤井輝明 (p.65-73)
1242. 生涯大学システムにおける単位制短大・大学のあり方(その1): 広島県における県民の学習状況の分析 / 村山ひろみ, 津川淳 (p.75-84)

婦人公論 [82-9] (1997.09)

創刊1000号特別企画: 「婦人公論」と私

1243. 私の遅い出発 / 田中澄江 (p.226-227)
1244. 私の転機を作ってくれた原稿 / 吉沢久子 (p.228-229)
1245. 作家人生に重き二つの文学賞 / 瀬戸内寂聴 (p.230-231)
1246. 大先生方と駆け出しの私 / 森英恵 (p.232-233)
1247. あらためて、感無量 / 宮尾登美子 (p.234-235)
1248. 懐しい思い出の数々 / 津村節子 (p.236-237)
1249. いまなお生きるもの / 澤地久枝 (p.238-239)
1250. 読者のエールに支えられて / 吉武輝子 (p.240-241)
1251. 生きがいに満ちた日々 / 三枝佐枝子 (p.242-243)

創刊1000号特別企画: 再録 女の世紀を開いた名論文

1252. 「婦人も参政権を要求す」 / 与謝野晶子, 下村満子 (p.245-251)
1253. 「主婦という第二職業論」 / 石垣綾子, 本間千枝子 (p.252-261)

1254. 「妻無用論」 / 梅棹忠夫, 猪口邦子 (p.262-271)

婦人公論 [82-11] (1997.11)

- 特集: 結婚の風景を見直す
1255. Hanako 世代の妻が夫を捨て始めた / 円より子 (p.126-131)
1256. 夫の定年は結婚生活決算期 / 和田好子 (p.132-137)
1257. ケーススタディ: リストラ女性よ、ひとりで悩まないで / 塚田和子 (p.178-183)

婦人新報 [1156] (1997.01)

1258. HELP10周年記念国際シンポジウム報告: 変わるかけこみ: 出稼ぎも定住化も / 東海林路得子 (p.22-24)
1259. 第1回「子どもの商業的性搾取に反対する世界会議」: ストップ! 子ども買春ポルノグラフィー性目的の人身売買 / 宮本潤子 (p.26-29)

婦人新報 [1158] (1997.03)

1260. 売買春と解放 / リタ・ナカシマ・ブロック, カーター愛子 (p.2-5)
1261. 買売春と人権: 「婦人相談」の現場から / 高瀬和子 (p.6-8)
1262. セックス・ワーク論、権利派に反対する / 高橋喜久江 (p.9-11)
1263. 「純潔教育」は女性の人権を支えたか / 東海林路得子 (p.12-13)
1264. メディアの中の性と人権: 「タイ買春読本」裁判をめぐる / 伏井真紀 (p.22-23)

婦人新報 [1160] (1997.05)

1265. 「韓国の女性運動と性暴力」 / 韓明淑, 木村優子 (p.22-24)

婦人新報 [1161] (1997.05)

1266. アジアの人身売買と日本 / 松井やより (p.2-6)
1267. 「HELP」から「慰安婦」の問題を考える / 福島瑞穂 (p.7-10)
1268. 日本に売られる台湾人女性 / リン・メイ・ジュン (p.11-14)

婦人新報 [1163] (1997.08)

1269. 明治期出版法規に拠る矯風会機関誌の変遷[1] / 高橋喜久江 (p.24-26)

婦人新報 [1164] (1997.09)

- 特集: “援助交際” という子ども買春
1270. 援助交際と男性の性 / 村瀬幸浩 (p.4-7)

婦人通信 [456](1997.02)

1271. 大学非常勤講師と女性 / 村山知恵 (p.18-19)
 1272. 法的権限を強め性差別の撤廃を / ポール・イガサキ (p.24-25)
 1273. 新聞社でのセクハラ / 磯崎由美 (p.26-27)
 1274. 「従軍慰安婦の強制連行はなかった」: 櫻井よしこ発言に抗議 / 土志田栄子 (p.40)
 1275. 「新しい歴史教科書をつくる会」創設にあたっての声明 (p.41-45)

婦人通信 [457](1997.03)

1276. 女子保護規定の撤廃を許さず実行ある均等法の改正を: 婦少審の均等法改定の建議について / 今野久子 (p.17-23)
 1277. セクシュアルハラスメントと女性研究者の人権 / 武田万里子 (p.24-27)

婦人通信 [459](1997.04)

1278. ジェンダーの視点による司法改革 / 安藤ヨイ子 (p.30-33)

婦人通信 [460](1997.05)

1279. 『女工哀史』の再発見 / 米田佐代子 (p.14-15)

婦人通信 [461](1997.06)

- 特集: 男女平等
 1280. 性別役割分担 のりこえようと半生涯 / 和田典子 (p.17-19)
 1281. 女性弁護士の就職事情 / 原田直子 (p.20-21)
 1282. 男女差別定年 / 山根福枝 (p.21-23)
 1283. オジンの大群のあと...日本は枯れる / 若桑みどり (p.23-24)
 1284. 兵庫・尼崎東高校セクハラ裁判 (p.24-25)

婦人通信 [462](1997.07)

1285. 「女子保護」規定撤廃反対と国際連帯 / 塩沢美代子 (p.26-29)

婦人通信 [463](1997.08)

1286. 高等学校家庭科をめぐる二つのこと / 伊藤セツ (p.17)
 1287. 女性の地位向上のためのナショナルマシーナリー / 日本婦人団体連合会 (p.32)

婦人と年少者 [119](1997.03)

1288. 対談: これからの時代を創る女性たち / 永井路子, 太田芳枝 (p.3-12)
 1289. 「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等のための労働省関係法律の整備に関する法

律案」について / 労働省婦人局婦人政策課 (p.14-15)

1290. 経済が女性労働者を必要とする理由 (その3) / 大沢真知子 (p.22-25)
 1291. スウェーデンの新・両親休暇法: 妊産夫休暇を提言するパパ / 古橋エツ子 (p.26-28)
 1292. 育児・介護雇用安定助成金の創設について / 労働省婦人局婦人福祉課 (p.30-31)
 1293. 注目を集めるファミリー・サポート・センター / 川島玲子 (p.32-33)
 1294. 子育て支援: 両親の学習の場として / 十文字馨範 (p.43)

婦人と年少者 [120](1997.06)

1295. 平成九年度働く女性のための施策について / 労働省婦人局 (p.3-9)
 1296. 六月は男女雇用機会均等月間です: もう一度職場で女性の雇用管理の点検を! / 労働省婦人局婦人政策課 (p.10-11)
 1297. 女性労働者の能力発揮促進のための企業の自主的取組に関するガイドライン / 労働省婦人局婦人政策課 (p.12-16)
 1298. 第49回「婦人週間」全国会議報告: 21世紀に向けて自分らしい生き方ができる社会を創ろう / 労働省婦人局婦人政策課 (p.17-20)
 1299. 日本的雇用慣行と女性労働者 / 大沢真知子 (p.21-23)
 1300. [働く女性の身体と心を考える委員会報告概要]: 企業における母性健康管理 / 労働省婦人局婦人労働課 (p.24-29)

婦人と年少者 [121](1997.09)

1301. 産業界としての母性健康管理 / 森晃爾 (p.39-40)
 1302. 母性健康管理の重要性とこれからの取組: 「母性健康管理に関するヒヤリング調査」、「産業看護職の母性保護への関与に関する調査」を踏まえて / 長井聡里 (p.35-38)
 1303. 3年目を迎えた岡山ファミリー・サポート・センター / 山本泉 (p.30-31)
 1304. 男女雇用機会均等法等の改正について / 労働省婦人局婦人政策課 (p.3-22)
 1305. 男女雇用機会均等推進中央会議開催報告 / 労働省婦人局婦人政策課 (p.23)
 1306. 男性の育児休業取得者が増加、大規模事業所の約七割は介護休業制度導入: 「平成八年度女子雇用管理基本調査」結果概要 / 労働省婦人局婦人福祉課 (p.24-27)
 1307. ファミリー・サポート・センター設置に向けて: 群馬県における設置促進事業の取組 / 群馬県商工

労働部労政課 (p.28-29)

婦人之友 [91-3] (1997.03)

1308. 世界をみる目・日本をみる目：女性の職場をとりまく現実：問われ始めた賃金の性差別 / 竹信三恵子 (p.34-38)

1309. 女のライフワークと家庭：クロスカルチャーへの旅立ち / タゴール・暎子 (p.70-75)

文藝春秋 [75-4] (1997.03)

1310. 「元慰安婦に償い金を手渡す」の記 / 高崎宗司 (p.382-388)

文藝春秋 [75-12] (1997.10)

特集：子どもが変だ！

1311. 「父性の復権」などできない / 河合隼雄 (p.262-269)

別冊ジュリスト [143] (1997.05)

個人的法益に対する罪:1 生命・身体に対する罪

1312. 胎児と人の限界 / 大嶋一泰 (p.8-9)

1313. 胎児傷害 / 内田文昭 (p.10-11)

個人的法益に対する罪:2 人格的法益に対する罪

1314. 強制わいせつ罪における主観的要素 / 橋爪隆 (p.30-31)

個人的法益に対する罪：3 風俗に対する罪

1315. わいせつの意義 / 萩原滋 (p.184-185)

1316. わいせつ罪における公然性 / 岩井宜子 (p.186-187)

へるめす [67] (1997.07)

1317. モノとこころの精神病理 3：物理的距離と心理的距離 / 石川元 (p.203-214)

保育通信 [506] (1997.10)

1318. 平成十年度予算厚生省概算要求：保育制度改革との関連で注目される延長保育・保育料に対する厚生省の方針 (p.2-10)

保育通信 [508] (1997.11)

1319. [ルポ]：東北の過疎地域の保育は、いま / 全私保連広報部 (p.2-7)

1320. 「子育てと就労の両立」と改正児童福祉法 2：東京商工会議所「「少子化対策」に関する提言」を踏まえて / 東京商工会議所企画調査部 (p.16-19)

第2次子どもと家庭にやさしい環境づくり運動：

NEWS 1997.11.1.NO.6

1321. 各地からの報告 5：「全国一斉保育の日」から学んだこと / 島根県私立保育園連盟 (p.20-23)

第7回保育国際セミナー報告

1322. 地域家族、地球の子どもたちを育てるために[3] / 渡辺徹朗 (p.24-25)

育児カウンセラー誌上講座

1323. カウンセリングでの気づき / 育児カウンセラー企画委員会 (p.30-31)

保育の研究 [15] (1997.06)

特集：戦後50年をふりかえる

1324. 児童福祉法成立過程における保育所規定の検討：50年前の児童福祉法は保育所を救済施設として位置付けたか / 寺脇隆夫 (p.16-46)

1325. ロシアの保育施設の体験的報告（キーロフとペテルブルク、1996年）：なぜ日本の保育関係者はソ連の保育の現実を誤解したか / 村知稔三 (p.47-63)

1326. 父親の育児参加と男性および子どもの発達：二つのコペンハーゲン会議の論議を中心に / 木下比呂美 (p.64-74)

保育の友 [45-2] (1997.02)

1327. 中央児童福祉審議会基本問題部会中間報告書（全文） / 中央児童福祉審議会基本問題部会 (p.28-43)

保育の友 [45-4] (1997.04)

1328. 少子社会にふさわしい保育システムについて（中間報告） / 福井和夫 (p.26-41)

保育の友 [45-9] (1997.08)

1329. 座談会：子どもの生活リズム再考 / 巷野悟郎[ほか] (p.10-29)

保育の友 [45-12] (1997.10)

特集：保育所の近未来像をさぐる

1330. 児童福祉法改正特別インタビュー：保育所の近未来像をさぐる：厚生省・横田吉男児童家庭局長に聞く / 横田吉男, 菊池繁信 (p.10-24)

1331. 保育所制度に関する児童福祉法改正の概要 / 佐々木裕介 (p.25-28)

保育の友 [45-13] (1997.11)

1332. パネルフォーラム：児童福祉法改正と私たちの保育実践 / 村田保太郎[ほか] (p.10-25)

放送教育 [52-2] (1997.05)

特集：変わるメディアと教育

1333. 座談会：変わるメディアと教育のありかた / 水越

- 敏行, 佐伯胖, 高島秀之 (p.14-22)
1334. 教育におけるメディアをめぐる風景と言語 / 佐賀啓男 (p.34-37)
-
- 放送教育 [52-4] (1997.07)
1335. 教育番組と市場性<2> : MIP-TV「教育番組デー」に参加して / 大西誠 (p.58-61)
-
- 放送教育 [52-9] (1997.12)
1336. 21世紀に向けての教育課題 / 無藤隆 (p.11-13)
1337. メディアと教育 : インターネットで出会いの場を : 障害児教育とマルチメディア / 竹中ナミ[ほか] (p.38-42)
1338. 海外教育放送事情 : 放送番組の効果的な使い方 : アメリカNTTIのマニュアルから / 大西誠 (p.58-61)
-
- 放送教育開発センター研究紀要 [14] (1997)
1339. 衣生活からみた家庭科教育と家政学との連携 / 影山昇, 井上真理 (p.93-108)
-
- 放送研究と調査 [47-2] (1997.02)
1340. 生活時間の曜日別比較分析 / 牧田徹雄 (p.50-55)
-
- 放送研究と調査 [47-5] (1997.05)
1341. アメリカにおける番組ランクづけシステムと "V-Chip" の導入 : 性・暴力番組からの青少年の保護 (1) / 向後英紀 (p.2-11)
-
- 放送研究と調査 [47-6] (1997.06)
1342. 生活時間調査にみる自宅外行動 / 牧田徹雄 (p.50-57)
1343. ヨーロッパ国際機関の青少年保護法制 : EU (欧州連合) 欧州評議会, EBUの原則の背景をさぐる / 村瀬真文 (p.68-77)
-
- 放送研究と調査 [47-7] (1997.07)
1344. アジア地域における衛星放送と青少年の保護 : 性・暴力番組からの青少年の保護 (3) / 森口宏, 伊藤恭子 (p.38-45)
1345. 男女や年層によって大きく異なるソフトニーズ : 「テレビ・ビデオの好みに関する調査」から / 飯塚寿子 (p.56-61)
-
- 放送研究と調査 [47-9] (1997.09)
1346. 『テレビ世代』の現在 I : 人びとの情報行動 : 「テレビと情報行動」調査から / 白石信子 (p.2-19)
-
- 放送研究と調査 [47-10] (1997.10)
1347. 家庭・仕事・結婚についての意識と行動の国際比較 () : ISSP国際比較調査から / 真鍋一史, 小野寺典子 (p.22-41)
1348. 「テレビ世代」の現在 人びとのテレビ視聴行動 : 「テレビと情報行動」調査から / 白石信子 (p.42-51)
-
- 放送大学研究年報 [14] (1997.03)
1349. ライフコースにおける移行メカニズムの持続時間依存性 / 嶋崎尚子 (p.19-32)
1350. チャイルドポルノ規制と猥褻物頒布罪の故意 / 橋本裕蔵 (p.33-48)
1351. バングラデシュにおける開発と住民参加 : 参加型開発論への一視角 / 内田晴夫, 河合明宣 (p.49-73)
-
- 法律のひろば [50-5] (1997.05)
- 特集 : 憲法施行50年「憲法を語ろう」
1352. 家族のかたちと憲法 / 吉岡睦子 (p.11-15)
1353. 「脳死」と「妊娠」をめぐる : シュトゥットガルトのケース / 斉藤誠二 (p.78-80)
-
- 法律のひろば [50-8] (1997.08)
- 特集 : 雇用・労働の規制緩和をめぐる動向
1354. 女性保護規定撤廃をめぐる課題 / 山田省三 (p.12-18)
1355. 労働者派遣事業のあり方をめぐる課題 / 水谷英夫 (p.33-41)
-
- 法律のひろば [50-10] (1997.10)
1356. 著作権法の一部を改正する法律 / 濱口太久未 (p.42-47)
-
- 法律のひろば [50-11] (1997.11)
- 特集 : 第140国会主要成立法解説 (2)
1357. 児童福祉法等の一部を改正する法律 / 厚生省児童家庭局企画課 (p.29-35)
-
- 母子研究 [18] (1997.03)
1358. 保育園での幼児のトラブルに関する研究 : 母親の養育態度や子どもの社会性の発達との関連性 / 金子智栄子[ほか] (p.1-8)
1359. 児童の達成動機とソーシャルサポート (自己知覚, 親評定) / 森和代 (p.9-14)
1360. 青年から大人への移行 : アメリカにおける青年の分離 - 個体化研究の展望 / 鈴木乙史 (p.15-22)
1361. 青年期から成人期にわたる父母との心理的關係 / 渡辺恵子 (p.23-31)
1362. 育児中の母親の自己肯定感と育児負担感について / 小林美登 (p.32-41)

1363. 仕事と家庭の多重役割が心理的側面に及ぼす影響：展望 / 小泉智恵 (p.42-59)
1364. 子どもとの関わりと父親の発達：都市部と郡部の地域差の検討 / 福丸由佳 (p.60-68)
1365. 幼少期の被虐待経験がその後に及ぼす影響 / 繁多進 (p.69-79)

母子保健情報 [35] (1997.07)

特集：低用量ピル（経口避妊薬）

1366. 低用量ピル服用と性感染症の予防 / 小島弘敬 (p.37-45)
1367. 思春期とピル / 北村邦夫 (p.46-51)

母子保健の動向

1368. 「優生保護法」から「母体保護法」へ / 前田光哉 (p.56-59)
1369. 働く女性の出産と子育て：平成8年度人口動態社会経済面調査（働く女性の出産）の概況より / 達見憲一 (p.85-90)
1370. 「経口避妊薬・ピル」に関する国内文献（1980年～1996年）(p.94-97)

北海道大学教育学部紀要 [73] (1997)

1371. 「地域づくり教育」への国際的連関 / 鈴木敏正 (p.155-180)

三重大学教育学部研究紀要. 教育科学 [48] (1997)

1372. 現代の性情報環境および発育発達に応じた性教育実施に向けて：小学生の性情報環境に関する調査 / 富樫健二, 川島美奈 (p.59-71)
1373. 現代の日本人の「生きる課題」と学校カリキュラム（試案第1版の1） / 佐藤年明 (p.131-152)
1374. 大学生の職業的アイデンティティの探求と親子間相互交渉 / 平石賢二 (p.177-187)

三重大学教育学部研究紀要. 自然科学 [48] (1997)

1375. 高校生の日常生活に関する研究 その2：低下項目に関する原因あるいは理由の分析 / 三ツ矢隆重[ほか] (p.47-74)
1376. 反応動作直前に出現する抑制現象の発達 / 脇田裕久[ほか] (p.75-85)

三重大学教育学部研究紀要. 人文・社会科学 [48] (1997)

1377. 家事の意味について / 乗本秀樹 (p.151-167)

宮城学院女子大学研究論文集 [85] (1997)

1378. スウェーデンの健康教育（2）：学習指導要領に示されている教科の理念と目標から / 戸野塚厚子 (p.31-56)

宮城学院女子大学・同短期大学附属幼児教育研究所研究年報 [6] (1997)

1379. DEACONESS と KINDERGARTNER にみる19世紀の女性モデル：女性の専門職と母親役割の関係を中心に / 磯部裕子 (p.1-10)
1380. 幼児の食行動と母親の育児態度との関連 / 平田亜古, 佐々木和, 今野幸 (p.11-22)
1381. 幼稚園が担う地域子育て支援のための方策の検討：未就園児のための親子教室「さくらんぼ広場」の実践から / 畑山みさ子, 鈴木登, 大場勝子 (p.49-58)

武蔵野女子大学紀要 [32-2] (1997)

1382. 東アジアにおける高齢化と世帯の変化：日本・中国・韓国を比較する視点から / 工藤由貴子 (p.83-91)
1383. 「現代家庭における子どものおやつに関する調査研究」 / 藤木真由美[ほか] (p.139-154)

明治大学短期大学紀要 [60] (1997.01)

1384. マレーシアの経済発展と農家家計の労働供給活動 / 小保内弘子 (p.189-214)

文部時報 [1443] (1997.02)

1385. 男女共同参画社会の形成に向けて：男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実：「男女共同参画2000年プラン」から / 文部省生涯学習局婦人教育課 (p.60-61)

文部時報 [1445] (1997.04)

1386. 家庭教育のための取組：家庭教育の充実に向けた支援施策 / 文部省生涯学習局婦人教育課 (p.74-75)

文部時報 [1446] (1997.05)

特集：家庭教育のための取組

1387. 家庭教育への理解を深めるために：文部省の行う施策 / 文部省生涯学習局婦人教育課 (p.68-69)

文部時報 [1447] (1997.06)

特集：二十一世紀に向けた介護関係人材育成の在り方

1388. これからの高齢社会を支える介護関係人材の育成 C・A・R・Eプラン'97の持つ意義について / 鈴木章夫 (p.48-49)
1389. 二十一世紀に向けた介護関係人材育成の在り方について / 文部省高等教育局医学教育課 (p.50-51)

家庭教育のための取組

1390. 家庭教育への理解を深めるために 家庭教育子育て支援推進事業について / 文部省生涯学習局婦人教育課 (p.70-71)

文部時報 [1448] (1997.07)

特集：家庭教育のための取組

1391. 家庭教育への理解を深めるために：千葉県における家庭教育事業の取組 / 文部省生涯学習局婦人教育課 (p.66-67)

文部時報 [1452] (1997.10)

1392. 家庭教育への理解を深めるために：秋田県における「家庭教育学級」の取組 / 文部省生涯学習局婦人教育課 (p.68-69)

幼児開発 [327] (1997.06)

1393. ちゃいるどうおっちゃんぐ¹³⁶：見る診る観る：パパと遊ぼう / 林道義 (p.82-89)

幼児開発 [329] (1997.08)

1394. 第一章 “三立” 時代のお父さん / 仁平義明 (p.38-43)
1395. ちゃいるどうおっちゃんぐ¹³⁶：見る診る観る：がんばるお父さん：「子育てしたい男性カレッジ」 / 新谷裕俊 (p.82-89)

リーダーの友 [194] (1997.07)

1396. 希望のみらいへ：GIRLS, BE AMBITIOUS! / 坂東真理子 (p.14-15)

立法と調査 [199] (1997.05)

特集：第140回国会 注目の法案・条約の紹介

1397. 男女雇用機会均等法の改正と課題 / 小林美津江 (p.50-55)

立法と調査 [200] (1997.07)

特集：記念論文 我が国主要政策の変遷と国会論議

1398. 人生80年時代の社会保障 / 村岡輝三, 佐藤研資 (p.56-63)

立法と調査 [201] (1997.09)

特集：第140回国会の論議の焦点

1399. 労働施策の新たな展開 / 小林美津江, 藤崎昇, 石橋順三 (p.44-47)

りぶる [16-7] (1997.07)

特集：女性たちの健康と安全を確保するために

1400. 知っておきたい女性のための法律・制度 (p.6-13)

りぶる [16-11] (1997.10)

1401. 一生涯を学び、鍛え、悠然と生きる 人生八〇年時代の「生きがい」づくり / 河原塚達樹 (p.6-11)

1402. 私の歩んだ道：高野悦子：「映画が恋人」をつらぬいてきた永遠の青春 / 高野悦子 (p.14-19)

琉球大学教育学部紀要. 第一部・第二部 [50] (1997.03)

1403. 「生涯学習体系への移行」に向けての制度論的アプローチ 3：求められる「統合」integrationの諸様相 / 井上講四 (p.145-163)

1404. 家庭科教育で育てたいジェンダーフリー：夫婦別姓選択制をめぐる / 富士栄登美子 (p.215-222)

1405. 沖縄県の児童・生徒の進路成熟の発達に関する研究：将来の希望職種と性差の影響 / 廣瀬等, 島袋恒男, 井上厚 (p.267-275)

1406. 大学生における教科学習と学習観：得意・不得意科目と原因帰属、性差との関連 / 嘉数朝子 [ほか] (p.277-285)

1407. 中学入学前後におけるストレスの性差 / 金城育子, 前原武子 (p.287-295)

1408. 中年期有職女性と無職女性のストレスとソーシャルサポート / 前原武子, 大城麻理 (p.297-306)

歴史評論 [564] (1997.04)

特集：歴史学の今後の課題をめぐる

1409. 家族と共同体：「家族の起源」からイエ成立論へ / 明石一紀 (p.35-49)

1410. フェミニズムと歴史学 / 安川悦子 (p.172-186)

歴史評論 [565] (1997.05)

特集：老いの歴史と女性

1411. 古代老者の「棄」と「養」 / 田中禎昭 (p.2-16)

1412. 日本人の老人観：姥棄て、八百比丘尼伝説 / 宮田登 (p.17-26)

1413. 近世農民家族における老人の地位：隠居慣行と女性 / 桜井由幾 (p.27-38)

1414. 近代日本における老人の扶養と介護 / 折井美耶子 (p.39-51)

1415. 戦後日本の女と老い / 袖井孝子 (p.52-63)

歴史評論 [568] (1997.08)

特集：「20世紀の社会主義」を考える

1416. 戦時期「婦人文芸」にみる抵抗の一形態 / 加賀山亜希 (p.72-88)

歴史評論 [570] (1997.10)

1417. 古代マケドニア王家の一夫多妻制と王位継承 / 森谷公俊 (p.79-91)

歴博 [80] (1997.01)

特集：現代社会と歴史学：ジェンダー 社会的性差への視点

1418. 女性史の現在：日本前近代を中心に / 脇田晴子 (p.6-10)

1419. 民俗学とジェンダー研究 / 中村ひろ子 (p.11-15)

1420. 転換期の女性史研究 / 成田龍一 (p.16-19)

れんごう政策資料 [102] (1997.02)

1421. 女性の労働組合活動への参画：構成組織・地方連合会活動調査報告 (1995年調査) (p.1-226)

労政時報 [3293] (1997.02.28)

1422. 家政婦に対する社長の性的言動はセクハラ, 慰謝料120万円支払え：大西建設事件・名古屋高裁金沢支部判決 (平成8.10.30) (p.42-43)

1423. 上司のセクハラに抗議した女性従業員の解雇は無効：中央タクシー他2社事件・徳島地裁決定 (平成8.10.15) (p.44-45)

労政時報 [3299] (1997.04.11)

1424. 高度化するパートタイマーの活用と管理：3社の最新事例にみる運営の詳細 / 鍋田周一 (p.2-19)

1425. 積極活用進むパートタイマーの労働実態：長勤続化の一方, 非課税枠による就労調整も / 労働省 (p.20-35)

労政時報 [3301] (1997.04.25)

1426. 96年中途採用者の職種別初任賃金 / 東京都労働経済局職業安定部 (p.49-55)

1427. 中途採用正社員の処遇実態：標準入社者との賃金格差調整は「行わない」が4割占める / 社会経済生産性本部 (p.56-59)

労政時報 [3302] (1997.05.02)

1428. 96年度モデル退職金・年金の水準：大学卒男子は定年で2500万円台, 3社に2社が基礎給抑制 / 労務行政研究所編集部 (p.2-22)

1429. 全国のモデル退職金：大学卒・男子 (管理・事務・技術) の退職金額は、会社都合で2442万円 / 日本経営者団体連盟労政部 (p.34-46)

労政時報 [3305] (1997.05.30)

1430. 人事制度の実施・検討状況：職務分析センターが会員企業の人事諸制度の実施・検討状況を調査 / 日経連職務分析センター (p.47-49)

1431. 96年パートタイマーの賃金と昇格・賞与等：都内のパートタイマーの平均賃金 (求人) は933円 / 東京都労働経済局職業安定部職業安定課 (p.68-70)

労政時報 [3308] (1997.06.20)

1432. 労働省が女性の能力活用へのガイドラインを作成：ワークシートで自社分析し, 企業が取り組むべき方策を示す / 労働省婦人局婦人政策課 (p.24-39)

女性雇用管理関連資料

1433. 女性労働に関する行政監察結果：均等法の定着状況, 女子労働基準の適用状況を調査 / 総務庁行政監察局 (p.40-50)

1434. 企業の女性活用状況と今後の課題：女性の社会進出に関する調査と提言 / 経済団体連合会 (p.51-56)

労政時報 [3309] (1997.06.27)

1435. 96年賃金構造基本統計調査速報：男子の年齢間賃金格差は, 大学・高校卒とも40歳台で縮小 / 労働省 (p.23-44)

労政時報 [3312] (1997.07.18)

1436. 改正された男女雇用機会均等法・労基法：採用から退職まで女性差別禁止を明示, 女子保護規定は撤廃：140国会改正の労働関係法律 (下) (p.2-17)

労政時報 [3317] (1997.09.05)

中途採用者の初任賃金と人事制度の方向

1437. 96年度中途採用者の初任賃金：大学卒・男子の平均水準は26万9000円 (p.29-39)

労政時報 [3318] (1997.09.12)

特集：男女雇用均等時代：人事管理の方向性を探る

1438. 男女雇用機会均等法等の改正内容 / 労働省婦人局婦人政策課 (p.3-5)

1439. Q & A：実務に生かす事前対策 / 中野麻美 (p.6-16)

1440. 緊急アンケート：改正均等法等に対する企業の対応：大手ほど時間外、休日労働、深夜業の見直しに積極的 / 労務行政研究所編集部 (p.17-25)

1441. 女性がゲームに参加する日 / 秋葉ふきこ (p.27)

1442. 事業として成立する仕事を目指して / 安西美津子 (p.28)

1443. 「一人前の女」への歩を進めるとき / 奥谷禮子 (p.29)

1444. ジェンダー・フリーな企業社会形成に一步前進 / 奥山明良 (p.30)

1445. 赤いネッカーチーフ：(男女雇用機会均等法の改正によせて) / 北村節子 (p.31)

1446. 自分並み 働き方デザインの一步? / 根本孝 (p.32)
 1447. 「女性のみの保護」から男女共通規制へ / 福島瑞穂 (p.33)

労政時報 [3323] (1997.10.17)

1448. 家庭の事情を無視した勤務命令は人事権の濫用に当たる : 北海道コカ・コーラボトリング事件 (p.64-65)

労政時報 [3325] (1997.10.31)

1449. 女性営業社員に “ 事業場外みなし ” 労働時間制を適用する場合の考え方 / 藤原久嗣 (p.85-86)

労政時報 [3329] (1997.11.28)

1450. 育児休業,介護休業制度等の最新調査 : 4割強が育児休業取得,介護は2割の企業で制度化 / 労働省 (p.42-56)
 1451. 実務に生かす 最高裁主要判例 - 25 : 8 女性労働 / 山本吉人 (p.68-69)

労政時報 [3331] (1997.12.12)

1452. 97年度「国民生活白書」: 働く女性が出産・育児と仕事を両立できる環境づくりを提言 / 経済企画庁 (p.72-77)
 1453. 育児休業期間中の昇給の取り扱い / 労働省女性局女性福祉課 (p.80-81)
 1454. 介護休業後に期間を置いて申請された短時間勤務は認めるべきか / 労働省女性局女性福祉課 (p.81-82)

労政時報 [3332] (1997.12.19)

1455. 女性社員の退職金の割り増しは均等法違反となるか / 大沢正子 (p.82-83)

労働経済旬報 [51-1560] (1997.08.20)

- 特集 : 地域における高齢者福祉サービス
 1456. 自治体・地域におけるサービスの現状と将来 : 実態調査 (p.4-28)
 1457. 高齢者福祉サービスと財政 : 財政調査 (p.29-41)
 1458. 高齢者福祉サービスと住民 : アクセス調査 (p.42-60)
 1459. 地域福祉サービス供給団体調査 (p.61-75)
 1460. 高齢者福祉サービスの充実へ向けての課題と提言 (p.76-88)

労働経済旬報 [51-1579] (1997.03.05)

1461. 電機連合 : 電機労働者の家計 (p.4-10)

1462. 情報労連 : 全電通、情報労連労働者の家計 (p.11-29)

1463. 鉄鋼労連 : 鉄鋼労働者の家計 (p.30-50)

1464. 私鉄総連 : 私鉄バス労働者の生活実態 (p.51-55)

1465. 公務員労働者の生活実態 / 公務員労働組合連絡会 (p.57-65)

労働経済旬報 [51-1580] (1997.03.20)

1466. 戦後労働法制の総括と見直しの論点 : 戦後労働法制をどう評価するか / 高梨昌 (p.4-14)
 1467. 「雇用分野における男女の均等な機会及び待遇の確保のための労働省関係法律整備に関する法律案」に関する意見書 / 日本弁護士連合会 (p.15-28)

労働経済旬報 [51-1583] (1997.05.05)

- 特集 : 取り組み広がる労組の社会的貢献活動
 1468. 労働組合の新たな役割とボランティア活動 / 佐野幸次 (p.4-7)
 1469. 労働組合の役割を拡げた連合のボランティア活動 / 田中尚輝 (p.8-12)

労働経済旬報 [51-1586] (1997.06.20)

- 特集 : 女子労働の保護規定撤廃をめぐる
 1470. 女子労働の保護規定撤廃と労働組合 / 庄司光郎 (p.4-5)
 1471. ゼンセン同盟 : 法施行までに男女共通規制のガイドラインを / 逢見直人 (p.6-9)
 1472. 商業労連 : 産別として残業150時間以内の実現を / 加藤貢, 大木泰 (p.10-12)
 1473. 均等法・労基法改正法案成立に関する労働組合の談話・声明 : 連合・鷲尾事務局長談話 (p.13)
 1474. 参議院労働委員会 : 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等のための労働省関係法律の整備に関する法律案に対する附帯決議 (p.15-16)
 1475. PHP総合研究所 : 「働く女性のための制度改革研究会」報告書 : 第1章 雇用システムの変化とこれからの女性のあり方 / 市川幸子 (p.18-25)
 1476. PHP総合研究所 : 「働く女性のための制度改革研究会」報告書 : 第2章 制度上の機会均等から実質的な平等への方策 / 桜井陽子 (p.26-30)

労働経済旬報 [51-1587] (1997.07.05)

- 特集 : 高齢者の雇用問題への対応
 1477. 電機連合 : 新しい日本型雇用・処遇システムの構築に向けて (素案) (p.8-25)
 1478. 労働省 : 「六五歳現役社会」の政策ビジョン : 構築のためのシナリオと課題 : 六五歳現役社会研究会報告書 (p.26-35)

労働経済旬報 [51-1589] (1997.08.05)

特集：新たな組織化の動き

1479. 女性労働者の独自課題を担いうる組合を / 伊藤みどり, 金子十世吉 (p.17-21)

1480. コミュニティ・ユニオン：全国ネットワークの運動と課題 / 高井晃 (p.8-12)

労働研究所報 [18] (1997.03)

1481. 不況下の女性求職者：その離職求職事情と、行政への期待 / 川喜多喬 (p.7-18)

労働時報 [50-1] (1997.01)

1482. 働く女性の実情：平成八年版 / 労働省婦人局婦人労働課 (p.44-47)

労働時報 [50-5] (1997.05)

特集：勤労者福祉

1483. 企業内福祉再構築の課題 / 武石恵美子 (p.14-19)

1484. ワーキング・ホリデー制度について / 勤労者福祉部勤労青少年室 (p.20-21)

1485. ボランティア活動支援について / 勤労者福祉部企画課 (p.24-26)

労働時報 [50-7] (1997.07)

1486. 女性の起業支援に関する調査結果概要 / 婦人局婦人政策課 (p.44-45)

労働時報 [50-8] (1997.08)

1487. 男女雇用機会均等法の改正について / 婦人局婦人政策課 (p.58-60)

労働時報 [50-9] (1997.09)

1488. 女性行政の回顧と展望 / 労働省婦人局 (p.55-60)

1489. 各行政の歴史の証言者 3：男女雇用機会均等法の制定 / 赤松良子 (p.61)

1490. 各行政の歴史の証言者 4：男女雇用機会均等法の制定 / 佐藤ギン子 (p.62-63)

労働時報 [50-10] (1997.10)

特集：高齢者雇用対策

1491. インタビュー (1)：鈴木勝利：六十五歳定年制に向けての取り組み / 松浦弘行 (p.6-12)

1492. インタビュー (2)：成瀬健生：高齢社会における企業のあり方 / 松浦弘行 (p.13-19)

1493. 「そごう」の定年再雇用制度 / 川見裕恒 (p.20-21)

1494. エルダースタッフ制度について / 住友電気工業 (p.22-23)

1495. 六十五歳現役社会の政策ビジョン / 高齢・障害者対策部企画課 (p.24-28)

1496. シルバー人材センター事業の発展・拡充 / 全国シルバー人材センター事業協会 (p.29)

労働統計調査月報 [49-2] (1997.02)

1497. 平成8年上期における雇用労働力の移動状況について：平成8年上期雇用動向調査結果の概要 / 統計調査第一課 (p.14-17)

労働統計調査月報 [49-4] (1997.04)

1498. 有業者の生活時間と男女差 / 鶴谷陽子 (p.17-23)

労働統計調査月報 [49-9] (1997.09)

1499. 「アウトソーシング等社外資源の活用に関する調査研究会報告」の概要 / 産業労働調査課 (p.15-18)

1500. 平成8年における雇用労働力の移動状況について：平成8年雇用動向調査結果の概要 / 統計調査第一課 (p.19-22)

労働統計調査月報 [49-10] (1997.10)

1501. 若年女子労働力率の上昇に関する一考察 / 藤野研太 (p.6-11)

労働の科学 [52-4] (1997.04)

特集：職場における 平等 を考える

1502. 労働における平等とは何か：原点から新しい原点へ / 林峻一郎 (p.4-7)

1503. 労働法制の規制緩和と平等 / 宮里邦雄 (p.8-11)

1504. 規制緩和と女子保護の廃止問題を考える / 北山利夫 (p.12-15)

1505. 雇用形態の多様化と平等 / 中野麻美 (p.16-19)

労働の科学 [52-5] (1997.05)

1506. 農業労働の改善と女性の地位向上 / 大島綾子 (p.52-55)

労働の科学 [52-7] (1997.07)

特集：肥満問題の現在

有効な肥満判定法は何か！

1507. 骨格因子としての胸郭径からみた肥満測定 / 小倉浩 (p.20-23)

1508. 書庫散歩：婦人の社会的自覚と廃娼論議：労研図書館：近・現代資料めぐり<その16> / 野沢浩 (p.38-39)

労働の科学 [52-8] (1997.08)

1509. 書庫散歩：婦人の社会的自覚と廃娼論議 (続)：労研図書館：近・現代史資料めぐり<その17> / 野沢浩 (p.38-39)

労働の科学 [52-11](1997.11)

1510. 介護保険への期待：俯瞰（ふかん） / 秋山朋巳
（p.1）

特集：高齢社会での介護システム

1511. 負担面からみた介護保険制度の問題点 / 伊藤周平
（p.4-8）

1512. 色あせる「介護」の理念 / 池尻成二（p.9-12）

1513. 核家族化の中での家族介護の問題点 / 宮森正
（p.13-17）

1514. ホームヘルパーの充実を図ろう / 梶秀俊（p.18-21）

1515. 自立型と介護型むき住宅の要件を考える / 山本唯夫
（p.22-26）

1516. 働く人の健康 2：世代と健康と疾病と：死因統計
の動きにみる / 野村茂（p.28-29）

1517. 労働科学Q&A：女性タクシードライバーの深夜勤務 / 加藤健（p.53）

労務事情 [892](1997.02.15)

1518. 課長職への昇格と課長への昇進について、同期同年
齢の男性職員との間においてはいうに及ばず、男女
間に著しい格差があると認定した例：芝信用金庫
（男女昇格差別）事件 / 平井二郎（p.48-51）

労務事情 [894](1997.03.15)

1519. 「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の
確保等のための労働省関係法律の整備に関する法
律案」<新旧対照表>その1：男女雇用機会均等法
（p.40-51）

労務事情 [895](1997.04.01)

1520. 「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の
確保等のための労働省関係法律の整備に関する法
律案」<新旧対照表>その2：労働基準法（p.31-38）

労務事情 [896](1997.04.15)

特集：わが社のボランティア活動と援助制度

1521. INAXのボランティア活動 / 中野文隆（p.6-8）

1522. 富士ゼロックスのボランティア休職制度 / 富士ゼ
ロックス（株）広報宣伝部（p.9-12）

1523. コマツのボランティア奨励制度 / コマツ人事部労
政グループ（p.13-16）

1524. NECのボランティア活動支援施策 / 山下統一
（p.17-20）

1525. 安田火災のボランティア活動支援制度 / 安田火災
海上保険広報部（p.21-23）

1526. 企業の社会貢献活動および従業員のボランティア
活動支援に関する調査 / 勤労者リフレッシュ事業
振興財団、勤労者ボランティアセンター（p.24-30）

労務事情 [899](1997.06.01)

1527. 地域別にみるパートタイマーの職種別時間給
（p.65-68）

労務事情 [901](1997.07.01)

1528. 地域別にみるパートタイマーの職種別時間給
（p.70-71）

労務事情 [902](1997.07.15)

特集：改正・男女雇用機会均等法の行方

1529. 特別座談会：男女雇用機会均等法の改正と課
題 上 / 安枝英のぶ[ほか]（p.8-33）

1530. 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の
確保等のための労働省関係法律の整備に関する法
律について（p.34-39）

1531. 女性労働者の能力発揮促進のための企業の自主的
取組のガイドライン：「女性労働者の能力発揮促進
に関する研究会」検討結果 / 労働省（p.40-44）

労務事情 [903](1997.08.15)

1532. 本誌特別調査：'97年女子パートと雇用形態多様化
の実態（p.5-50）

改正・男女雇用機会均等法の行方

1533. 特別座談会：男女雇用機会均等法の改正と課題
中 / 安枝英のぶ[ほか]（p.58-69）

1534. 今後の労働時間法制及び労働契約等法制の在り方
について（p.70-75）

1535. 地域別にみるパートタイマーの職種別時間給
（p.85-87）

労務事情 [904](1997.09.01)

特集：改正・男女雇用機会均等法の行方

1536. 特別座談会：男女雇用機会均等法の改正と課題
下 / 安枝英のぶ[ほか]（p.40-51）

1537. 地域別にみるパートタイマーの職種別時間給
（p.62-63）

労務事情 [906](1997.10.01)

1538. 地域別にみるパートタイマーの職種別時間給
（p.66-68）

労務事情 [908](1997.11.01)

特集：これからの高齢者雇用

1539. 高齢者雇用問題の背景と視点 / 森本昭文（p.8-14）

1540. 「平成9年雇用管理調査」より：一律定年制を定めて
いる企業は96%で、そのうち定年年齢60歳以上の企
業は90.2% / 労働省（p.15-23）

1541. 中高年層の処遇と活用に関する実態調査：50歳台の賃金処遇で、何らかの調整を行う企業は65%あり、このうち一定年齢で減額する企業は34.5% / 産労総合研究所 (p.24-35)
1542. 各社実態：わが社の嘱託社員の雇用と処遇：嘱託社員が「いる」企業は79.7% (p.36-44)
1543. 高齢者雇用対策 / 労働省 (p.45-47)
1544. 社宅の管理・運営に関する調査2 (p.48-61)
1545. 地域別に見るパートタイマーの職種別時間給 (p.68-69)

労務事情 [910](1997.12.01)

1546. 地域別に見るパートタイマーの職種別時間給 (p.64-67)

和洋女子大学紀要. 家政系編 [37](1997.03)

1547. 本学学生の体位について / 宮川豊美, 田中由香, 川村一男 (p.107-114)
1547. 女子大学生の形態特性、栄養摂取状況と運動経験 / 岩本信子[ほか] (p.115-127)
1548. 中年女性スポーツ活動者の栄養摂取状況と血液性状について / 林喜美子, 湊久美子, 岩本信子 (p.143-154)
1549. 女子大学生の背面形状：個人差及び左右差 / 嶋根歌子, 江口昭子, 竹内美智代 (p.169-178)
1550. 現代の女子学生の色彩・形態の選択に関する一考察 / 力丸テル子 (p.255-273)

和洋女子大学紀要 文系編 [37](1997.03)

1551. 江戸近郷の寺小屋について / 関山邦宏 (p.69-89)
1552. 明治初期、石川県石川郡の女兒小学：鶴来女兒(巽)小学校を中心として / 高野俊 (p.91-105)
1553. 台湾高等女学校の研究：台湾高女卒業生のアンケート調査から(2) / 山本禮子 (p.107-126)

AGING [14-4](1997.春)

1554. スウェーデンの出生率変化と家族政策 / 津谷典子 (p.12-19)
1555. これからの家族像を求めて：樋口恵子の追及シリーズ4：対談 樋口恵子VS.訓覇法子：「ファミリーサークル」を支える、人々の意識とシステム スウェーデン / 樋口恵子, 訓覇法子 (p.40-45)

AGING [15-1](1997.夏)

1556. 高齢社会シンポジウム：「女・男・高齢社会 - ジェンダーを見つめ、ジェンダーを超える」 / 行天良雄 [ほか] (p.2-11)

1557. これからの家族像を求めて：樋口恵子の追及シリーズ5：対談 樋口恵子VS.養老孟司：自然性の最後の砦としての「家族」 / 樋口恵子, 養老孟司 (p.38-43)
1558. シンガポールの高齢化とその対応 / ポール・ツァン, レンレン・タン (p.44-49)

ジャーナリストの視点

1559. 家族介護を下支えする意識：心ならずも繰り返される介護の 美談 / 北村節子 (p.52-53)

AGING [15-2](1997.秋)

1560. 少子・高齢社会における社会保障 / 高山憲之 (p.14-19)

地域社会の動向

1561. 血縁を超えた、棲み合いの形 (p.32-39)
1562. これからの家族像を求めて：樋口恵子の追及シリーズ6：対談 樋口恵子VS.福島瑞穂：“家族幻想”を捨てる / 樋口恵子, 福島瑞穂 (p.40-45)
1563. 「英国市民社会の成熟とボランティアセクターの役割」：英国チャリティ委員会リン・ベリー事務総長に聞く / 小山善彦, リン・ベリー (p.46-51)

Artes liberales [60](1997.06)

1564. 子供の生活時間に関する事例研究：盛岡市周辺の小学生を対象に / 浅沼道成, 矢崎弥, 小笠原義文 (p.217-239)

ESP [300](1997.04)

1565. アンパイド・ワーカー：無償労働やボランティア活動は貨幣評価できるか / 佐藤勢津子 (p.90-91)

ESP [301](1997.05)

1566. 「平成8年度国民生活選好度調査」の概要 / 松波紀子, 武村幹夫, 相原一善 (p.62-67)

ESP [302](1997.06)

1567. 生活の豊かさはどう変わってきたのか 各地域の豊かさはどうなっているのか：平成9年版新国民生活指標 (PLI) の概要 / 木原朗, 中村倫治, 松田千枝 (p.62-67)
1568. 「市民活動レポート」：市民活動団体基本調査報告書について / 久原大二 (p.74-77)

ESP [303](1997.07)

1569. 無償労働の貨幣評価について：女性に視点を当てた一考察 / 佐藤勢津子 (p.60-63)

テーマ展示図書案内

婦人教育情報センターでは1階ロビー展示ケースにおいて、3ヶ月毎にテーマを決めて展示を行っています。今回は1998年10月～1999年3月の資料リストをご紹介します。

10～12月

- テーマ
「芸術とジェンダー」

- ねらい
芸術の世界において、女性が客観的に評価され、その素質を十分に発揮してきたか。埋もれた才能の発掘を含め、改めてジェンダーの視点から芸術を見なおします。

99.1～3月

- テーマ
「21世紀の女性と職場」

- ねらい
改正「男女雇用機会均等法」が4月から施行されます。「均等法」の10年を振り返り、次の世紀に向けた女性の働き方、生き方を考えます。

凡 例

No. 書名：副書名 / 編著者

出版社（出版年）**請求記号**

「芸術とジェンダー」
(平成10年10月～12月)

1. アメリカ女性文学論 / 鈴江璋子著
研究社出版 (1995) 930.2 : A44
2. 怒れる女たち / アンドレア・ジュノー, V・ヴェイル
編; 越智道雄訳
第三書館 (1995) 367.253 : I31
3. 憤れる女たち / アンドレア・ジュノー, V・ヴェイル
編; 越智道雄訳
第三書館 (1997) 367.253 : I36
4. ヴァージニア・ウルフ: 作家の一生 / リンダル・ゴードン著; 森静子訳, 平凡社 (1998) 930.2 : V21
5. 映画をつくった女たち: 女性監督の100年 / 松本侑壬子著, シネマハウス (1996) 778 : E37
6. 映像が女性で輝くとき: カネボウ国際女性映画週間
1996東京国際映画祭 / カネボウ国際映画週間実行委員会編
カネボウ国際女性映画週間実行委員会 (1996)
778 : E39
7. エキブ・ド・シネマ / 高野悦子編
講談社 (1994) 778 : E42
8. 音楽と女性の歴史 / ソフィー・ドリンカー著; 水垣玲子訳, 学芸書林 (1996) 762 : O65
9. 女のいない死の楽園: 供犠の身体・三島由紀夫 / 渡辺みえこ著, バンドラ (1997) 910.2 : O66
10. 女のイメージ: 図像が語る女の歴史 / ジョルジュ・デュビイ編; 杉村和子, 志賀亮一訳
藤原書店 (1994) 723 : O66
11. 女を読む映画: 愛されるばかりが人生じゃない / 木村奈保子著, 近代文藝社 (1995) 778 : O66
12. 語る女たちの時代: 一葉と明治女性表現 / 関礼子著
新曜社 (1997) 910.2 : Ka83
13. カップルをめぐる13の物語: 創造性とパートナーシップ(上)(下) / ホイットニー・チャドウィック, イザベル・ド・クールヴロン編; 野中邦子, 桃井緑美子訳
平凡社 (1996) 280 : Ka61
14. 神、男、そして女: ミルトンの『失樂園』を読む / 辻裕子, 佐野弘子編, 英宝社 (1997) 931 : Ka38
15. きらめいて生きる明治の女性たち: 笹本恒子写真集 / 笹本恒子著, 清流出版 (1996) 281 : Ki51
16. 近世の女性画家たち: 美術とジェンダー / パトリシア・フィスター著
思文閣出版 (1994) 721 : Ki46
17. 才女の運命: 有名な男たちの陰で / イング・シュテファン著; 松永美穂訳
あむすく (1995) 280 : Sa19
18. ジェンダー解体の軌跡 文学・制度・文化: ポスト構造主義フェミニスト文化批評 / 有賀千恵子著
日米女性センター (1996) 910.2 : J36
19. ジェンダーで読む『或る女』: 総力討論 / 中山和子, 江種満子編, 翰林書房 (1997) 910.2 : J36
20. 視線と差異: フェミニズムで読む美術史 / グリゼルダ・ポロック著; 萩原弘子訳
新水社 (1998) 701 : Sh89
21. 姉妹の選択: アメリカ女性文学の伝統と変化 / E. ショウォールター[著]; 佐藤宏子訳
みすず書房 (1996) 930.2 : Sh37
22. 女性作家、あるいは言語の彼岸について / 原田伸子著
松籟社 (1996) 950.2 : J76
23. 「女性詩」事情 / 新井豊美著
思潮社 (1994) 911.5 : J76
24. 女流音楽家の誕生 / エヴリヌ・ピエイエ著; 金子美都子, 川竹英克訳, 春秋社 (1995) 762 : J75
25. シンポジウム「私たちのシネマ宣言」: 東京国際映画国際女性映画週間 / 東京国際映画祭国際女性映画週間事務局 (1996) 778 : Sh69
26. 第7回東京国際レズビアン&ゲイ映画祭 / 東京国際レ

- ズピアン&ゲイ映画祭運営委員会, QFF
東京国際レズピアン&ゲイ映画祭運営委員会 (1998) 著; 浜名恵美訳
研究社出版 (1996) 704 : B42
27. たのしく読める英米女性作家: 作品ガイド120 / 久守和子, 窪田憲子, 石井倫代編著
ミネルヴァ書房 (1998) 930.2 : Ta89 : R
28. デ・ジェンダリズム: 回帰する身体
淡交社 (1997) 708 : D54
29. 倒錯の偶像: 世紀末幻想としての女性悪 / プラム・ダイクストラ著, パピルス (1994) 704 : To71
30. ニキ・ド・サン・ファール / ニキ・ド・サン・ファール [画], 講談社 (1994) 712.35 : N71
31. 日本近代女性文学論: 闇を拓く / 渡邊澄子著
世界思想社 (1998) 910.2 : N71
32. 日本ファザコン文学史 / 田中貴子著
紀伊國屋書店 (1998) 910.2 : N71
33. ヌードの反美学: 美術・猥褻・セクシュアリティ / リンダ・ニード著; 藤井麻利, 藤井雅実訳
青弓社 (1997) 704 : N99
34. ヌードのポリティクス: 女性写真家の仕事 / 笠原美智子著, 筑摩書房 (1998) 740 : N99
35. ネオダダから21世紀型魔女へ: 岸本清子の人と作品 / 女性とアート プロジェクト編
女性とアート プロジェクト (1997) 723 : N65
36. ハムレットの母親 / キャロリン・G・ハイルブラン [著]; 大社淑子訳
みすず書房 (1997) 930.2 : H26
37. ハンサムな女たち: 77人の映画のヒロイン / 和久本みさ子著, 清水書院 (1997) 778 : H29
38. 美術史を解きはなつ / 富山妙子, 浜田和子, 萩原弘子著
時事通信社 (1994) 702 : B42
39. 美術とジェンダー: 非対称の視線 / 鈴木杜幾子, 千野香織, 馬淵明子編著; 天野知香 [ほか] 著
ブリュッケ (1997) 701 : B42
40. 美人: あるいは美の症状 / フランセット・パクター
著; 浜名恵美訳
研究社出版 (1996) 704 : B42
41. 表現 (シリーズ「性を問う」4) / 大庭健 [ほか] 編
専修大学出版局 (1997) 367.9 : Sh88
42. フェミニスト花田清輝 / 菅本康之著
武蔵野書房 (1996) 910.2 : F18
43. フェミニズム / 富山太佳夫編
研究社出版 (1995) 904 : F18
44. フェミニズムと映画音楽: ジェンダー・ノスタルジア・ユートピア / カリル・フリン著; 鈴木圭介訳
平凡社 (1994) 778 : F18
45. フェミニズムと演劇: その理論と実践 / ゲイル・オーステイン著; 堀真理子, 原恵理子訳
明石書店 (1996) 932 : F18
46. フェミニズムと現代演劇: 英米女性劇作家論 / 池内靖子著, 田畑書店 (1994) 932 : F18
47. フェミニズム批評への招待: 近代女性文学を読む / 岩淵宏子 [ほか] 編; 尾形明子 [ほか] 執筆
学芸書林 (1995) 910.2 : F18
48. フェミニン・エンディング: 音楽・ジェンダー・セクシュアリティ / スーザン・マクレアリ著; 女性と音楽研究フォーラム訳, 新水社 (1997) 760 : F18
49. 負の国の住人たち: 道化と黒人と女性と / 佐々木エツ子著, 近代文芸社 (1997) 913.6 : F89
50. フランス演劇から見た女性の世紀 / 赤木富美子著
大阪大学出版会 (1996) 772 : F44
51. 女々しい漱石, 雄々しい鴉外 / 渡邊澄子著
世界思想社 (1996) 910.2 : Me38
52. 欲望への欲望: 1940年代の女性映画 / メアリ・アン・ドーン著; 松田英男監訳
勁草書房 (1994) 778.253 : Y79
53. ルネサンスの美人論 / 岡田温司著
人文書院 (1997) 701 : R86
54. Cecilia reclaimed : feminist perspectives on gender

- and music / edited by Susan C. Cook and Judy S. Tsou , University of Illinois Press (c1994) 762 : C28
- 55 .The creative mystique : from red shoes frenzy to love and creativity / Susan Kavaler-Adler
Routledge (1996) 141.5 : C92
- 56 .Drag : a history of female impersonation in the performing arts / Roger Baker with contributions by Peter Burton and Richard Smith Cassell
Cassell (c1994) 775 : D91
- 57 .Feminism and tradition in aesthetics / edited by Peggy Zeglin Brand and Carolyn Korsmeyer
Pennsylvania State University Press (c1995)
367.2 : F18
- 58 .Feminist subjects : multi-media : cultural methodologies / edited by Penny Florence and Dee Reynolds
Manchester University Press (c1995) 700 : F18
- 59 .Guilty pleasures : feminist camp from Mae West to Madonna / Pamela Robertson
Duke University Press (1996) 778 : G92
- 60 .Indecent exposures : twenty years of Australian feminist photography / Catriona Moore
Allen & Unwin in association with the Power Institute of Fine Arts (1994) 740 : I54
- 61 .Material girls : making sense of feminist cultural theory / Suzanna Danuta Walters
University of California Press (c1995) 367.2 : Ma71
- 62 .The power of feminist art : the American movement of the 1970s, history and impact / edited by Norma Broude and Mary D. Garrard
Thames and Hudson (1994) 702 : P87
- 63 .Representing the woman : cinema and psychoanalysis / Elizabeth Cowie
Macmillan (1997) 778 : R28
- 64 .Strange women : essays in art and gender / edited by Jeanette Hoorn
Melbourne University Press (1994) 723 : St8
- 65 .Women 's gidayu and the Japanese theatre tradition / A. Kimi Coaldrake
Routledge (1997) 768 : W85
- 66 .The woman 's hand : gender and theory in Japanese women 's writing / Paul Gordon Schalow, Janet A. Walker editors
Stanford University Press (c1996) 910.2 : W85
- 67 .Women composers : the lost tradition found / Diane Peacock Jezic (2nd ed. prepared by Elizabeth Wood)
Feminist Press (c1994) 762 : W85
- 68 .Women in music : an anthology of source readings from the Middle Ages to the present / edited by Carol Neuls-Bates
Northeastern University Press (1996) 762 : W85

「21世紀の女性と職場」
(平成11年1月～3月)

1. 女の起業が世界をかえる / 国際交流基金編
啓文社 (1998) 335 : O66
2. 女は若いほうがいい! ? / 中島みどり著
アリアドネ企画 366.3 : O66
3. 「改正男女雇用機会均等法関連女性社員の処遇と活用に関する調査」結果, 社会経済生産性本部 (1997)
366.2 : Ka21
4. 改正男女雇用機会均等法の解説 / 労働省女性局編
21世紀職業財団 (1997) 366.1 : Ka21
5. 改正男女雇用機会均等法労働基準法育児・介護休業法
(法律編) / 労働省女性局女性政策課監修
労働基準調査会 (1997) 366.1 : Ka21
6. 変わる雇用機会均等法: 新しい女性の働き方 / 柴山恵
美子 [述], 愛知淑徳大学ジェンダー・女性学研究所
(1998) 366.1 : Ka96
7. ガンバレ女性にやさしい企業 / 京都市文化市民局市民
生活部男女共同参画推進課, 京都市文化市民局市民生
活部男女共同参画推進課 (1998) 366 : 62-Ky
8. 企業経営における女性の能力活用と経営戦略の変化の
可能性: 労働問題リサーチセンター助成調査報告 /
21世紀男女共同参画労働者像共同研究グループ
21世紀男女共同参画労働者像共同研究グループ
(1998) 336 : Ki16
9. 企業のセクハラ対策最前線: セクハラ判例15ビジネ
スマン必須! セクハラ知識 / 山田秀雄, 田中早苗共著
ジャパン・ミックス (1997) 336.4 : Ki16
10. 均等法が変わります!: もう一度職場で女性の雇用管
理の点検を, 労働省婦人局 (1997) 366.1 : Ki46
11. 均等法新時代・女性社員の活用事例集: 制度整備と運
用のポイント / 市川幸子, 芝原脩次共著
生産性出版 (1997) 366 : Ki46
12. 雇用確保に対する労使の対応 / 東京都立労働研究所編
東京都立労働研究所 (1996) 366.5 : 36
13. 雇用慣行の変化と女性労働 / 中馬宏之, 駿河輝和編
東京大学出版会 (1997) 366.3 : Ko97
14. 雇用における男女平等とは / 川口和子著
新日本出版社 (1997) 366.2 : Ko97
15. 在宅ワーク成功術: 小資金で稼げる / 村上広美著
実業之日本社 (1997) 335 : Z1
16. 時間外・休日労働および深夜労働の男女共通規制の実
現! : 97連合中央女性集会報告集 / 連合総合女性局編
日本労働組合総連合会 (1998) 366.3 : J51
17. 事典女性をめぐる職場の法律 / 込田晶代著
中央経済社 (1997) 366 : J55
18. 資本主義と性差別: ジェンダー的公正をめざして / 森
田成也著, 青木書店 (1997) 367.2 : Sh31
19. 主婦と呼ばないで / こみやまたみこ著
NTT出版 (1997) 007 : Sh99
20. 女性と職業: その障碍と支援について
大学婦人協会 (1998) 366.2 : J76
21. 女性の就職、それから: 短大・大卒167人の生き方さ
がし / 市川幸子著, 一葉社 (1996) 366.3 : J76
22. 女性のための独立・開業ガイド / 塚田和子著
アリアドネ企画 335 : J76
23. 女性の能力発揮を目指して: 雇用の分野における女性
の現状と課題 / 総務庁行政監察局編, 大蔵省印刷局
(1997) 366.3 : J76
24. 女性問題・海外レポート: スウェーデン平等オンブズ
マン事務所報告書「企業における女性の地位向上をめ
ざして」 / 名古屋市市民局市民文化部女性企画室
名古屋市市民局市民文化部女性企画室 (1996)
367.2 : 55-Na
25. 女性問題研修プログラム: 企業内研修ガイドブック
([本編])([講師用]) / 北九州市立女性センター ム
ーブ, 北九州市立女性センター (1997) 366 : 91-Ki

26. 女性学セミナー（企業編）（平成8年度）／アバンセ（佐賀県立女性センター・佐賀県立生涯学習センター）アバンセ（佐賀県立女性センター・佐賀県立生涯学習センター）（1997）366：92
27. ゼミナール共生・衡平・自律：21世紀の女の労働と社会システム／関西女の労働問題研究会編
ドメス出版（1998）366.3：Z2
28. 多様な雇用形態の中で：働く女たちは現在（いま）／変えよう均等法in福岡，福岡市女性センターアミカス（1997）366：91-Fu
29. 男女雇用機会均等法・労働基準法（女子関係）・育児・介護休業法・パートタイム労働法解釈便覧
21世紀職業財団（1997）366：D37
30. 男女雇用平等への取り組み国際交流集会報告集／連合女性局編，日本労働組合総連合会（1997）366.3：D37
31. 入門職業とジェンダー：これからの女と男の働き方／岡村清子，亀田温子編，日本評論社（1998）366：N99
32. パソコンネットワークに集う在宅ワーカーの実態と特性／日本労働研究機構編，日本労働研究機構（1998）366.2：P26
33. 働く親の子育てヘルスブック／スーザン・ブライス，トム・ブライス著；ワーキングペアレンツ研究会訳・編
ベネッセコーポレーション（1997）599：H42
34. 働く主婦が食品マーケットを動かす／御巫理花著
日本経済新聞社（1996）588：H42
35. 働く女性と労働法（97年版）東京都労働経済局労働部労働組合課編，東京都労働経済局労働部労働組合課（1997）366：36
36. 不況下における女性の離転職と生活／東京都立労働研究所編，東京都立労働研究所（1997）366：36
37. ライフスタイルと環境／日本家政学会編
朝倉書店（1997）365：R12
38. 私たちの就職手帖（vol.17（98））／私たちの就職手帖編集部編著，実務教育出版（1997）366.2：W45
39. 1998年3月卒業予定の短期大学女子学生の就職意識と人気企業ランキング調査結果報告／毎日コミュニケーションズ，毎日コミュニケーションズ（1997）366.2：Se69
40. 21世紀の女性と仕事：キャリアも子どもも = Women, working, and the 21st century：both careers and children／金谷千恵子編著（1997）366.3：N73
41. 21世紀の男女平等法 新版／大脇雅子，中島通子，中野麻美編，有斐閣（1998）366.3：N73
42. 240万家族のいま・未来：働きながら子育てする／全国学童保育連絡協議会編集，一声社（1997）369.4：N71
43. 97-98連合女性活動ハンドブック：男女平等参画の職場と社会をつくろう！時間外・休日労働および深夜労働の男女共通規制の実現！／連合女性局編
日本労働組合総連合会（連合）（1997）366.6：R27
44. The American woman 1996-97：women and work / edited by Cynthia Costello and Barbara Kivimae Krimgold for the Women's Research and Education Institute Betty Dooley，W.W.Norton（c1996）366：A44
45. Sexual orientation in the workplace：gay men, lesbians, bisexuals, and heterosexuals working together / Amy J. Zuckerman and George F. Simons Sage Publications（c1996）366.3：Se97
46. Take my word：autobiographical innovations of ethnic American working women / Anne E. Goldman（c1996）280：Ta58
47. Women and work：a handbook / Kathryn Borman；assistant editors, Sonia Carreon, Amy Cassedy（1996）366.2：W85
48. Women and work in Japan (1981-1990)：Annotated bibliography International Group for the study of women, Sen shobo（1996c）366：W85：R
49. Women of the European Union：the politics of work and daily life / edited by Maria Dolors Garcia-Ramon and Janice Monk, Routledge（1996）367.23：W85

新着図書案内

1. 「アジアの中の日本を考える：女性学の視点から」(女性学連続講演会より深く掘り下げるために第2期)大阪女子大学女性学研究センター(1998.11)
2. 「歩み：主婦連50周年記念」主婦連合会(1998.11)
3. 「夫やパートナーからの暴力対応マニュアル：ドメスティックバイオレンスから身を守るために」女性のためのアジア平和国民基金(1998)
4. 「キレル・ムカつく」(モノグラフ・中学生の世界vol.61)ベネッセ教育研究所編 ベネッセコーポレーション(1998.12)
5. 「子どもへの虐待：その予防と救済のための提言」関東弁護士会連合会(1998.9)
6. 「女性に関する時間外及び休日労働並びに深夜業の規制の廃止を定めた労基法改正部分の試行を延期する立法措置をもとめる意見書」日本弁護士連合会(1999.1)
7. 「青少年と放送に関する調査研究会 報告書」郵政省(1998.12)
8. 「世界の青年との比較からみた日本の青年：第6回世界青年意識調査報告書」総務庁青少年対策本部(1998.12)
9. 「セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する人事院規則の制定について」人事院(1998.11)
10. 「全国の現代主婦4,529人に聞く わが家の食生活 意識」第百生命保険(1999.2)
11. 「戦争と女性：アメリカ史における戦争と女性に関する多文化主義的社会史的研究」白井洋子研究代表者 目白アメリカ研究会(1998.11)
12. 「多摩地区各市町村における女性行動計画の推進体制の実態1997：多摩女性ネットワーク多摩地区31市町村策定女性行動計画に関する第2次調査」多摩女性ネットワーク(1998.11)
13. 「男女共同参画社会に関する有識者アンケート調査」内閣総理大臣官房広報室(1998.10)
14. 「男女共同参画社会基本法について：男女共同参画社会を形成するための基礎的条件づくり」(答申)男女共同参画審議会 内閣総理大臣官房男女共同参画室(1998.11)
15. 「中小企業の子育て支援に関する調査報告書(概要版)」こども未来財団(1999.1)
16. 「ドイツ連邦共和国の青少年」国立オリンピック記念青少年総合センター(1998.11)
17. 「同性愛者と人権教育のための国連10年」働くゲイとレズビアンの会(1998.12)
18. 「友だち関係」(モノグラフ・小学生ナウvol.18-2)ベネッセ教育研究所編 ベネッセコーポレーション(1998.11)
19. 「DV解決支援マニュアル 法律編」日本DV防止・情報センター(1998.10)
20. The bank's policy on gender and development Manila, Asian Development Bank(1998)
21. Human rights today : UN briefing papers : a United Nations priority New York, UN(1998)
22. The other gender : a seminar on men's issues transcribed by Gui Rukh Khan. Islamabad, UNDP(1998)
23. Postpartum care of the mother and newborn : a practical guide Geneva, WHO(1998)
24. Women's studies textbook by Keiko Tomi-naga. Yumi Press(1998)
25. Report : workshop women's rights Paramaribo, National Women's Movement of Suriname(1998)



編集後記

桜前線も北上を続け、春の息吹に物事の始まりを感じさせるこの季節、ワクワクと新たな期待に胸が膨らみます。

今回のWINET情報では、新年度事業として平成11年度国立婦人教育会館事業計画を紹介させていただきました。男女共同参画社会の形成を目指して、「エンパワーメントは21世紀への合言葉 新たなる共生を目指して」を総合テーマとして、一層の婦人教育・家庭教育に関する事業の充実を図りたいと思います。多くの皆様の御参加・御利用をお待ちしております。

「情報は力なり」。今後も一層の誌面の充実を図り、情報発信を続けていきたいと思
います。 (C.K.)

WINET情報 No.3

発行日 平成11年3月31日

編集・発行 国立婦人教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地

電話 0493(62)6711(大代表)

ホームページ URL <http://www.nwec.go.jp>

E-mail webmaster@nwec.go.jp

印刷 株式会社青松社

電話 03(3479)7111(大代表)
